

令和元年度
佐世保市の環境問題に関するアンケート
集計結果（詳細版）

令和2年4月

佐世保市環境部環境政策課

目次

第1章 アンケート調査の概要	1
第2章 調査結果(市民)	2
回答者の属性	2
「関心が高い環境問題」【問1】	3
「周辺環境の満足度および重要度」【問2】	8
「日常の環境保全の取り組み」【問3】	30
「環境保全の取り組みで障害と感じていること」【問4】	42
「省エネ関連機器の設置利用について」【問5】	46
「食品ロス」について【問6~9】	47
「古紙類の資源化」について【問10~13】	49
第3章 調査結果(事業者)	51
回答者の属性	51
「関心が高い環境問題」【問1】	52
「環境に関する経営方針等の導入について」【問2】	54
「日常の取り組みの状況」【問3】	56
「日常の取り組みで障害と感じていること」【問4】	58
「導入している省エネ設備について」【問5】	59
「エコ資金について」【問6】	59
「3010運動について」【問7~8】	60
第4章 資料(アンケート調査票)	62
アンケート調査票(市民)	62
アンケート調査票(事業者)	68

第1章 アンケート調査の概要

1 アンケート調査の目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、行政評価や佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

2 アンケート調査の対象

(1) 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女（平成31年1月1日現在）のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名（男性1,500名、女性1,500名）

(2) 事業所

佐世保市内の事業所から無作為に抽出した250事業所

3 調査方法等

郵送による配布・回収（督促なし）

4 調査期間

令和2年2月7日（金）～3月6日（金）

5 回収結果

(1) 市民：1,129名（回収率：37.6%）

(2) 事業所：121事業所（回収率：48.4%）

6 その他

回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

また、図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

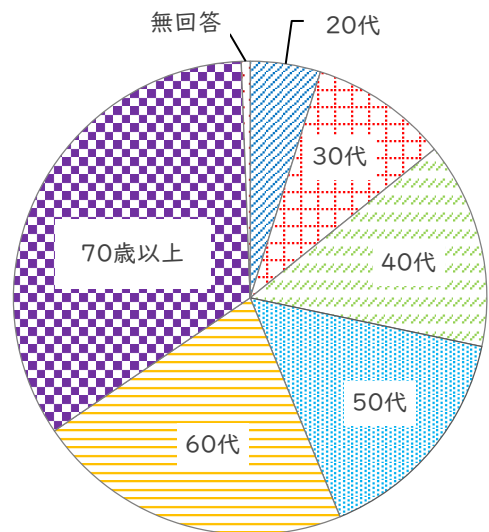
第2章 調査結果（市民）

■ 回答者の属性

あなたご自身についてお聞きします。該当する番号に○をつけてください。

① 年代

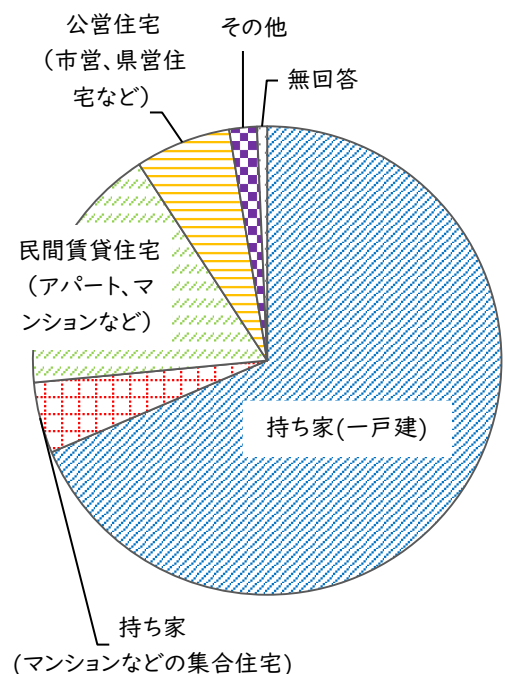
年代	回答数	割合
20代	54	4.8%
30代	106	9.4%
40代	159	14.1%
50代	175	15.5%
60代	245	21.7%
70歳以上	383	33.9%
無回答	7	0.6%
合計	1,129	100.0%



N=1,129

② お住まいの形態

業種	回答数	割合
持ち家（一戸建）	775	68.6%
持ち家（マンションなどの集合住宅）	55	4.9%
民間賃貸住宅（アパート、マンションなど）	195	17.3%
公営住宅（市営、県営住宅など）	74	6.6%
その他	22	1.9%
無回答	8	0.7%
合計	1,129	100.0%



N=1,129

■ 環境に対する考え方について

問1 あなたが関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

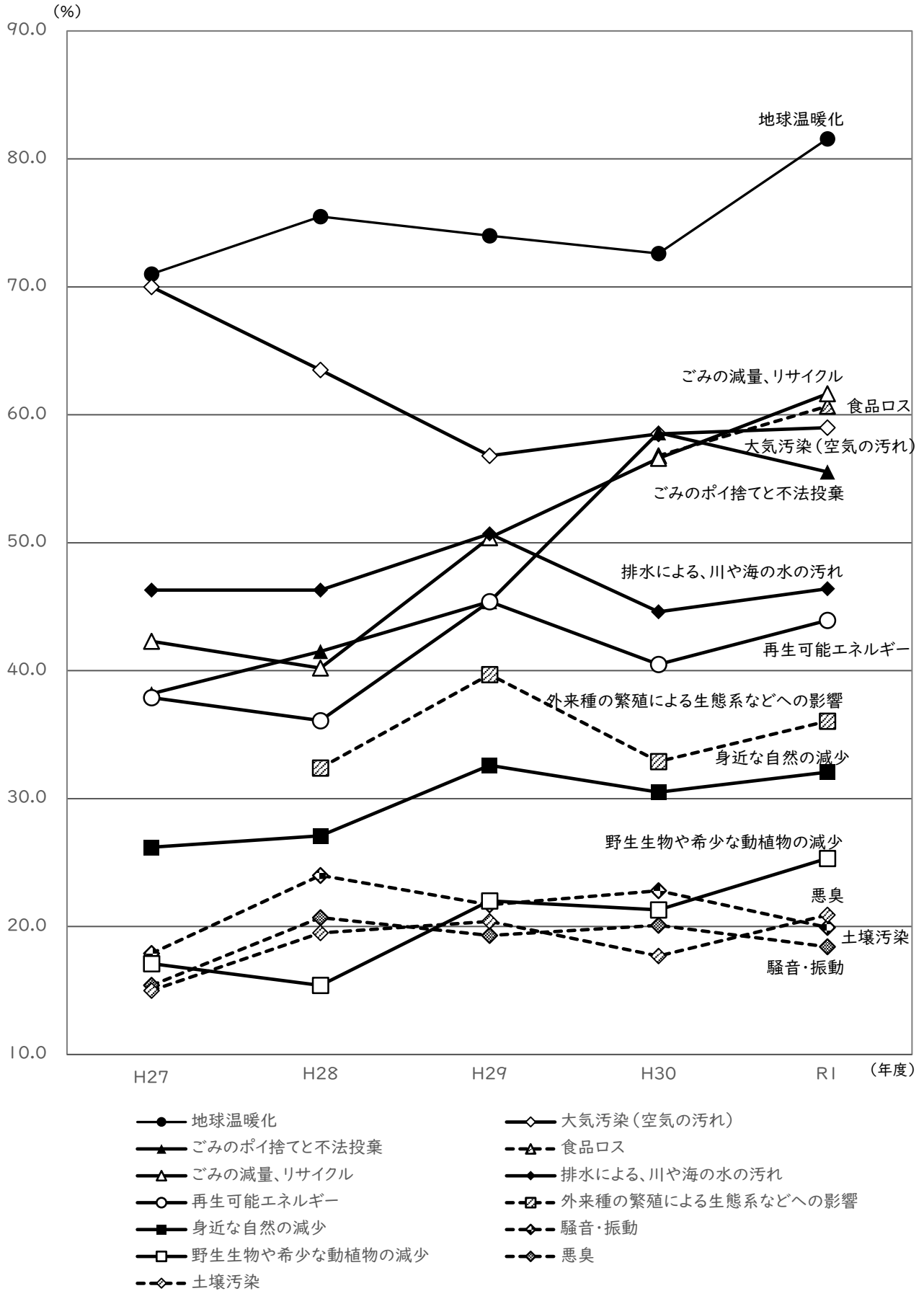
(関心が高い順)

項目	回答数	割合	前年度比	前年度
地球温暖化	921	81.6%	9.0	72.6%
ごみの減量、リサイクル	696	61.6%	5.0	56.6%
食品ロス	685	60.7%	3.9	56.8%
大気汚染(空気の汚れ)	666	59.0%	0.5	58.5%
ごみのポイ捨てと不法投棄	627	55.5%	△3.1	58.6%
排水による、川や海の水の汚れ	524	46.4%	1.8	44.6%
再生可能エネルギー	496	43.9%	3.4	40.5%
外来種の繁殖による生態系などへの影響	407	36.0%	3.1	32.9%
身近な自然の減少	362	32.1%	1.6	30.5%
野生生物や希少な動植物の減少	286	25.3%	4.0	21.3%
土壌汚染	236	20.9%	3.2	17.7%
騒音、振動	225	19.9%	△2.9	22.8%
悪臭	208	18.4%	△1.7	20.1%
その他	51	4.5%	△0.0	4.5%
無回答	51	4.5%	2.7	1.8%
合計	6,441			

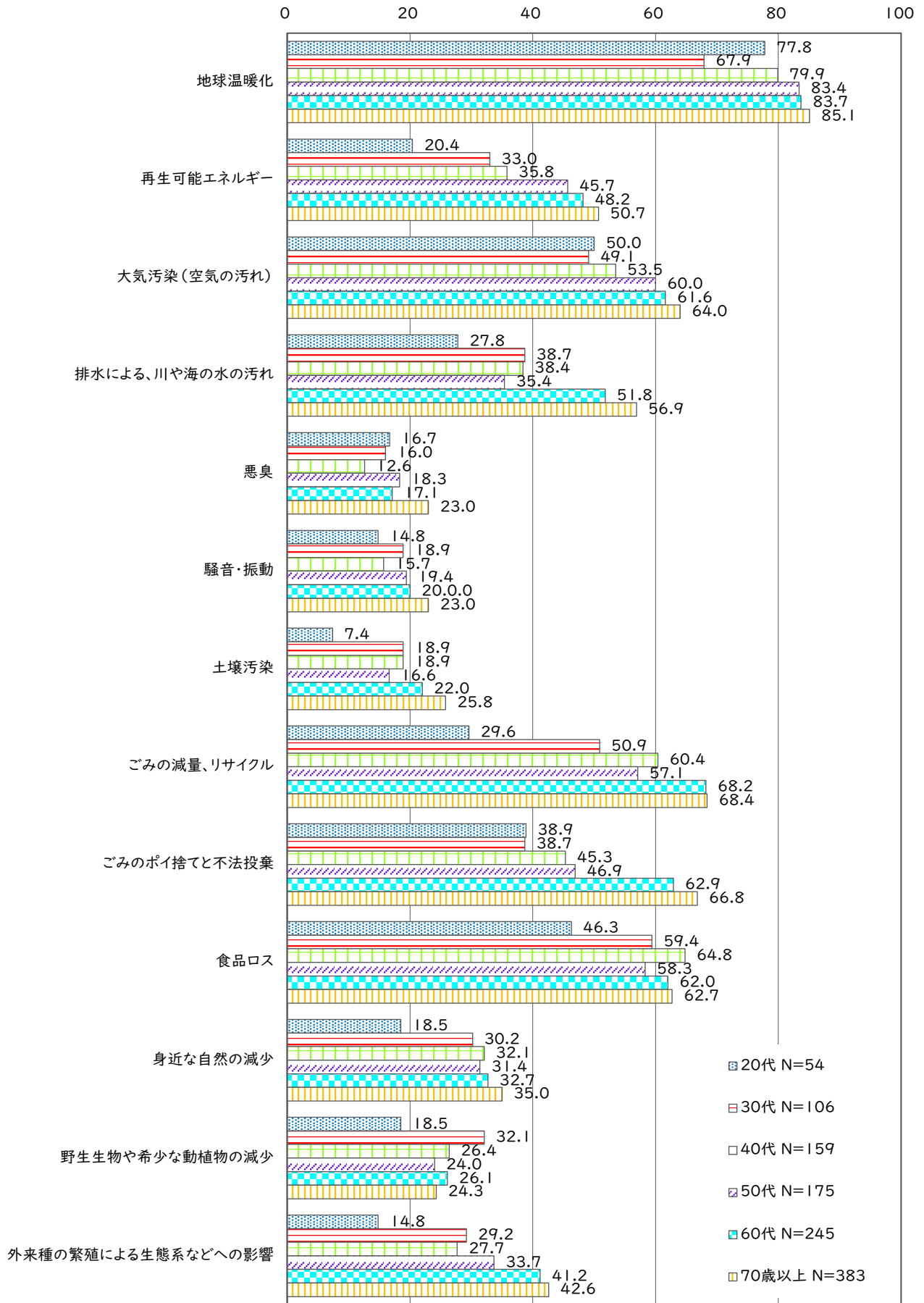
※ 有効回答者数(N):1,129人

- 最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」で、前年度より9.0ポイント増加した。
- ごみに関する項目(「ごみの減量、リサイクル」、「食品ロス」、「ごみのポイ捨てと不法投棄」)が、関心が高くなっている。

《過去の調査結果との経年比較》



《年齢階層別クロス集計結果》



《問Ⅰ 自由記入欄 ～その他、関心のある環境問題～》

※主な意見を抜粋

- プラスチックごみ、レジ袋等の問題
- 有害鳥獣による被害
- 野良猫が増えている
- ペットのふん尿、他所から来て(散歩など)始末しない。
- 石木ダムは止めて!自然が壊され、費用がかかったと水道料上げられて役所も意地はったりしないで美しい自然を残してほしいです。
- 山を切り開いて宅地造成工事
- 近所に所有者不明の空家や空地が多く対処に困っている。
- 商品の過重包装
- ゴミ袋有料は不便
- 急傾斜地区への処置をして頂きたい。
- 原子力廃棄物処理
- 環境ホルモン
- 環境教育による市民のモラル向上
- 畑などで雑草等、燃やしてる人が多い。ゴミかす、灰が舞って玄関等に落ちている。
- PM2.5

見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

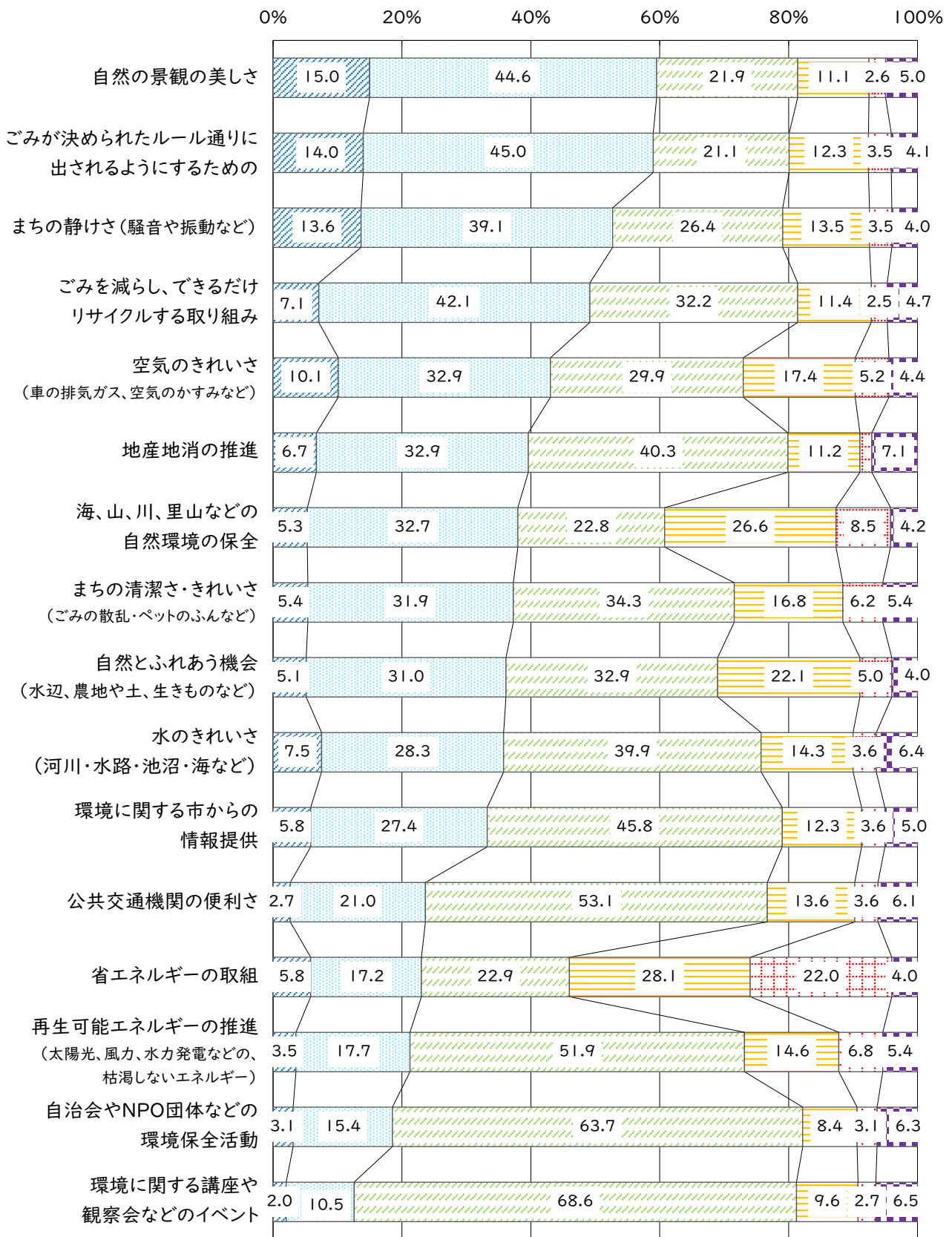
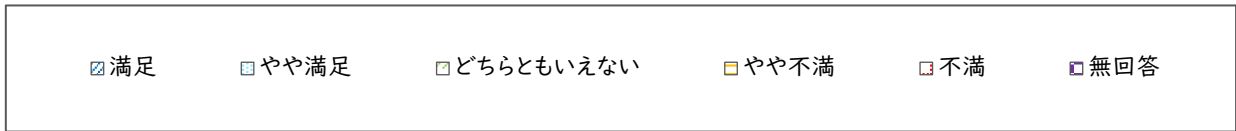
■ 住まいの周辺環境の満足度

問2 お住まいの周辺環境について、あなたの満足度をお聞きます。次の1～16のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号に○をつけてください。

(「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合の合計	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
自然の景観の美しさ (59.5%)	169 15.0%	503 44.6%	247 21.9%	125 11.1%	29 2.6%	56 5.0%	1,129 100%
ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (59.0%)	158 14.0%	508 45.0%	238 21.1%	139 12.3%	40 3.5%	46 4.1%	1,129 100%
まちの静けさ (騒音や振動など) (52.7%)	154 13.6%	441 39.1%	298 26.4%	152 13.5%	39 3.5%	45 4.0%	1,129 100%
ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (49.2%)	80 7.1%	475 42.1%	364 32.2%	129 11.4%	28 2.5%	53 4.7%	1,129 100%
空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (43.0%)	114 10.1%	372 32.9%	338 29.9%	196 17.4%	59 5.2%	50 4.4%	1,129 100%
地産地消の推進 (39.6%)	76 6.7%	371 32.9%	455 40.3%	126 11.2%	21 1.9%	80 7.1%	1,129 100%
まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (38.0%)	60 5.3%	369 32.7%	257 22.8%	300 26.6%	96 8.5%	47 4.2%	1,129 100%
海、山、川、里山などの自然環境の保全 (37.3%)	61 5.4%	360 31.9%	387 34.3%	190 16.8%	70 6.2%	61 5.4%	1,129 100%
水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (36.1%)	58 5.1%	350 31.0%	371 32.9%	249 22.1%	56 5.0%	45 4.0%	1,129 100%
自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (35.8%)	85 7.5%	319 28.3%	451 39.9%	161 14.3%	41 3.6%	72 6.4%	1,129 100%
環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (33.2%)	66 5.8%	309 27.4%	517 45.8%	139 12.3%	41 3.6%	57 5.0%	1,129 100%
省エネルギーの取り組み (23.6%)	30 2.7%	237 21.0%	599 53.1%	153 13.6%	41 3.6%	69 6.1%	1,129 100%
公共交通機関の便利さ (23.0%)	66 5.8%	194 17.2%	259 22.9%	317 28.1%	248 22.0%	45 4.0%	1,129 100%
再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (21.3%)	40 3.5%	200 17.7%	586 51.9%	165 14.6%	77 6.8%	61 5.4%	1,129 100%
自治会やNPO団体などの環境保全活動 (18.5%)	35 3.1%	174 15.4%	719 63.7%	95 8.4%	35 3.1%	71 6.3%	1,129 100%
環境に関する講座や観察会などのイベント (12.6%)	23 2.0%	119 10.5%	775 68.6%	108 9.6%	31 2.7%	73 6.5%	1,129 100%

※有効回答者数(N):1,129人



■ 住まいの周辺環境の重要度

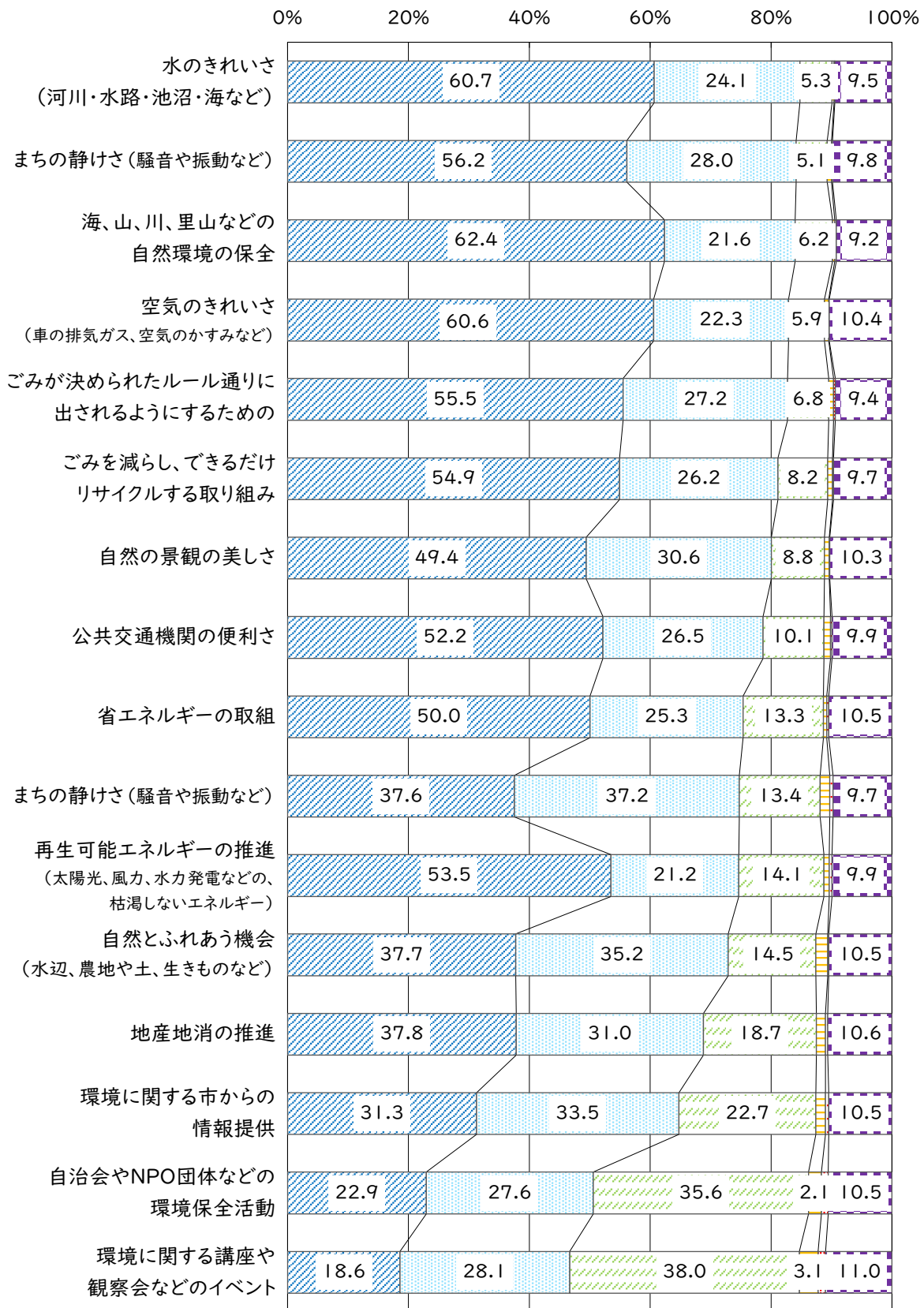
問2 お住まいの周辺環境について、あなたの重要度をお聞きます。次の1～17のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号に○をつけてください。

(「重要」「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

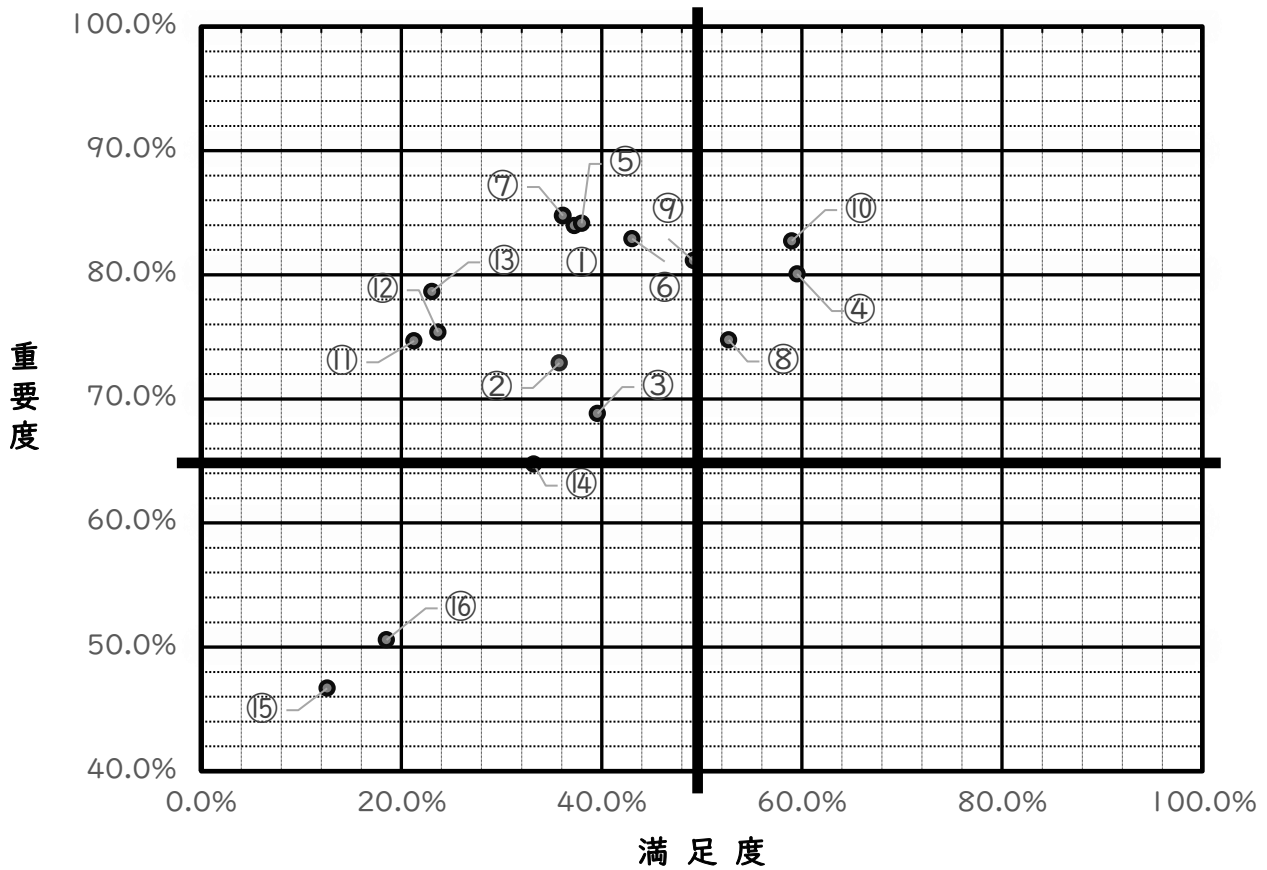
質問事項 ()内の数値は「重要」「やや重要」と 回答した人の割合の合計	重要	やや 重要	どちら とも いえな	あまり 重要 でない	重要 でない	無回答	合計
水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (84.8%)	685 60.7%	272 24.1%	60 5.3%	4 0.4%	1 0.1%	107 9.5%	1,129 100%
まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (84.2%)	634 56.2%	316 28.0%	58 5.1%	8 0.7%	2 0.2%	111 9.8%	1,129 100%
海、山、川、里山などの自然環境の保全 (84%)	704 62.4%	244 21.6%	70 6.2%	4 0.4%	3 0.3%	104 9.2%	1,129 100%
空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (82.9%)	684 60.6%	252 22.3%	67 5.9%	8 0.7%	1 0.1%	117 10.4%	1,129 100%
ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (82.7%)	627 55.5%	307 27.2%	77 6.8%	9 0.8%	3 0.3%	106 9.4%	1,129 100%
ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (81.1%)	620 54.9%	296 26.2%	93 8.2%	9 0.8%	2 0.2%	109 9.7%	1,129 100%
自然の景観の美しさ (80%)	558 49.4%	346 30.6%	99 8.8%	9 0.8%	1 0.1%	116 10.3%	1,129 100%
公共交通機関の便利さ (78.7%)	589 52.2%	299 26.5%	114 10.1%	12 1.1%	3 0.3%	112 9.9%	1,129 100%
省エネルギーの取り組み (75.3%)	565 50.0%	286 25.3%	150 13.3%	6 0.5%	4 0.4%	118 10.5%	1,129 100%
まちの静けさ (騒音や振動など) (74.8%)	424 37.6%	420 37.2%	151 13.4%	18 1.6%	6 0.5%	110 9.7%	1,129 100%
再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (74.7%)	604 53.5%	239 21.2%	159 14.1%	10 0.9%	5 0.4%	112 9.9%	1,129 100%
自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (72.9%)	426 37.7%	397 35.2%	164 14.5%	22 1.9%	2 0.2%	118 10.5%	1,129 100%
地産地消の推進 (68.8%)	427 37.8%	350 31.0%	211 18.7%	17 1.5%	4 0.4%	120 10.6%	1,129 100%
環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (64.8%)	353 31.3%	378 33.5%	256 22.7%	18 1.6%	6 0.5%	118 10.5%	1,129 100%
自治会やNPO団体などの環境保全活動 (50.5%)	259 22.9%	312 27.6%	402 35.6%	24 2.1%	13 1.2%	119 10.5%	1,129 100%
環境に関する講座や観察会などのイベント (46.7%)	210 18.6%	317 28.1%	429 38.0%	35 3.1%	14 1.2%	124 11.0%	1,129 100%

※有効回答者数(N):1,129人

重要
 やや重要
 どちらともいえない
 あまり重要でない
 重要でない
 無回答



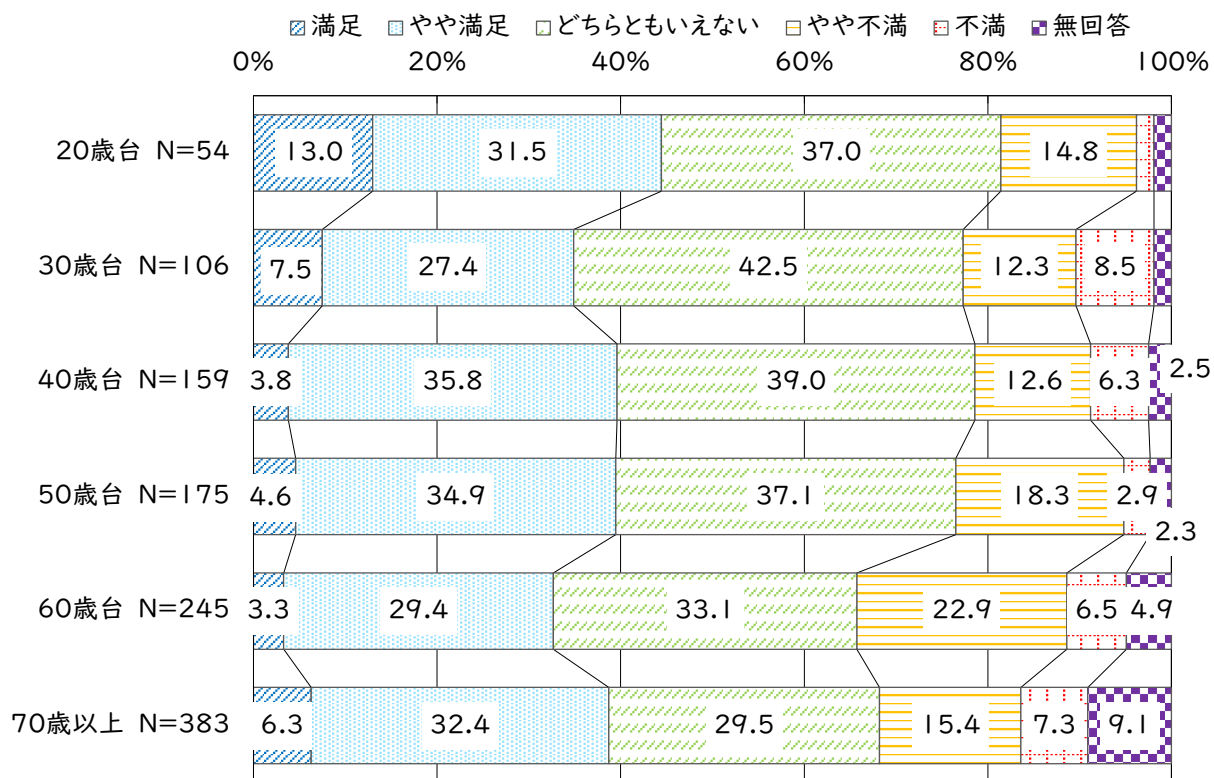
《満足度と重要度の関係》



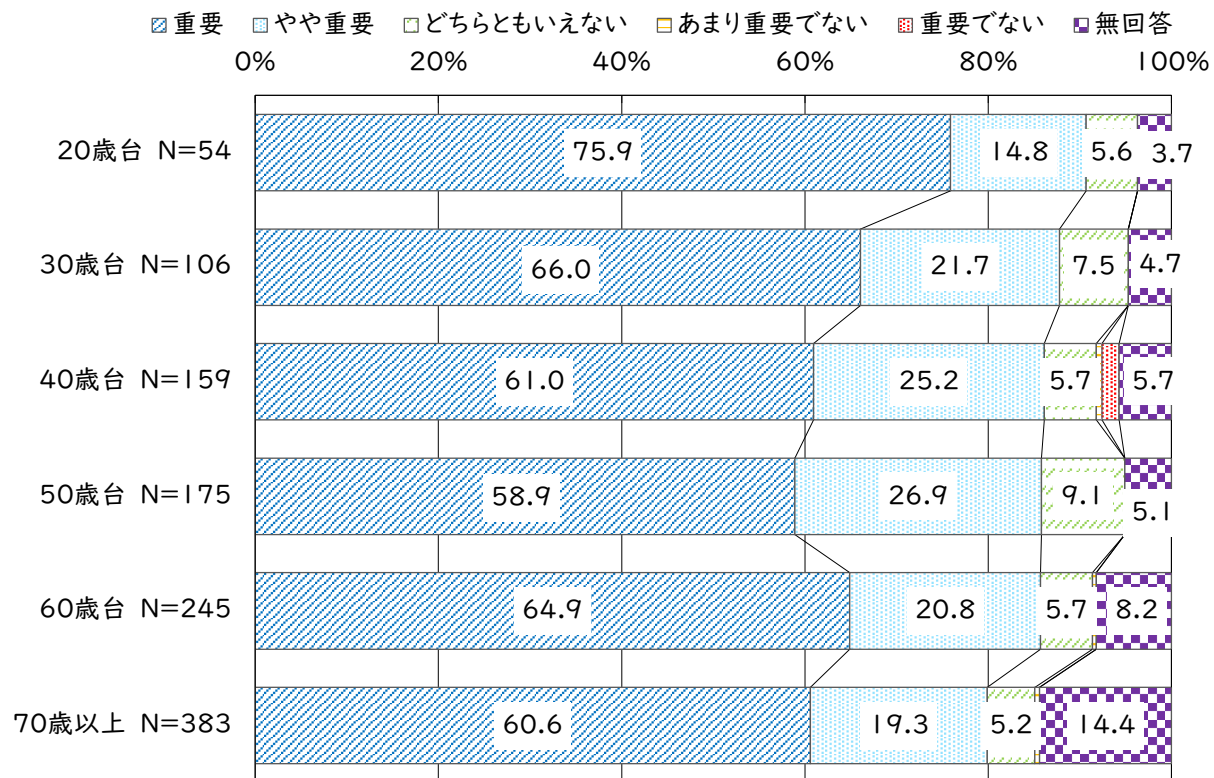
		「満足」「やや満足」と答えた人の割合	「重要」「やや重要」と答えた人の割合
①	海、山、川、里山などの自然環境の保全	37.3%	84.0%
②	自然とふれあう機会(水辺、農地や土、生きものなど)	35.8%	72.9%
③	地産地消の推進	39.6%	68.8%
④	自然の景観の美しさ	59.5%	80.1%
⑤	まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ベットのふんなど)	38.0%	84.1%
⑥	空気のきれいさ(車の排気ガス、空気のかすみなど)	43.0%	82.9%
⑦	水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など)	36.1%	84.8%
⑧	まちの静けさ(騒音や振動など)	52.7%	74.8%
⑨	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み	49.2%	81.1%
⑩	ごみが決められたルール通りに出されるようにするための取り組み	59.0%	82.7%
⑪	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力発電などの、枯渇しないエネルギー)	21.3%	74.7%
⑫	省エネルギーの取組	23.6%	75.4%
⑬	公共交通機関の便利さ	23.0%	78.7%
⑭	環境に関する市からの情報提供(広報誌・テレビ・ホームページなど)	33.2%	64.7%
⑮	環境に関する講座や観察会などのイベント	12.6%	46.7%
⑯	自治会やNPO団体などの環境保全活動	18.5%	50.6%

《海、山、川、里山などの自然環境の保全》

《満足度》

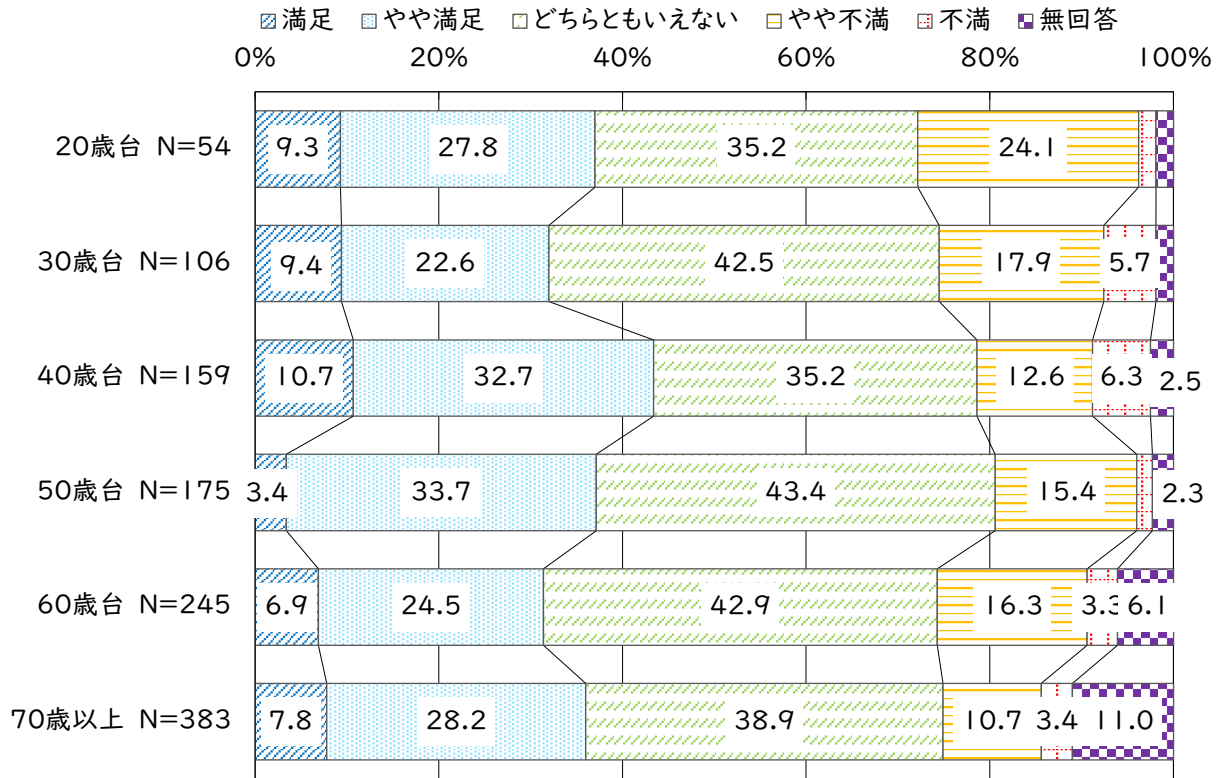


《重要度》

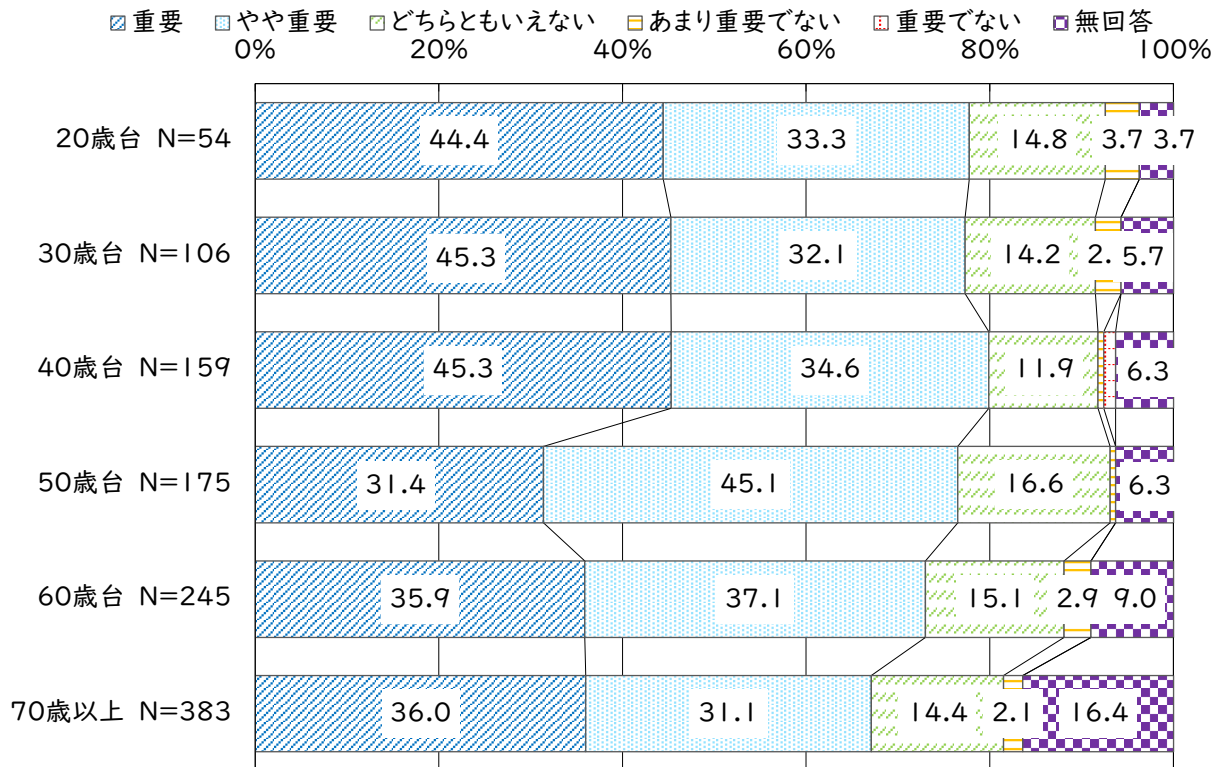


《自然とふれあう機会(水辺、農地や土、生き物など)》

《満足度》

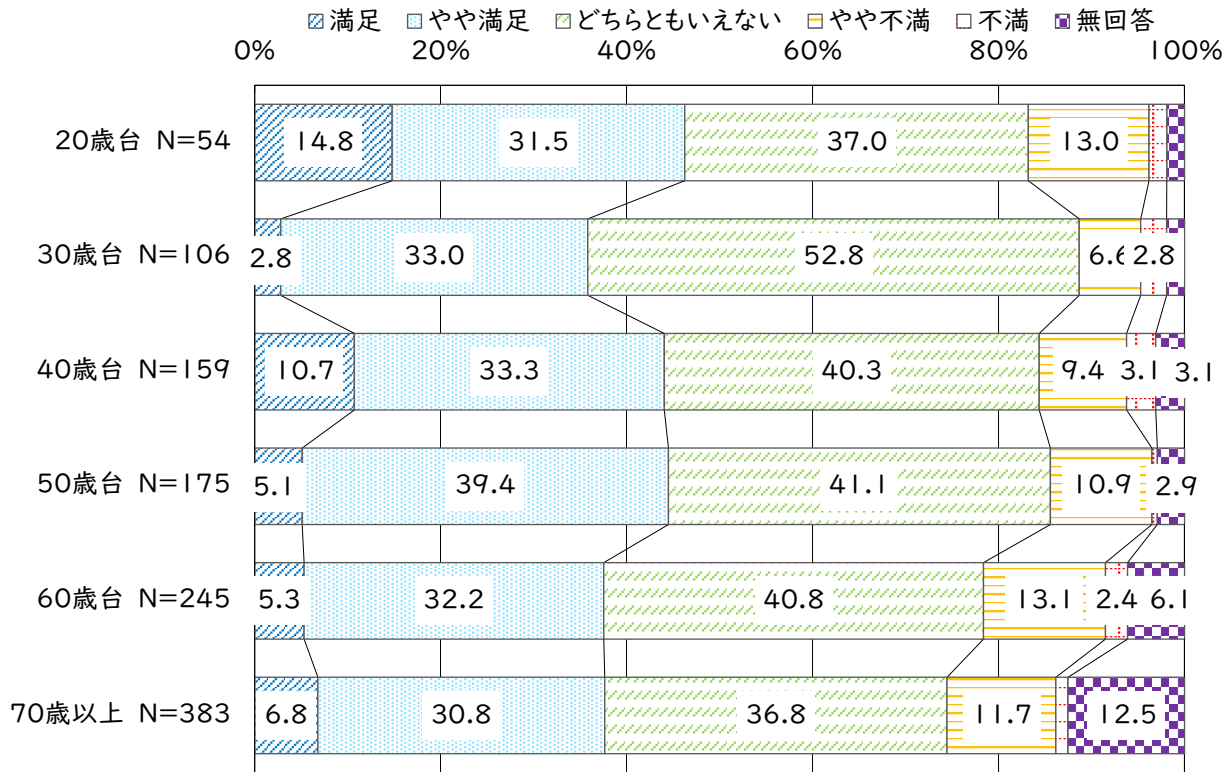


《重要度》

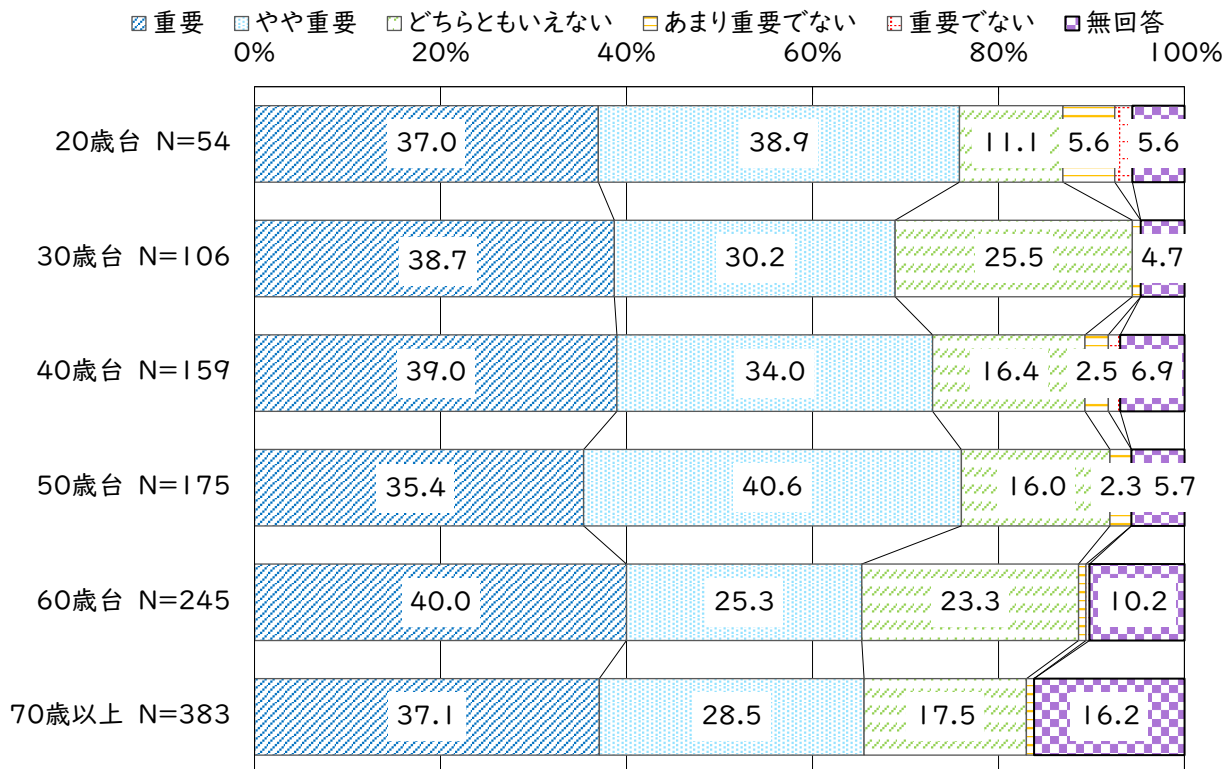


《地産地消の推進》

《満足度》

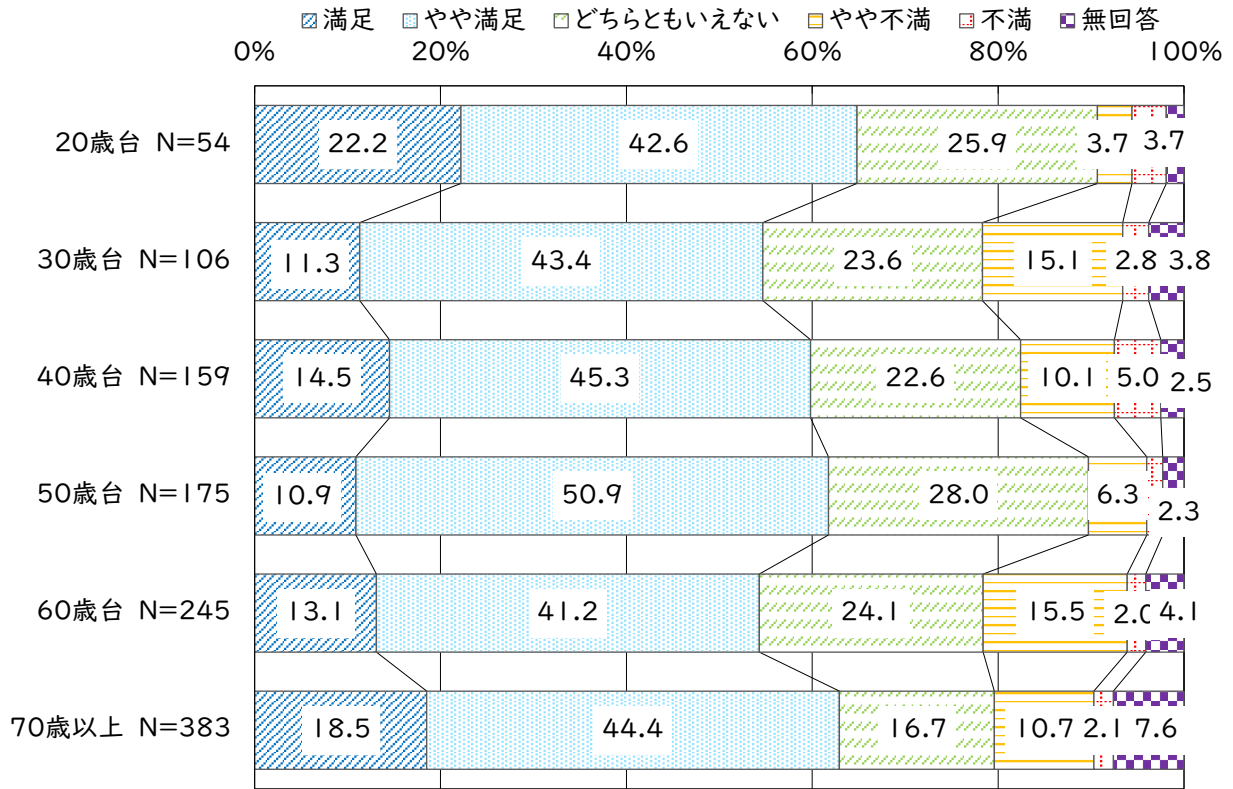


《重要度》

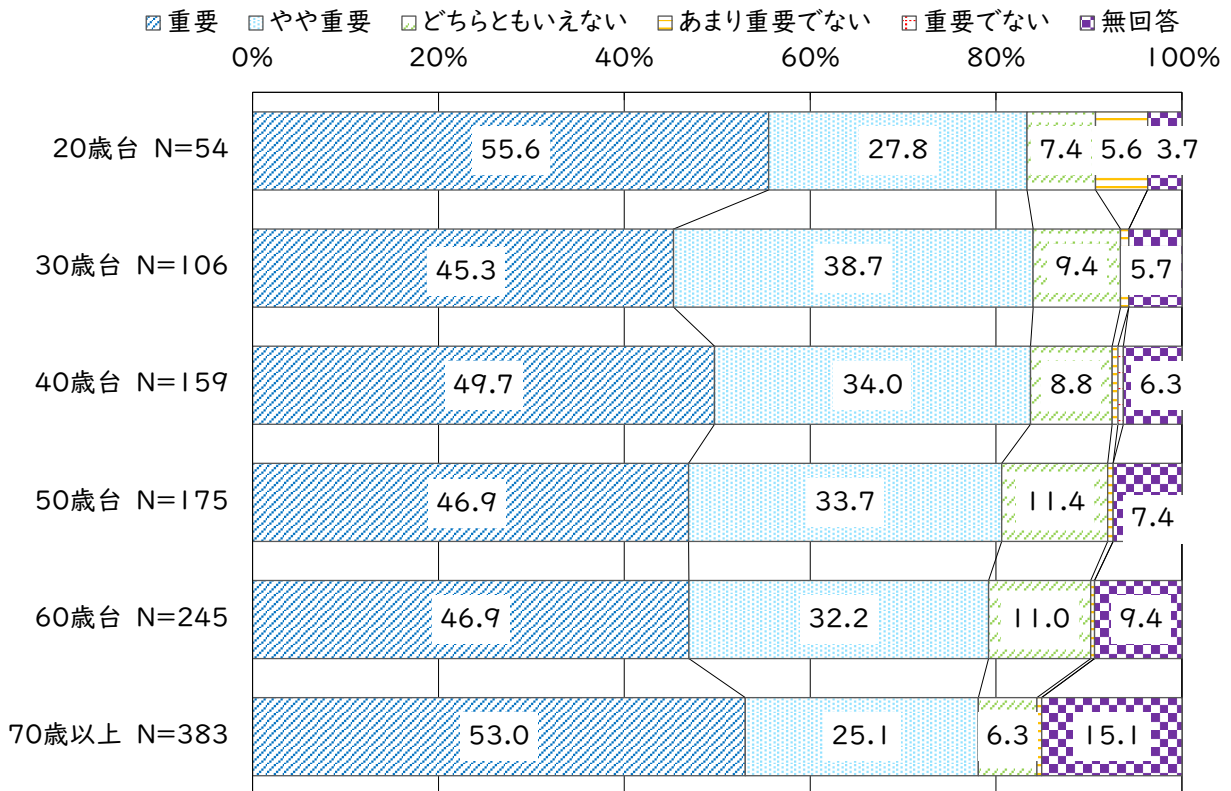


《自然の景観の美しさ》

《満足度》

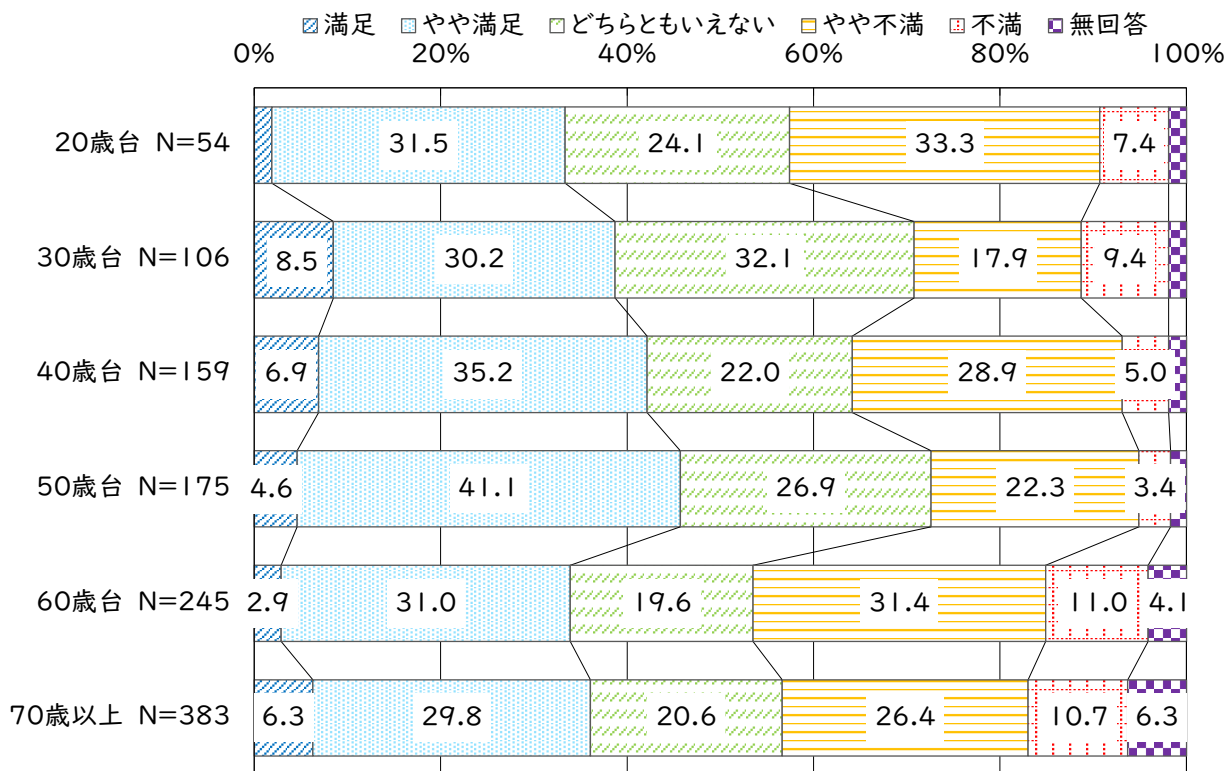


《重要度》

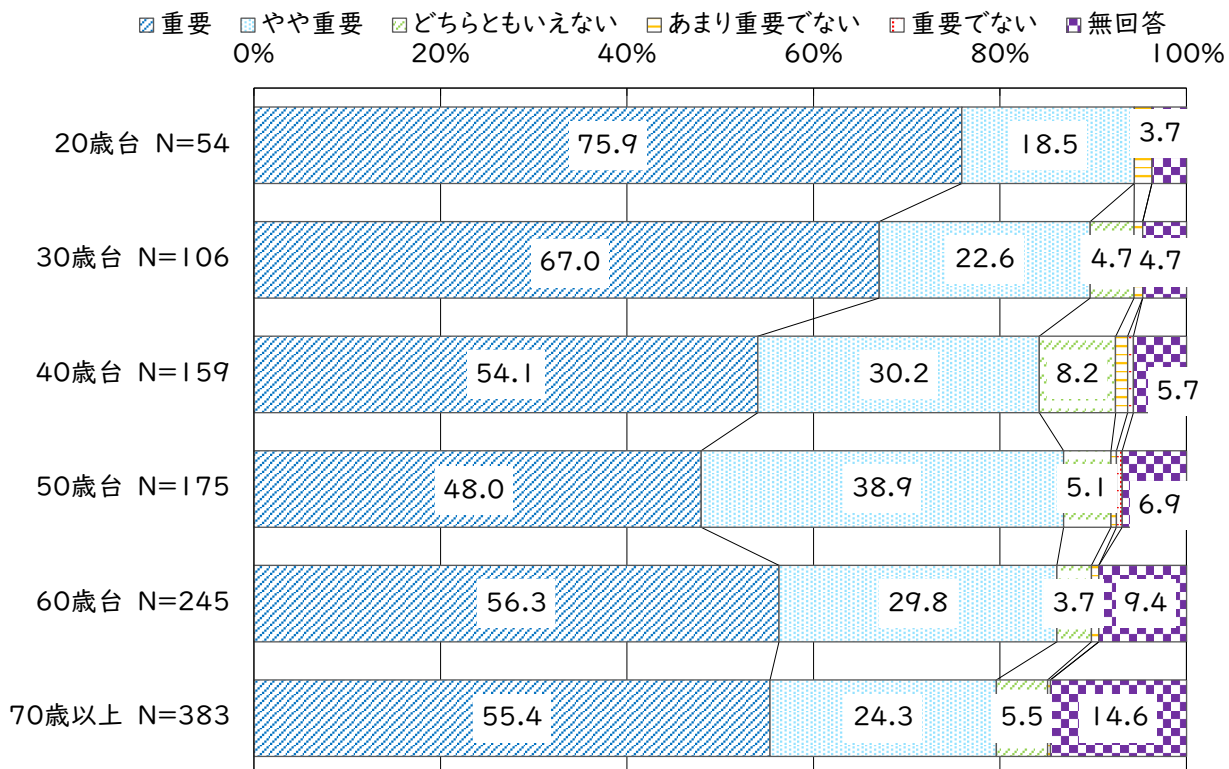


《まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ペットのふんなど)》

《満足度》

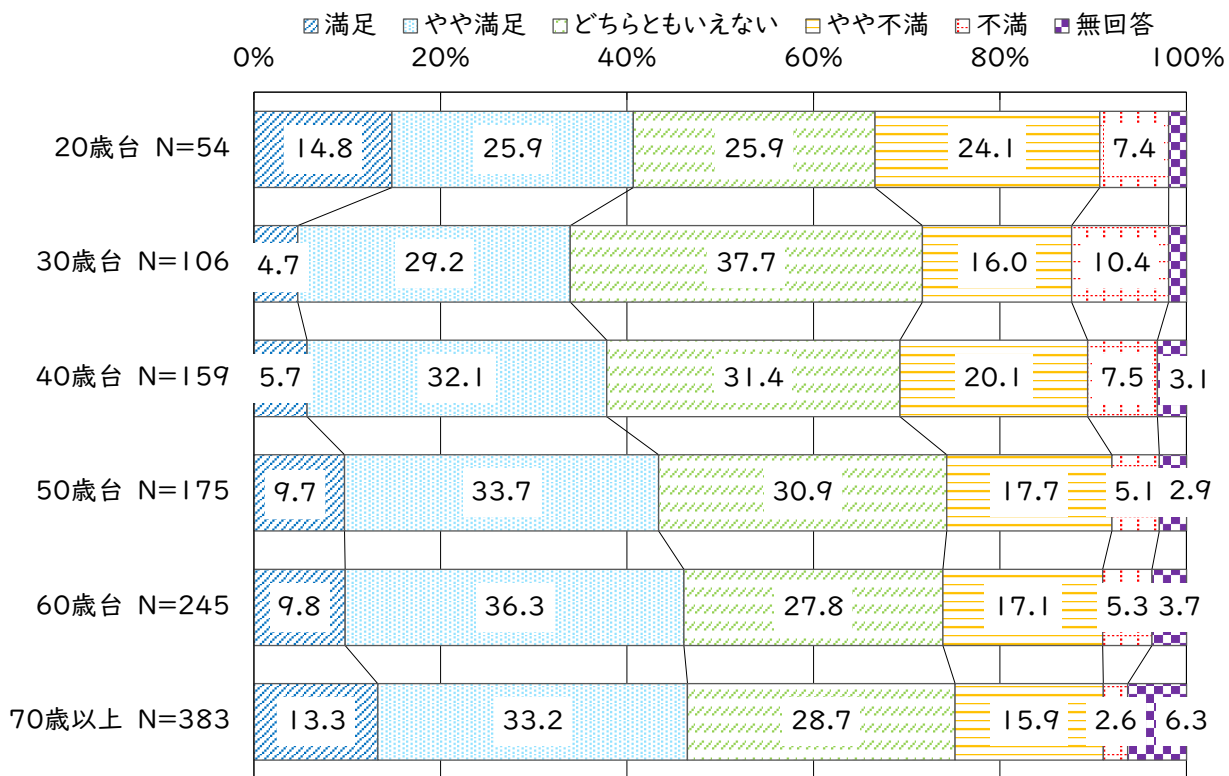


《重要度》

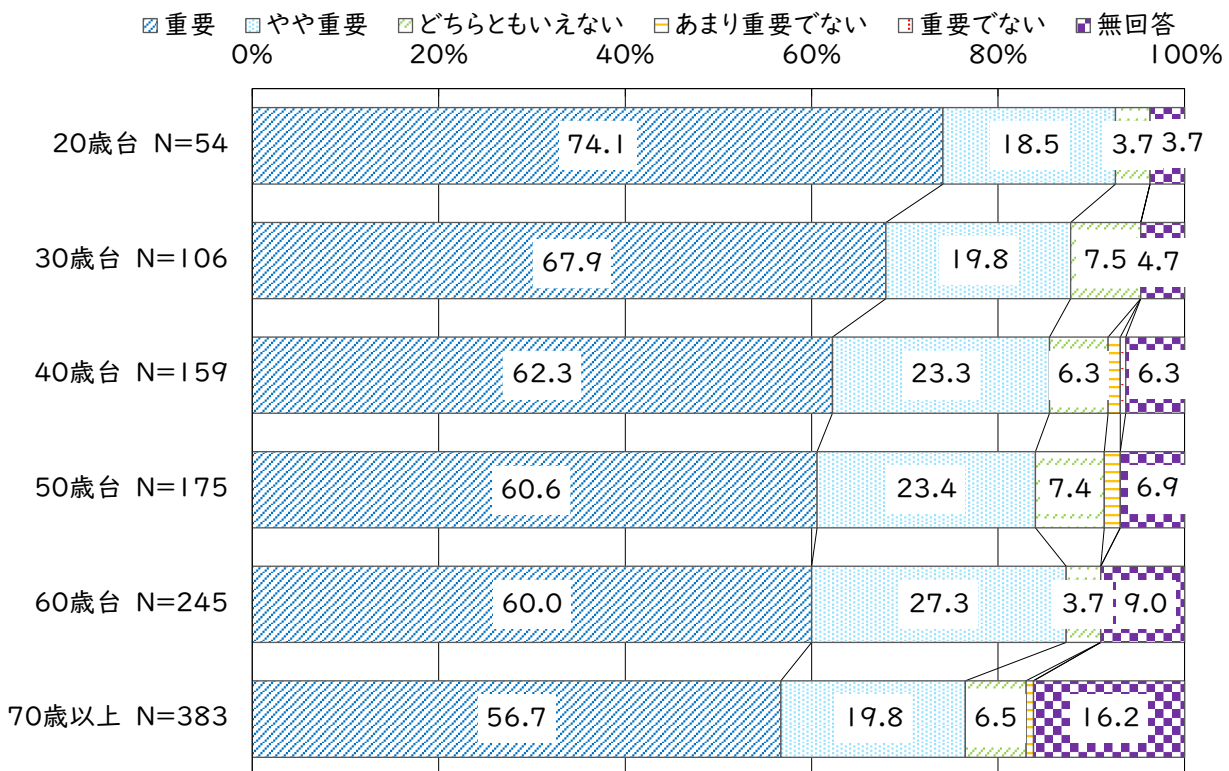


《空気のきれいさ(車の排気ガス・空気のかすみなど)》

《満足度》

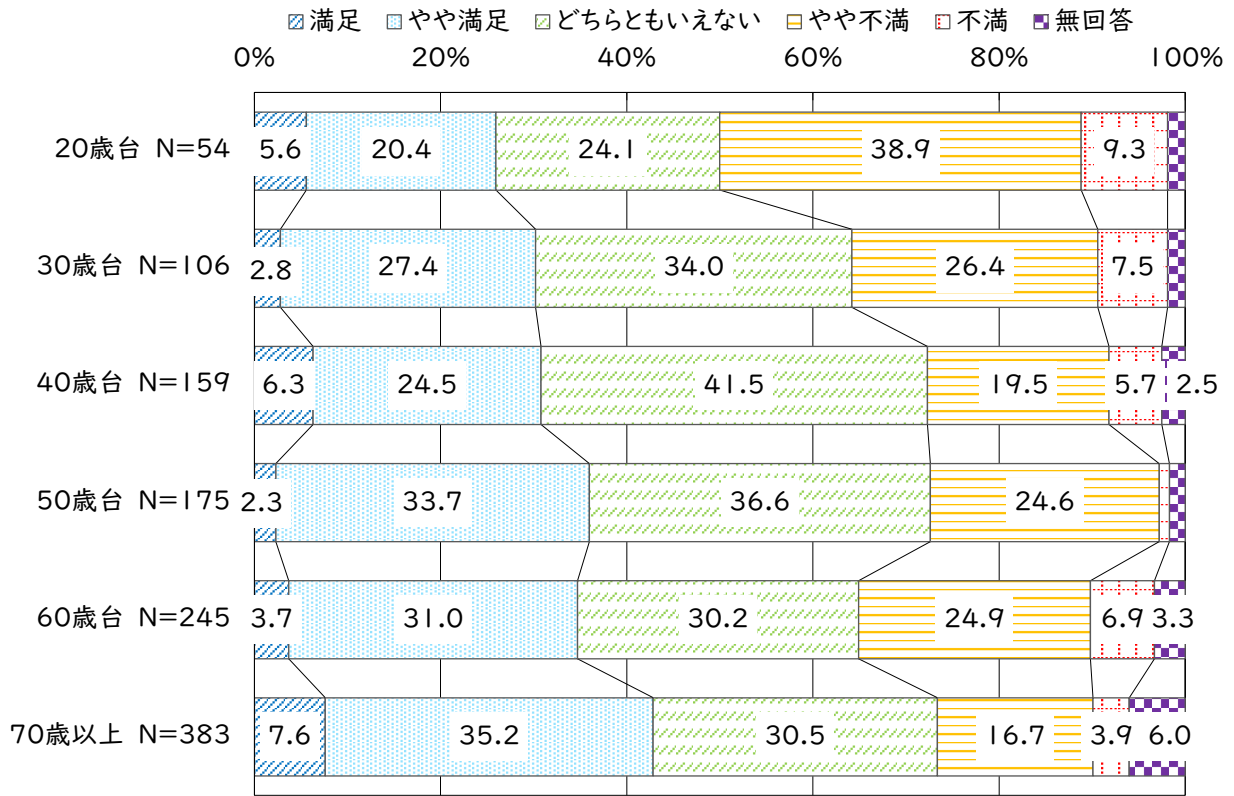


《重要度》

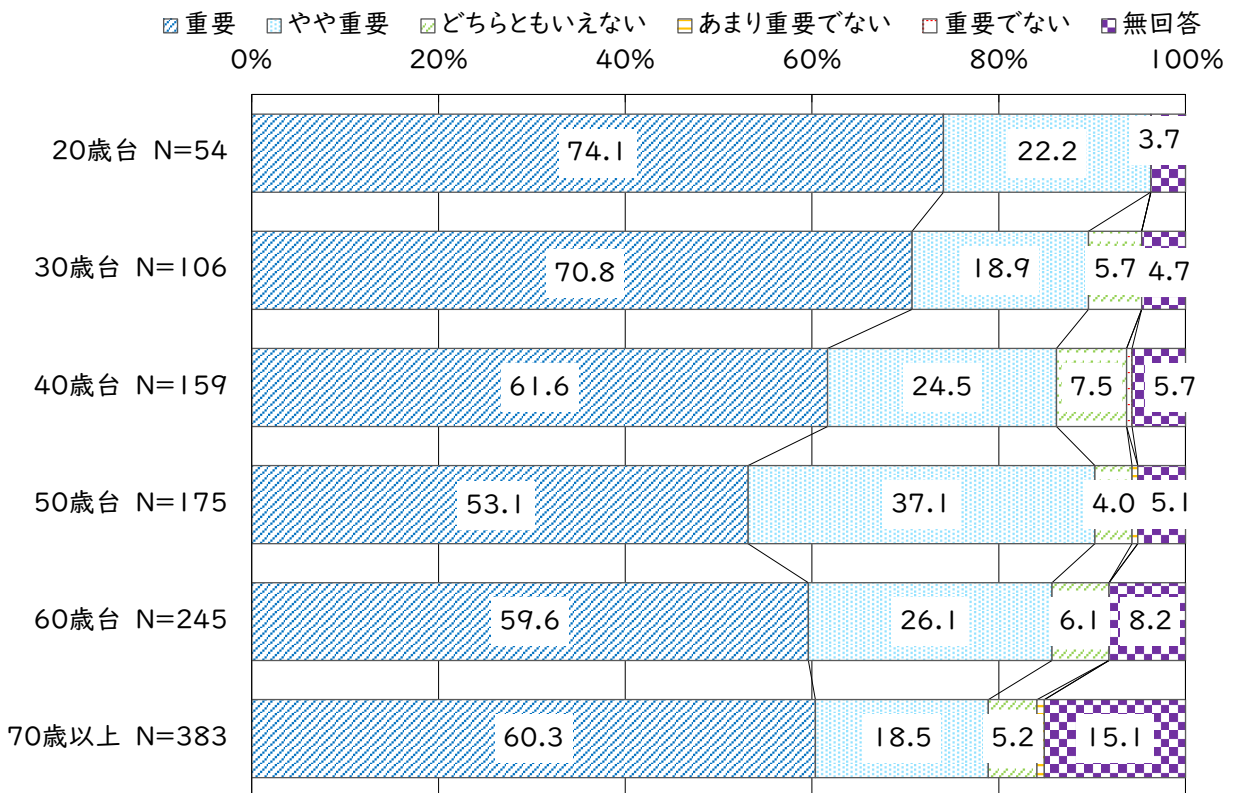


《水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など)》

《満足度》

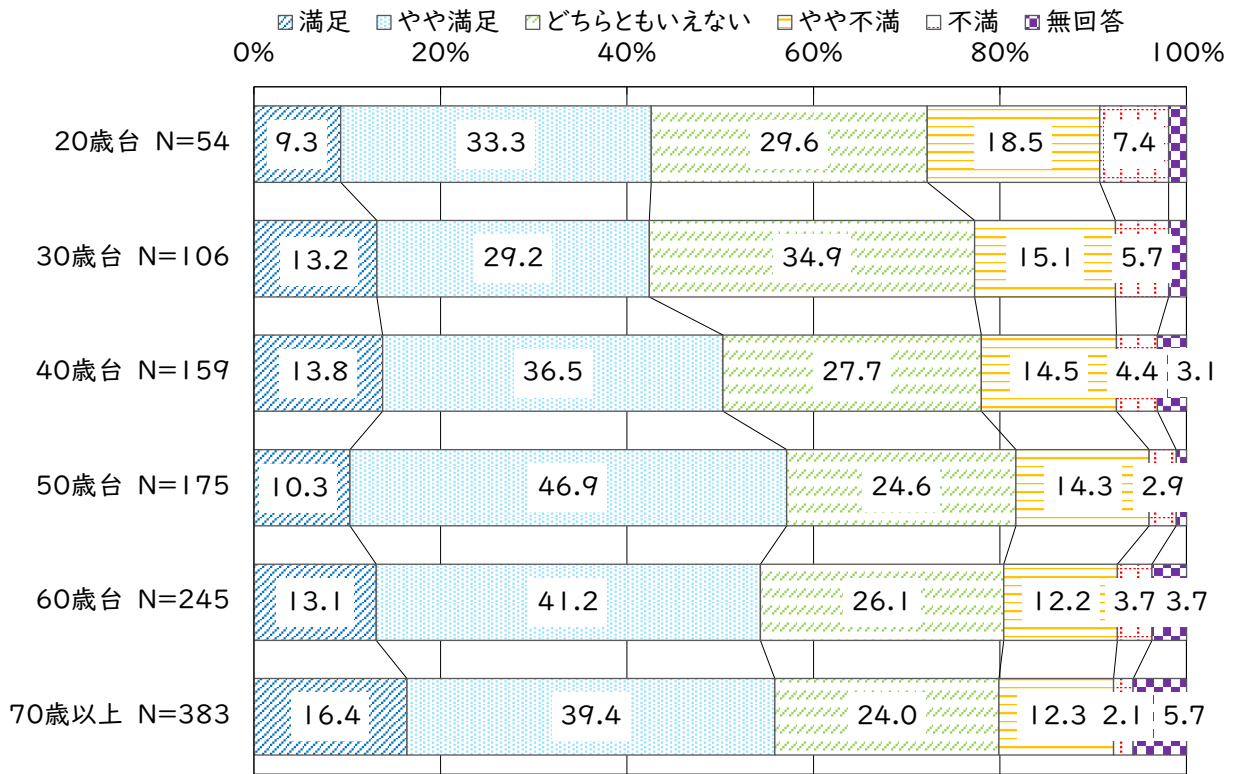


《重要度》

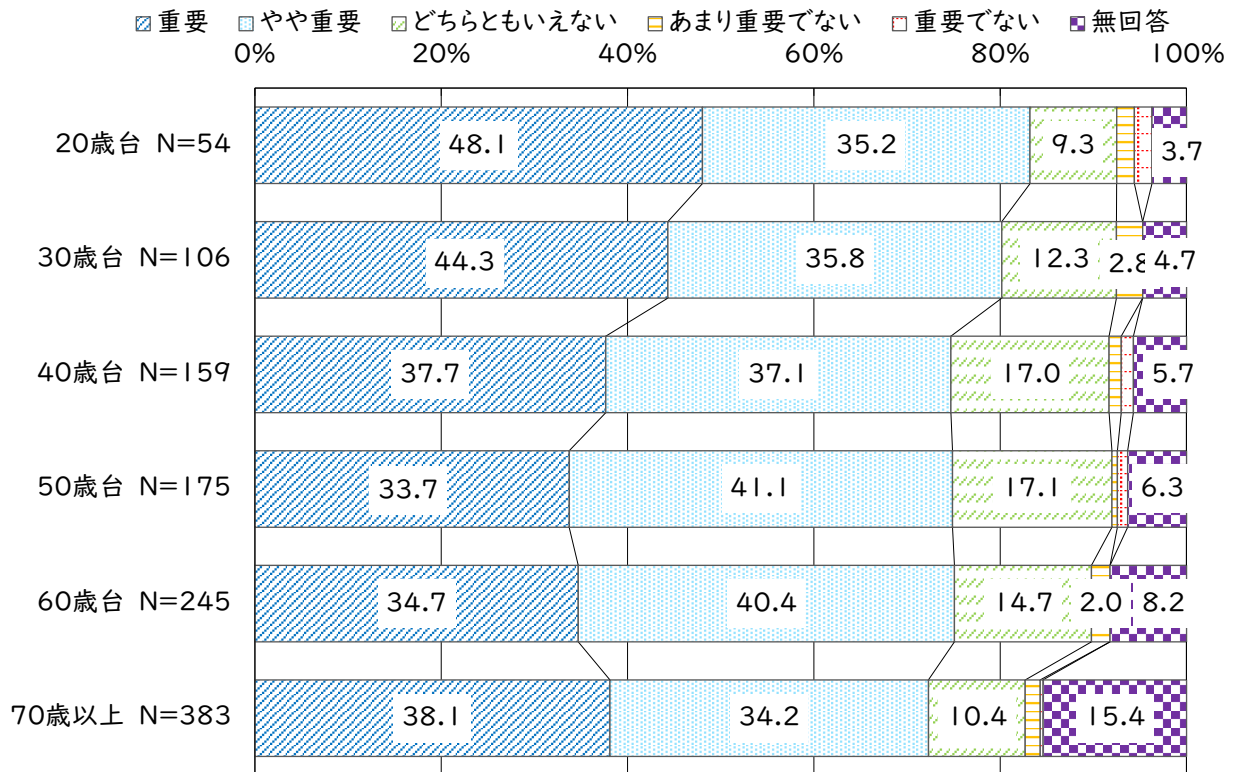


《まちの静けさ(騒音や振動など)》

《満足度》

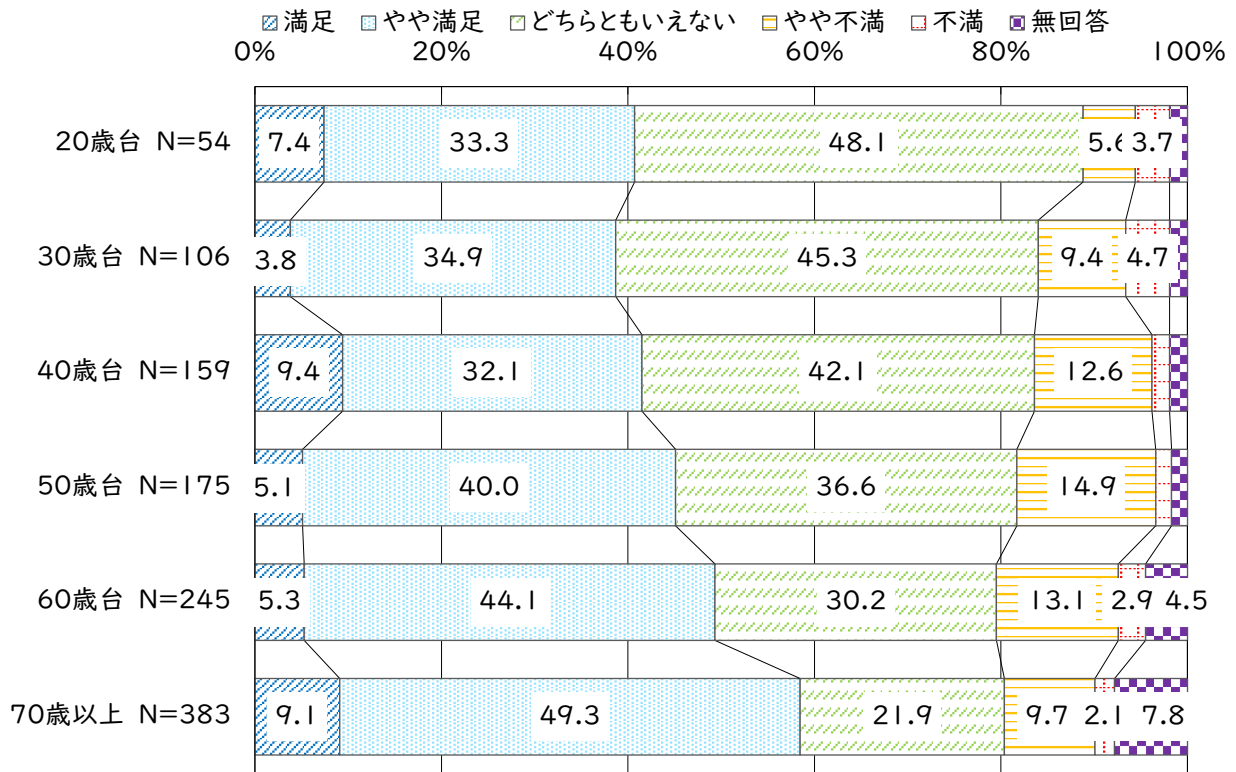


《重要度》

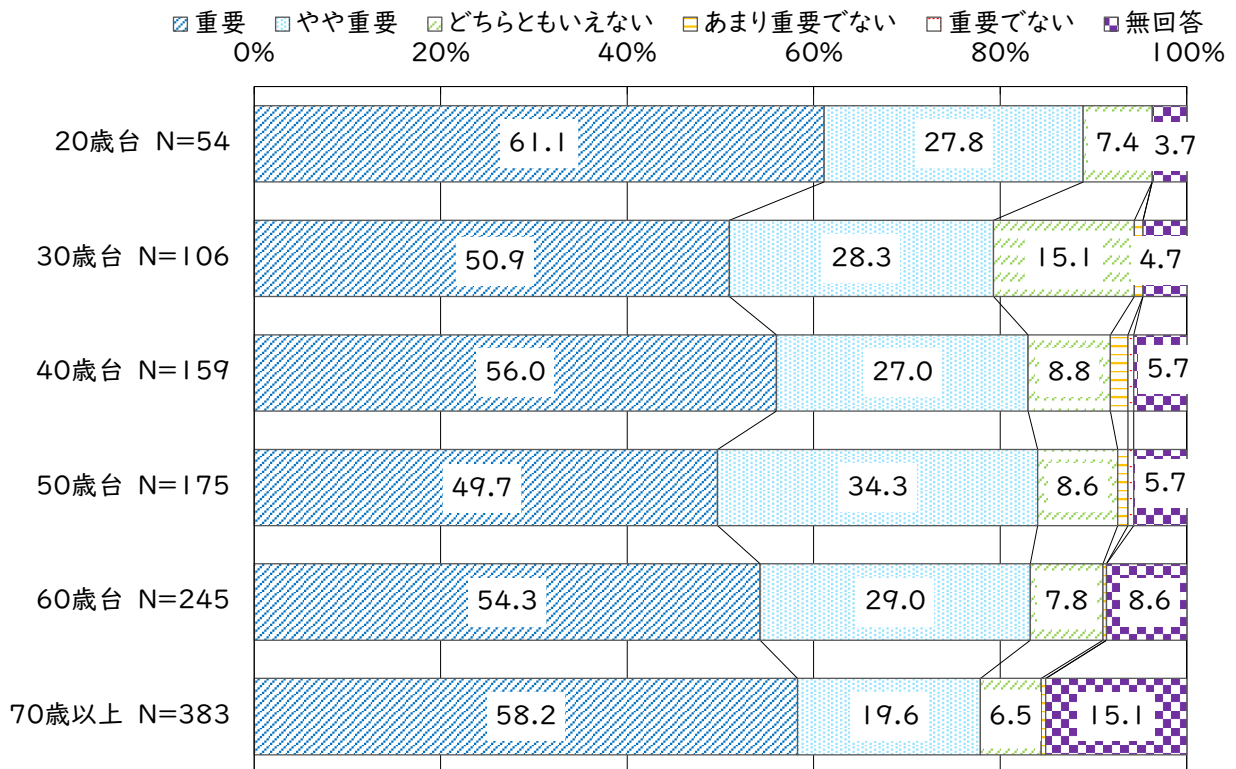


《ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み》

《満足度》

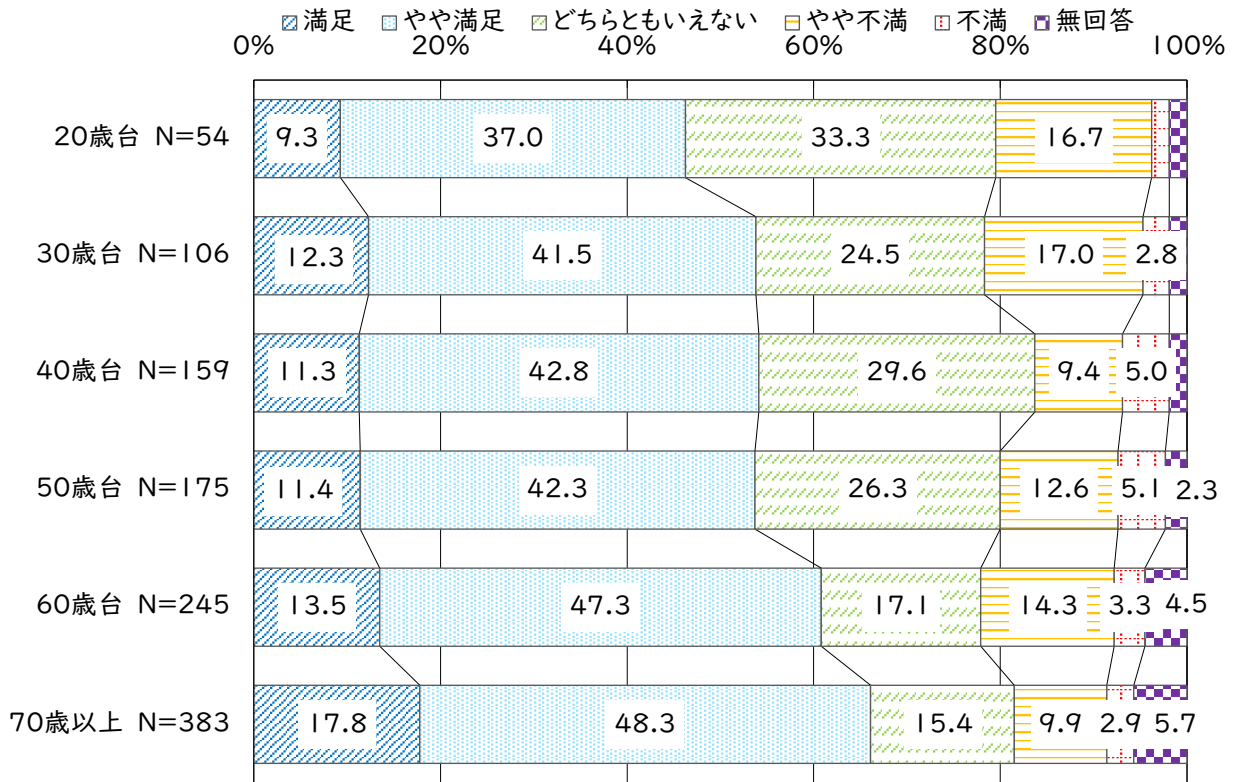


《重要度》

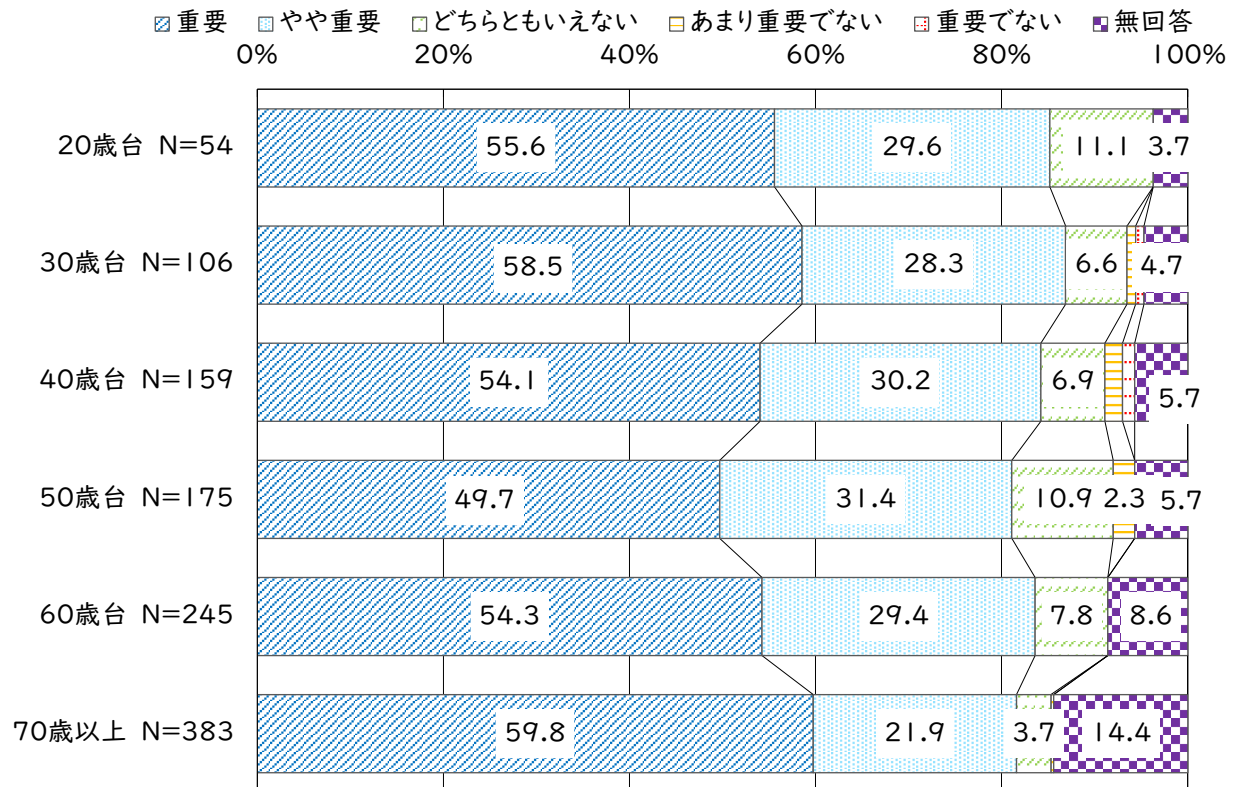


《ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み》

《満足度》

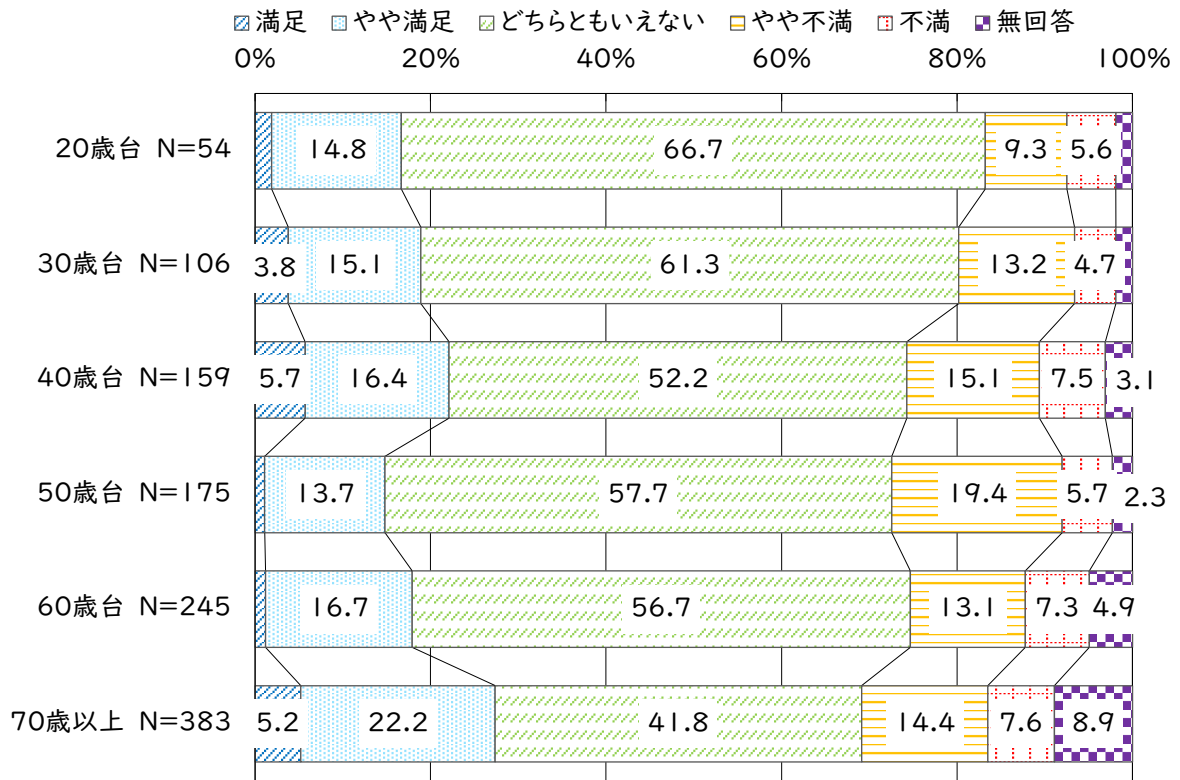


《重要度》

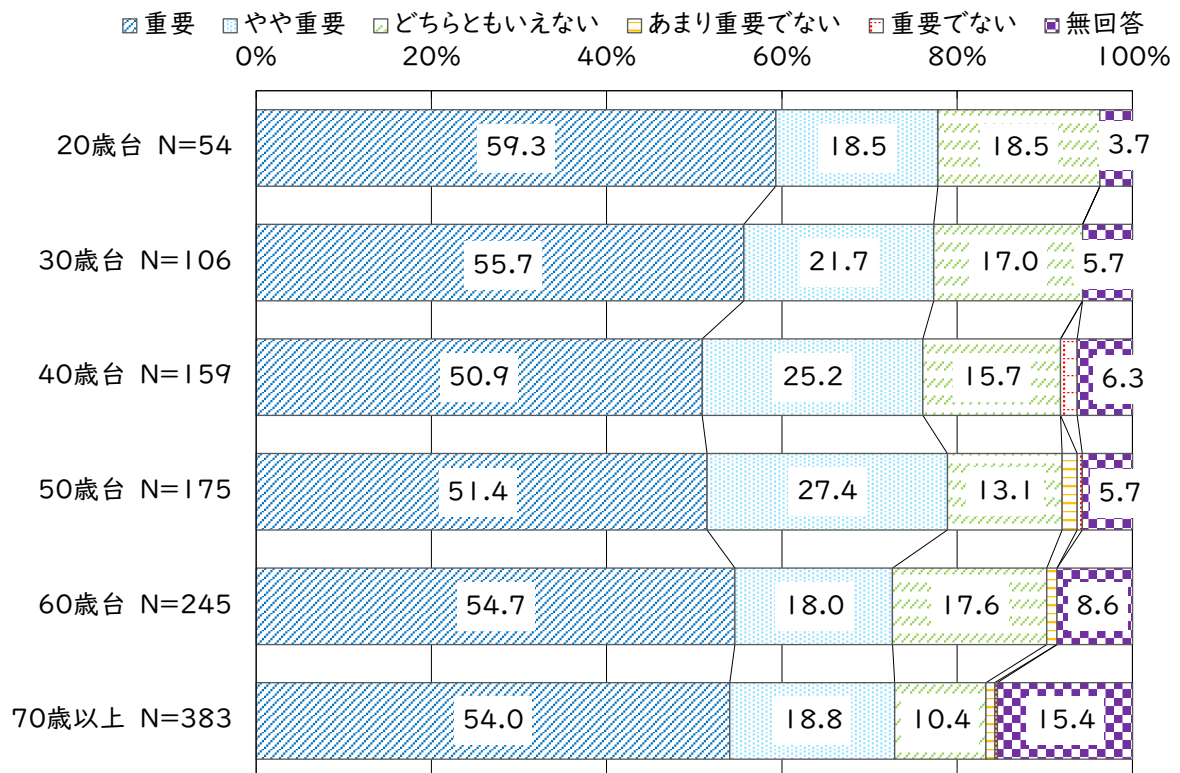


《再生可能エネルギーの推進》※太陽光、風力、水力発電などの枯渇しないエネルギー

《満足度》

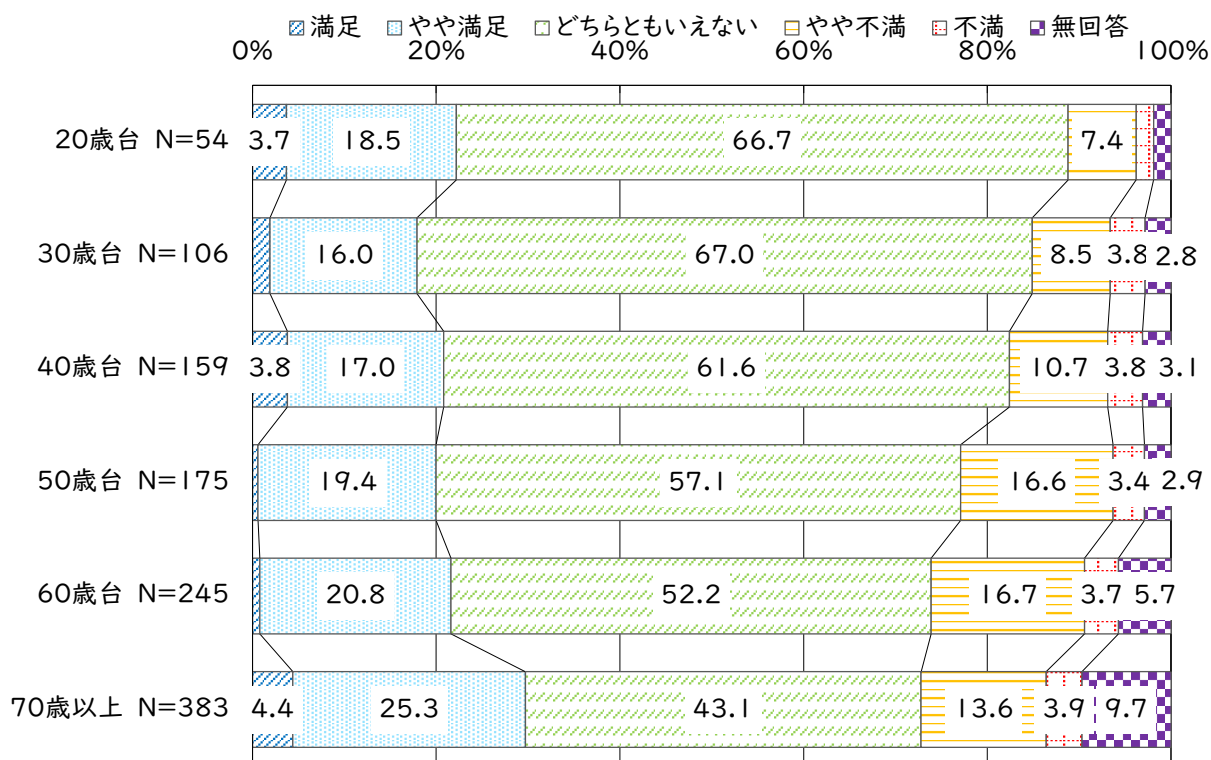


《重要度》

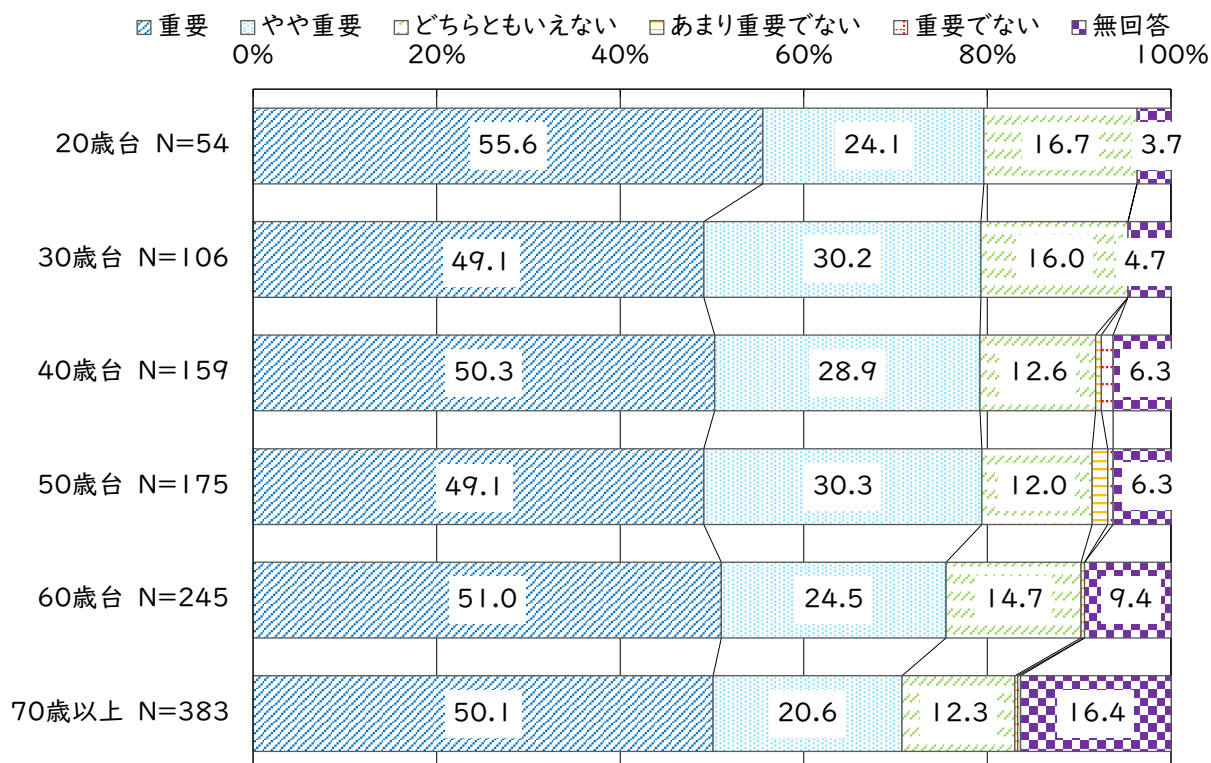


《省エネルギーの取組》

《満足度》

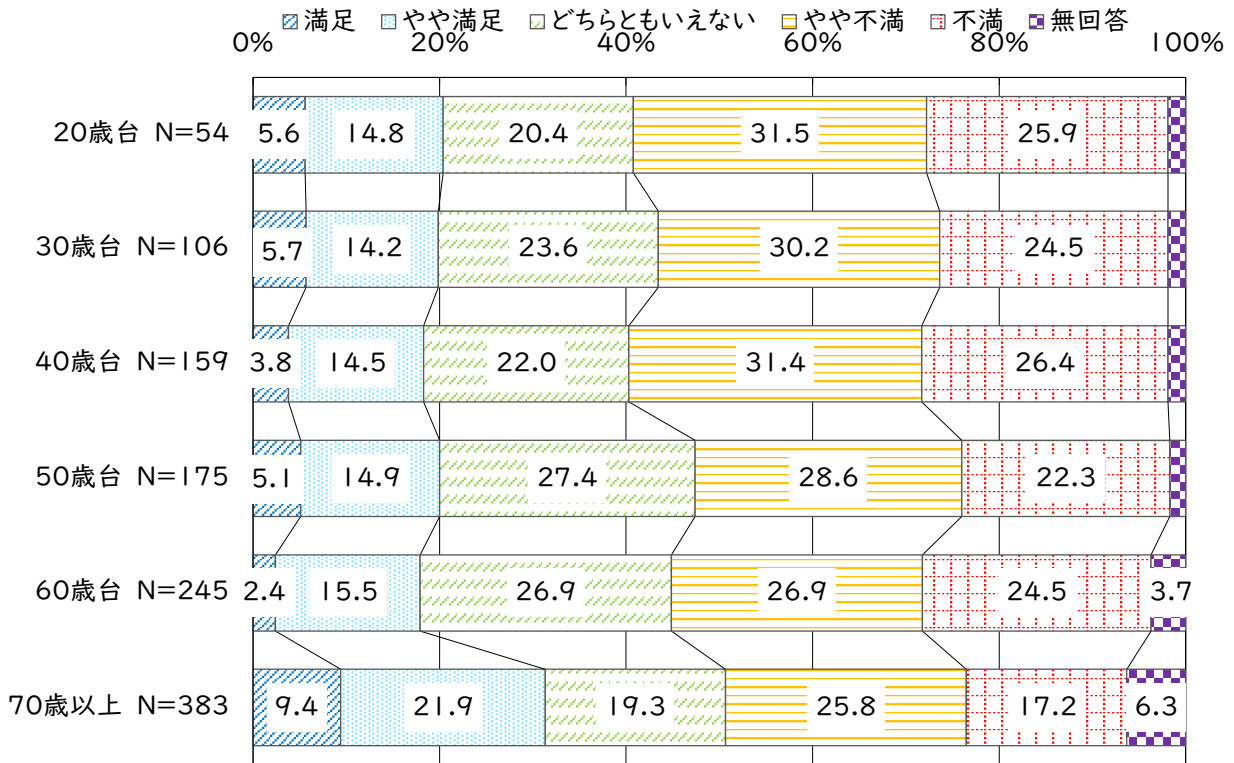


《重要度》

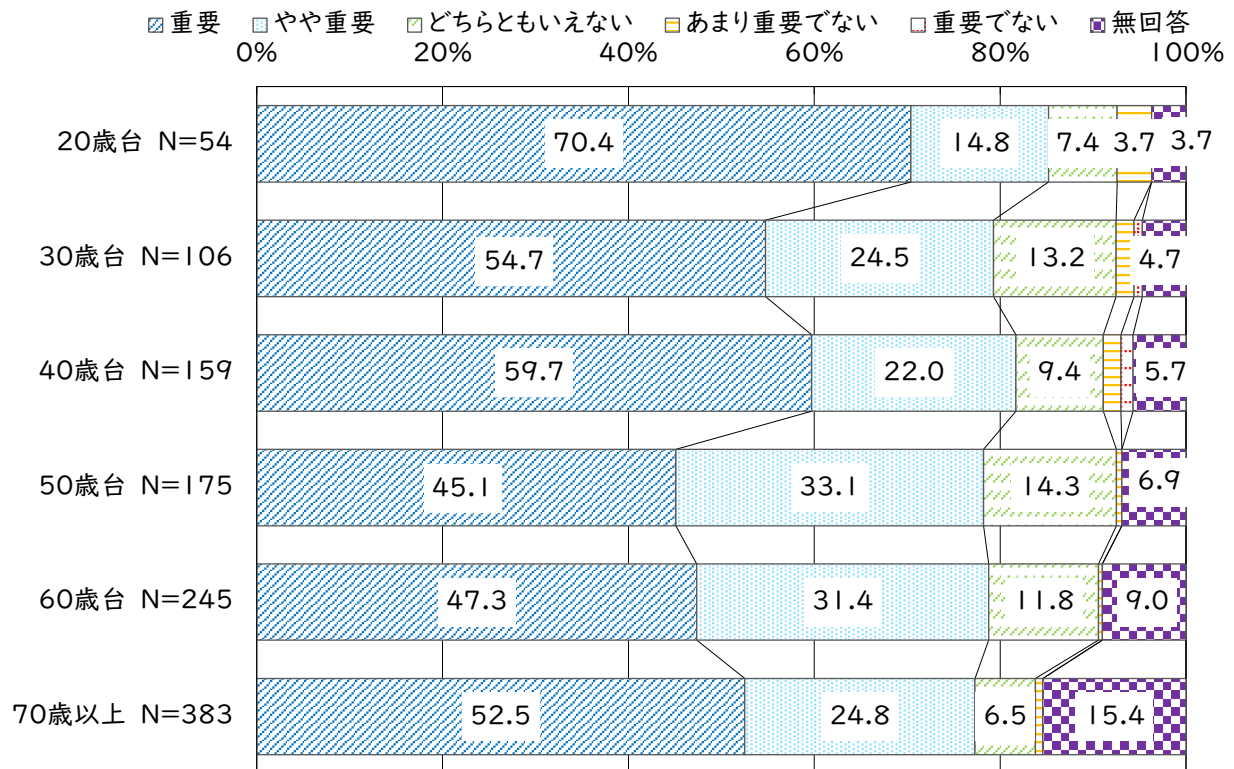


《公共交通機関の便利さ》

《満足度》

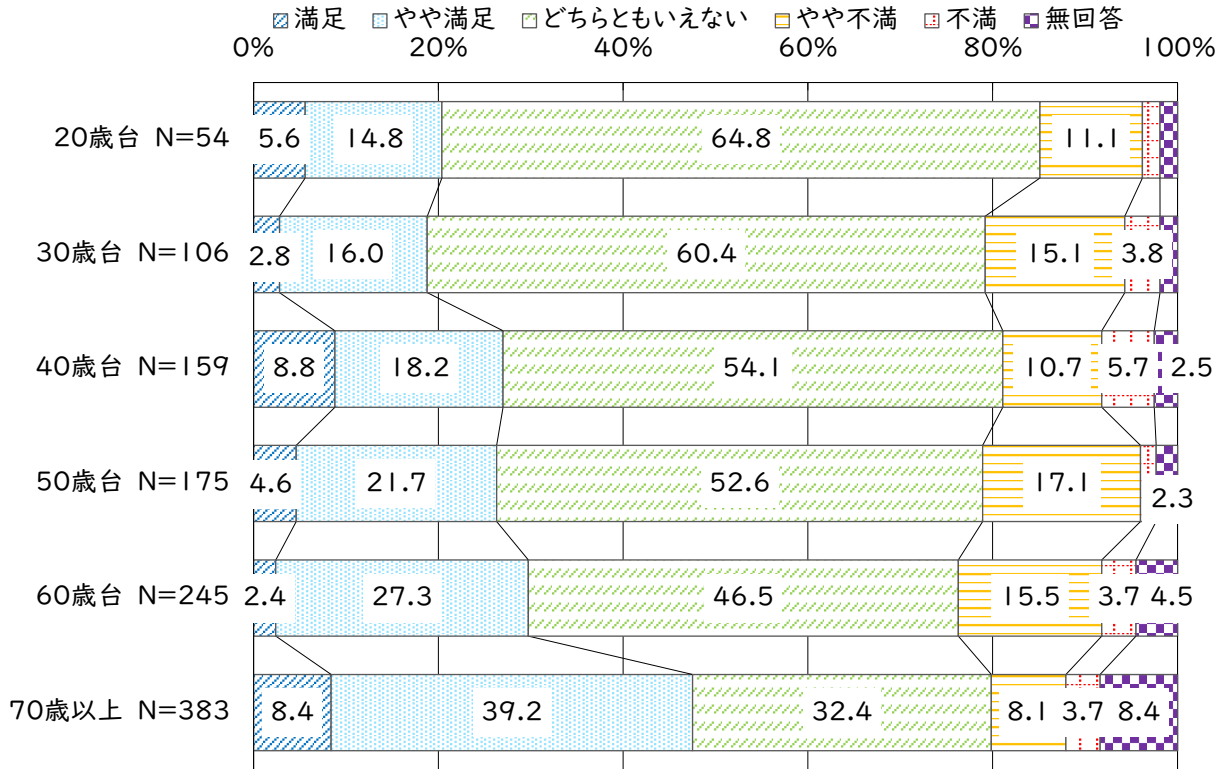


《重要度》

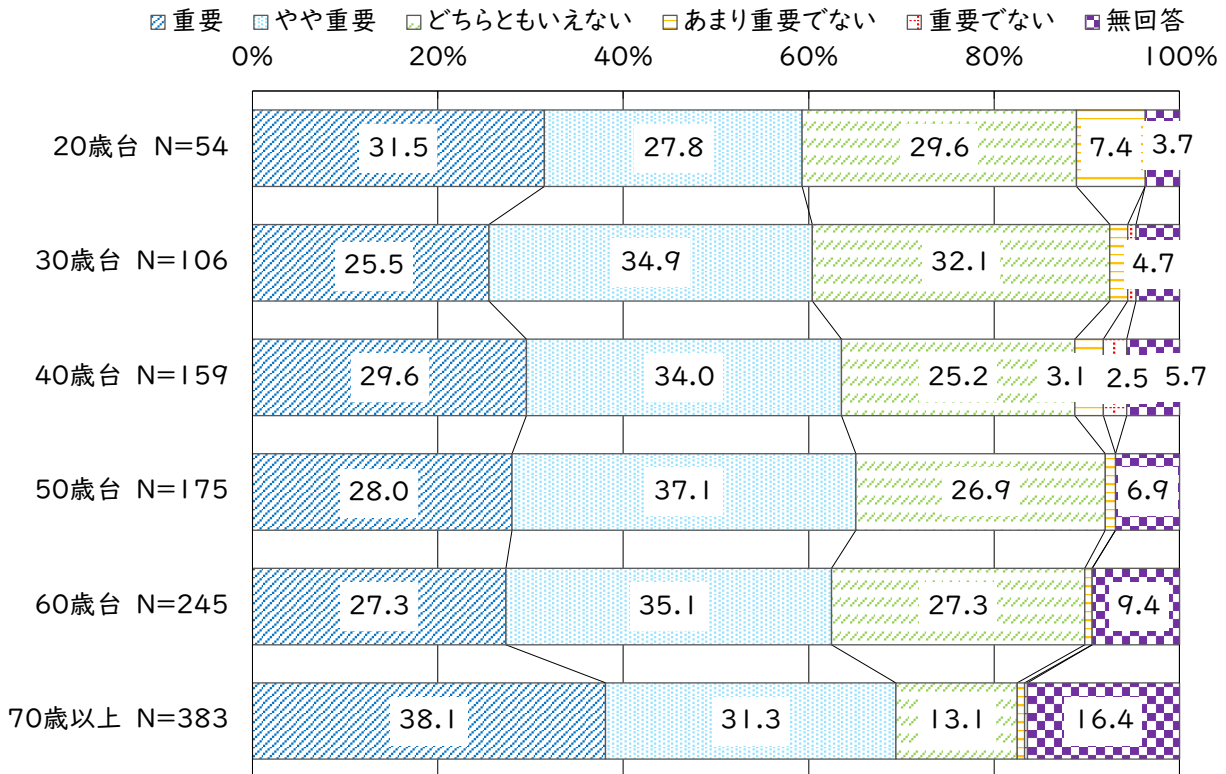


《環境に関する市からの情報提供（広報誌、テレビ、ホームページなど）》

《満足度》

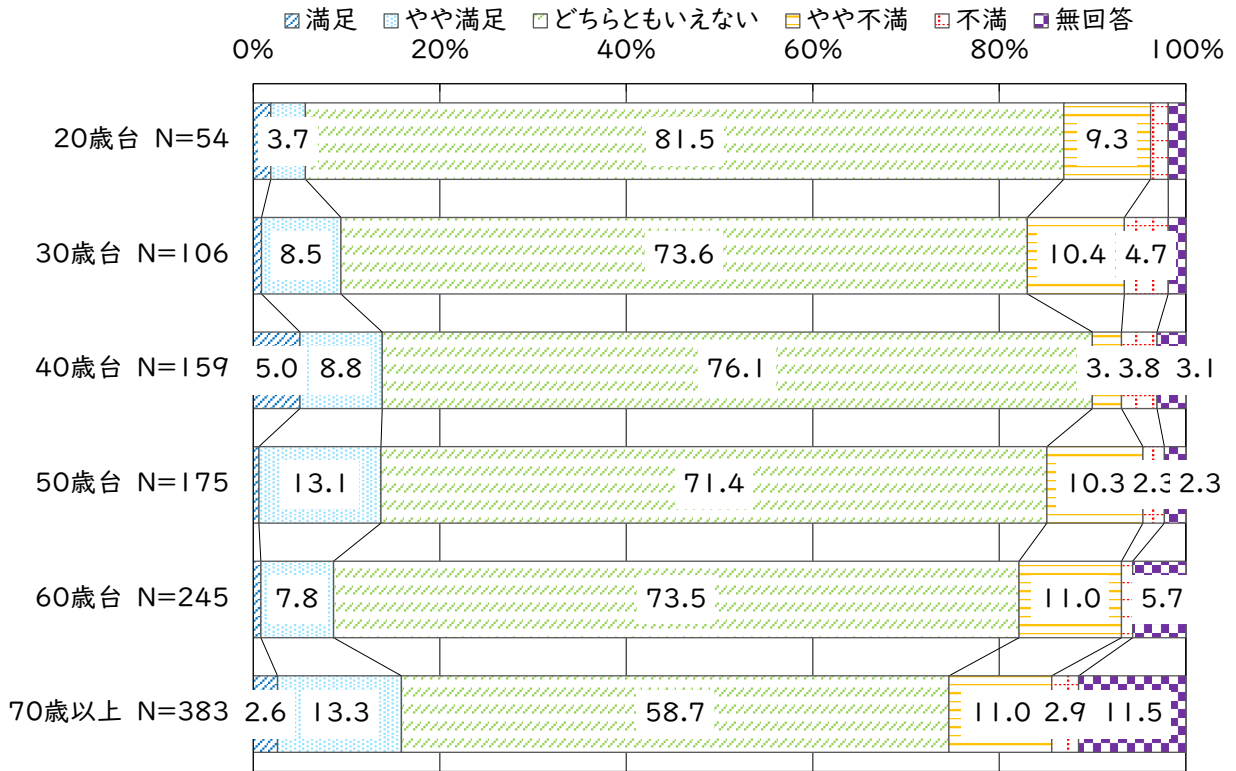


《重要度》

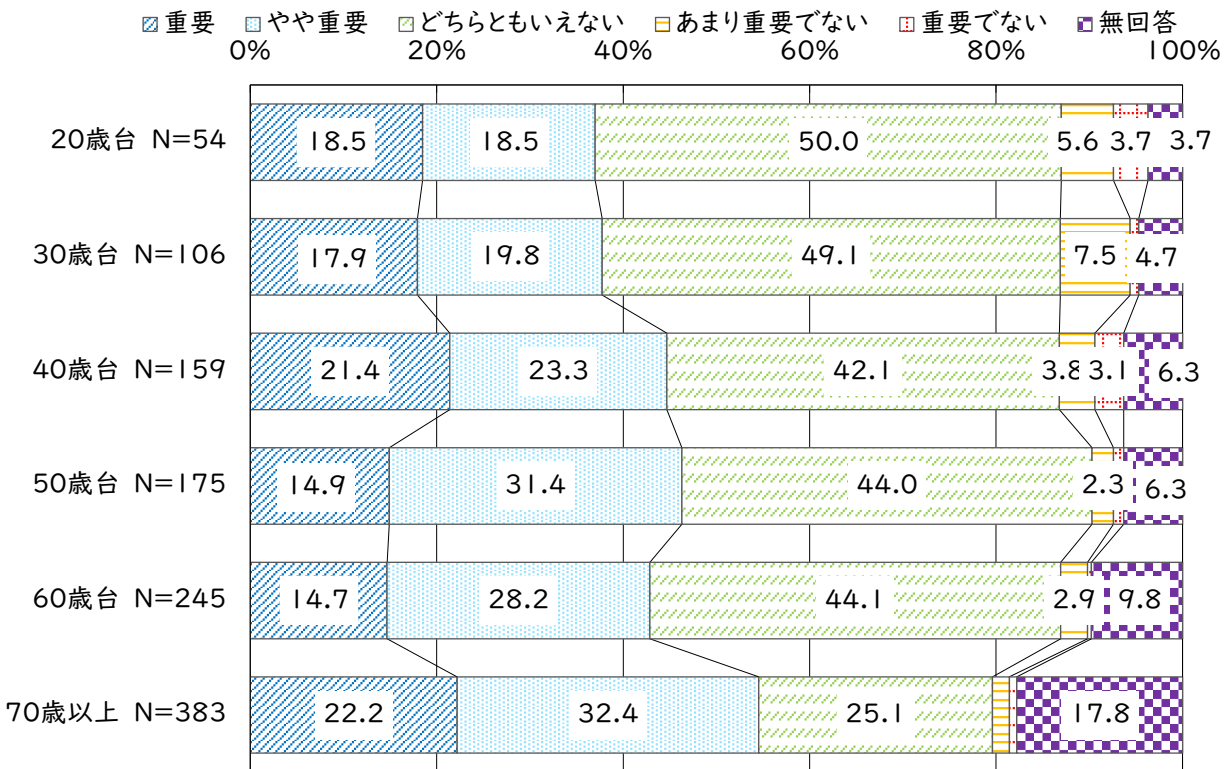


《環境に関する講座や観察会などのイベント》

《満足度》

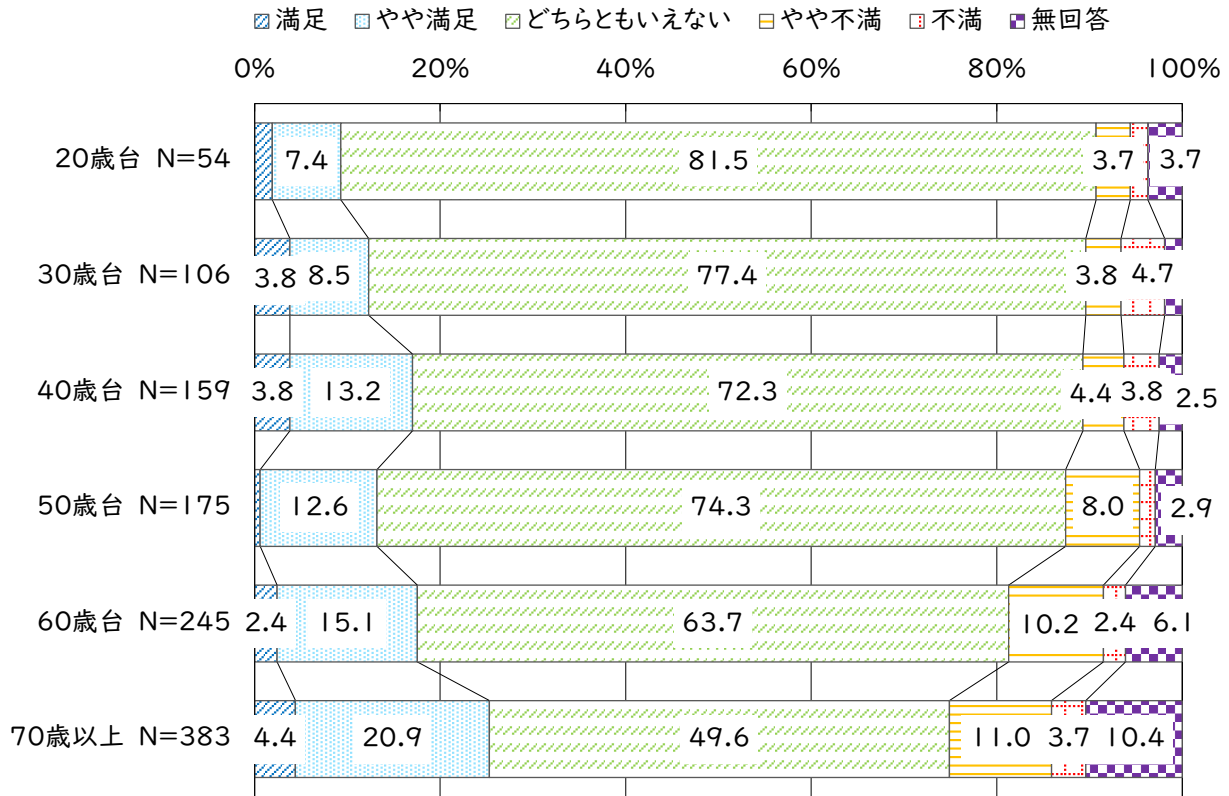


《重要度》

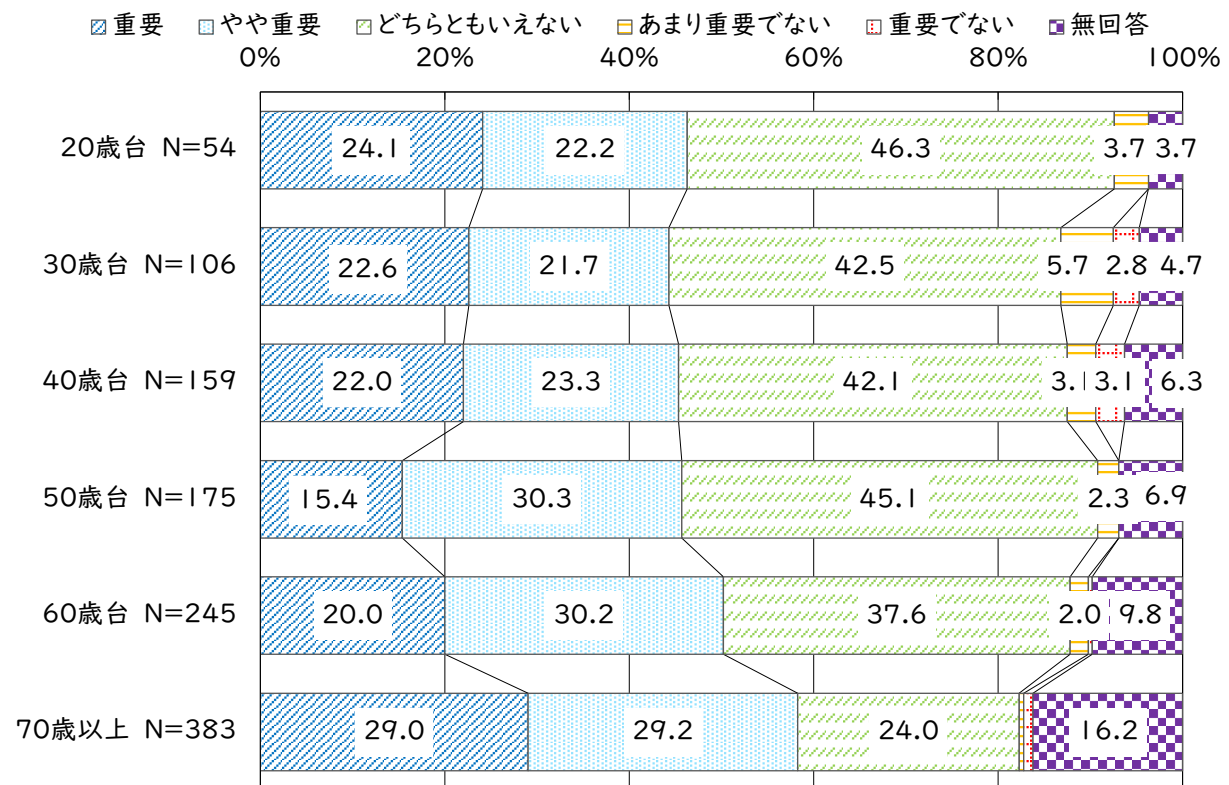


《自治会やNPO団体などの環境保全活動》

《満足度》



《重要度》



見開きページ
調整用の余白です



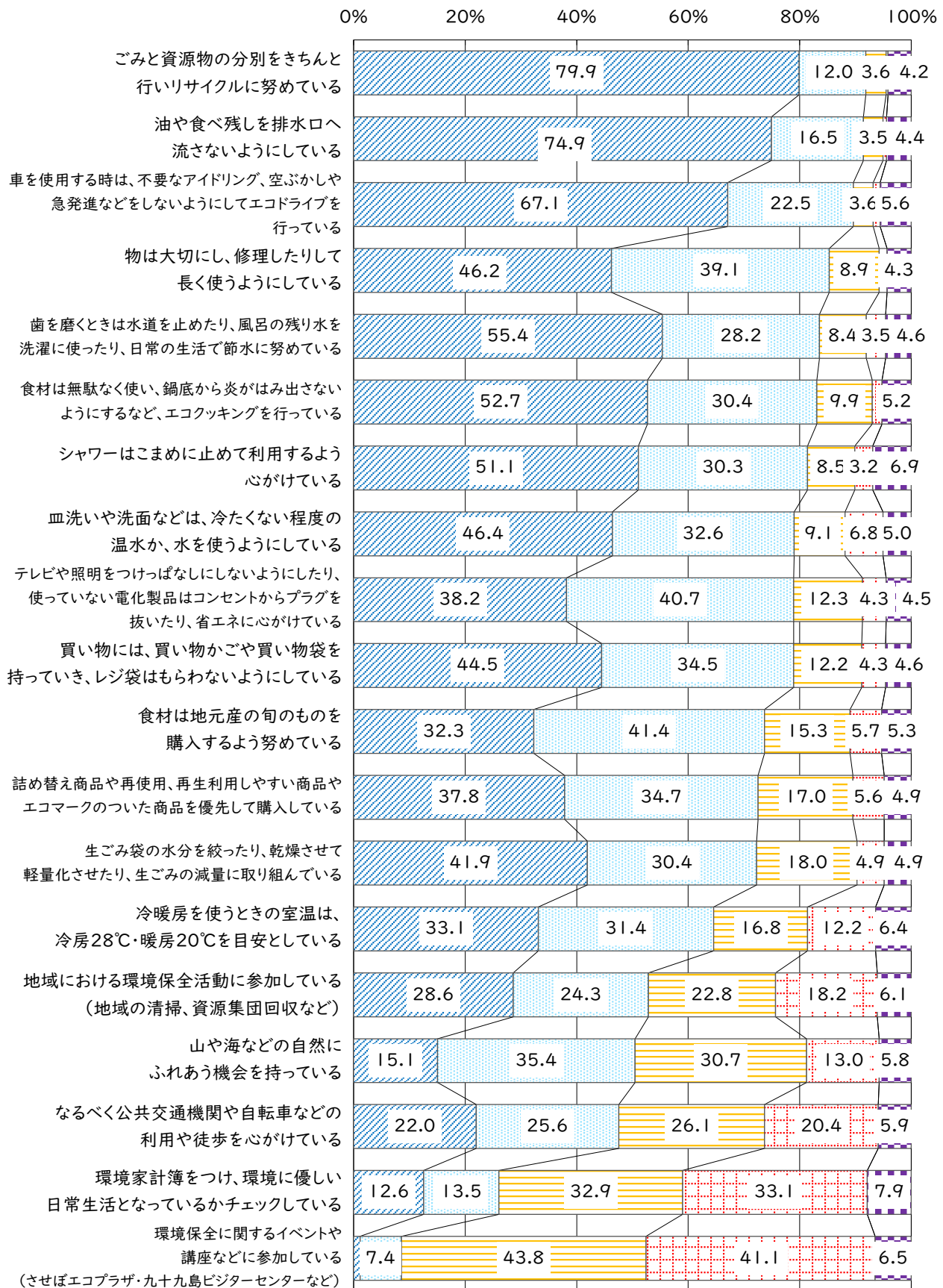
佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

問3 あなたが(または、あなたのご家庭で)日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。次の1~20の取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

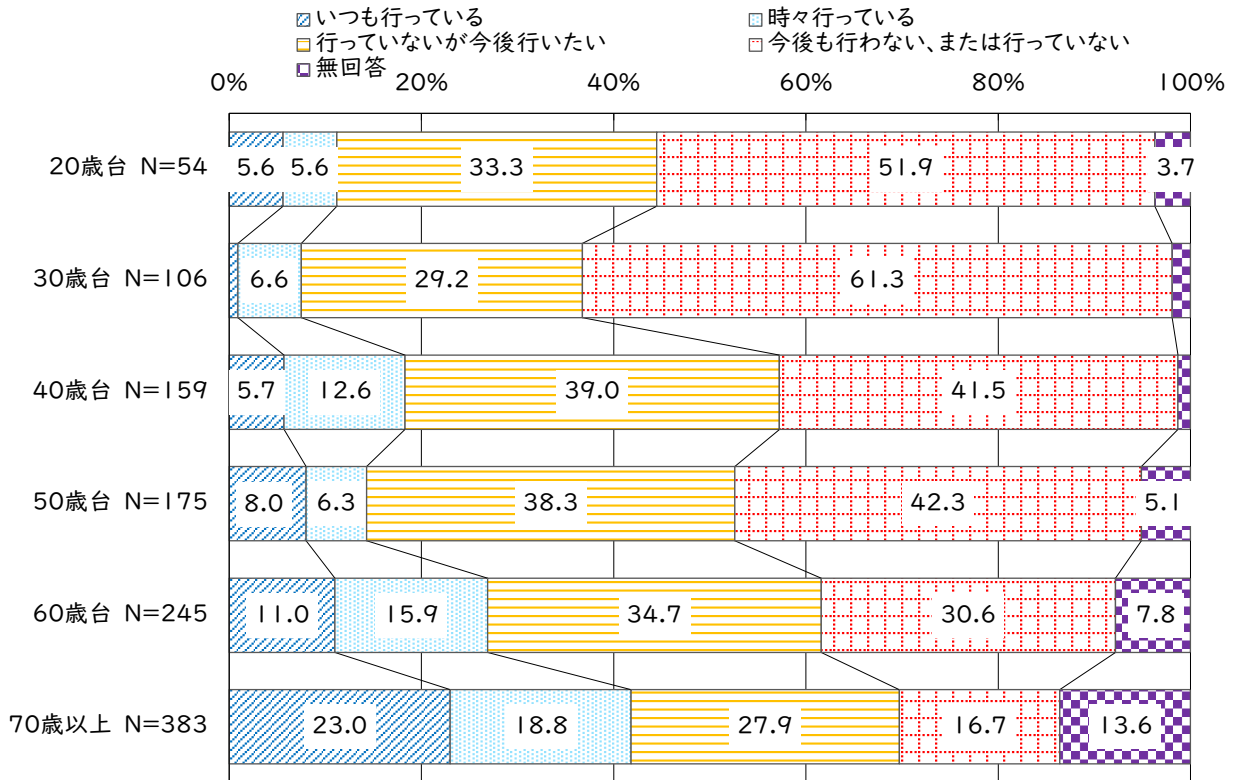
(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合の合計、[]内は昨年の割合(※)	いつも行っている	時々行っている	行っていないが今後行いたい	今後行わない、又は行っていない	該当しない	無回答	合計
ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (91.9%[93.4%])	902 79.9%	135 12.0%	41 3.6%	4 0.4%	-	47 4.2%	1,129 100%
油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (91.4%[91.8%])	846 74.9%	186 16.5%	40 3.5%	7 0.6%	-	50 4.4%	1,129 100%
車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている (89.6%[90.1%])	661 67.1%	222 22.5%	35 3.6%	12 1.2%	144	55 5.6%	985 100%
物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている (85.3%[85.4%])	522 46.2%	441 39.1%	101 8.9%	16 1.4%	-	49 4.3%	1,129 100%
歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている (83.6%[84.4%])	625 55.4%	318 28.2%	95 8.4%	39 3.5%	-	52 4.6%	1,129 100%
食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないするなど、エコクッキングを行っている(83.1%[82.1%])	595 52.7%	343 30.4%	112 9.9%	20 1.8%	-	59 5.2%	1,129 100%
シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている (81.4%[82.2%])	450 51.1%	267 30.3%	75 8.5%	28 3.2%	248	61 6.9%	881 100%
皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている (79.0%[79.0%])	524 46.4%	368 32.6%	103 9.1%	77 6.8%	-	57 5.0%	1,129 100%
テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている (78.9%[77.5%])	431 38.2%	460 40.7%	139 12.3%	48 4.3%	-	51 4.5%	1,129 100%
買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている (79.0%[73.9%])	502 44.5%	389 34.5%	138 12.2%	48 4.3%	-	52 4.6%	1,129 100%
食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (73.7%[76.5%])	365 32.3%	467 41.4%	173 15.3%	64 5.7%	-	60 5.3%	1,129 100%
詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している (72.5%[76.3%])	427 37.8%	392 34.7%	192 17.0%	63 5.6%	-	55 4.9%	1,129 100%
生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり生ごみの減量に取り組んでいる (72.3%[69.9%])	473 41.9%	343 30.4%	203 18.0%	55 4.9%	-	55 4.9%	1,129 100%
冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている (64.5%[66.1%])	374 33.1%	355 31.4%	190 16.8%	138 12.2%	-	72 6.4%	1,129 100%
地域における環境保全活動に参加している(地域の清掃、資源集団回収など) (52.9%[53.5%])	323 28.6%	274 24.3%	257 22.8%	206 18.2%	-	69 6.1%	1,129 100%
山や海などの自然にふれあう機会を持っている (50.5%[52.0%])	170 15.1%	400 35.4%	347 30.7%	147 13.0%	-	65 5.8%	1,129 100%
なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている (47.6%[47.5%])	248 22.0%	289 25.6%	295 26.1%	230 20.4%	-	67 5.9%	1,129 100%
環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている (26.1%[24.4%])	142 12.6%	152 13.5%	372 32.9%	374 33.1%	-	89 7.9%	1,129 100%
環境保全に関するイベントや講座などに参加している(させぼエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (8.6%[7.6%])	13 1.2%	84 7.4%	495 43.8%	464 41.1%	-	73 6.5%	1,129 100%

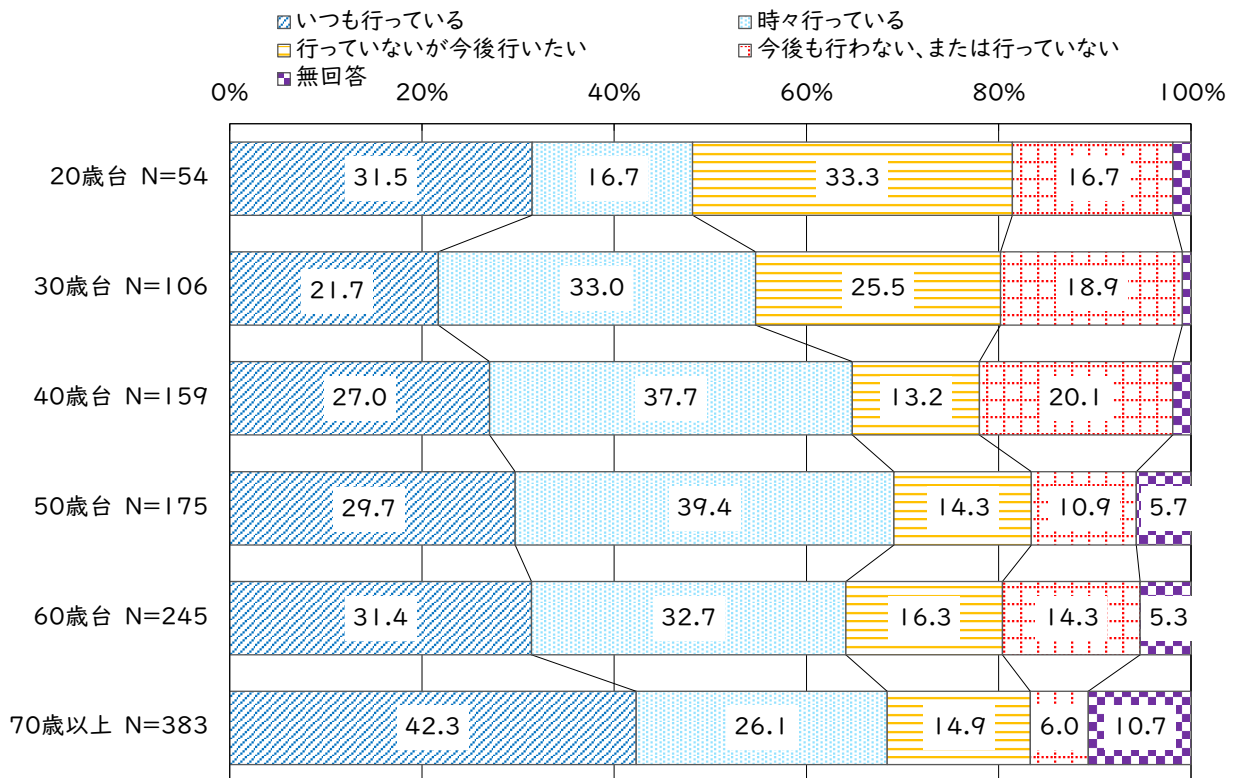
※有効回答者数(N):1,129人、「該当しない」を除いた割合で計算している。



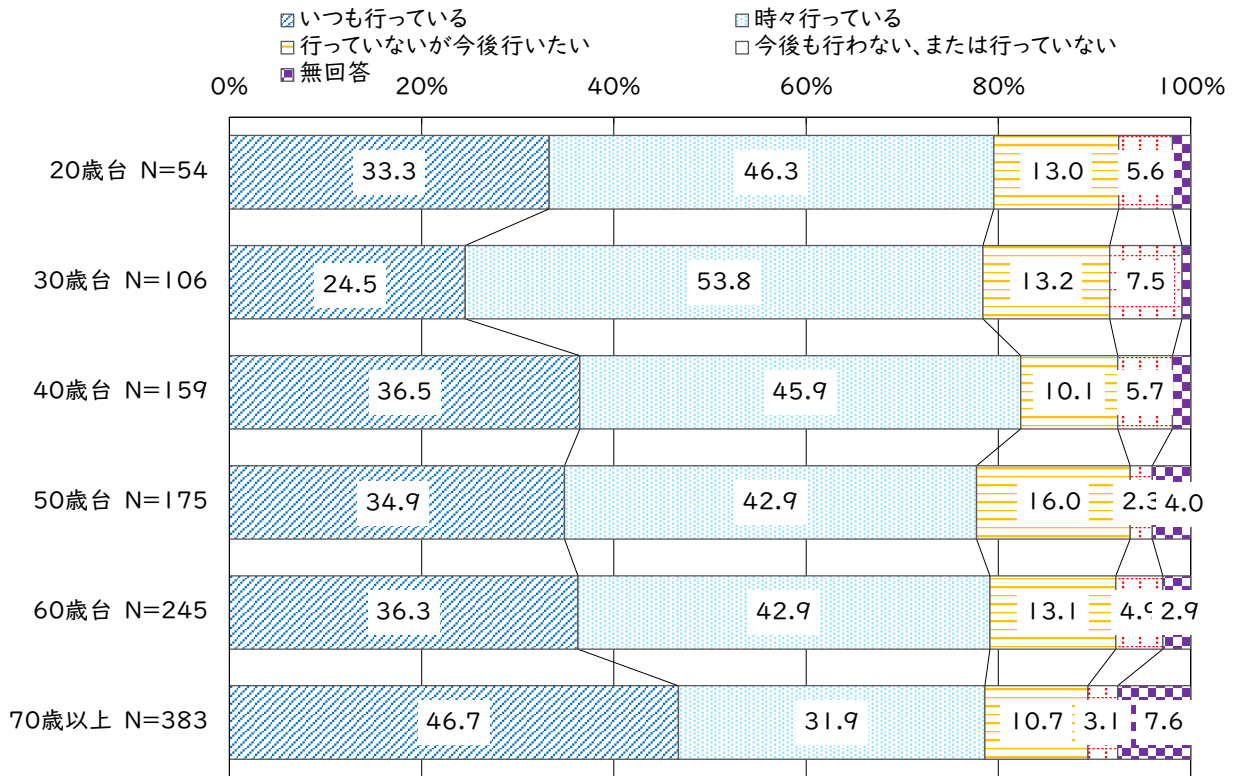
《環境家計簿をつけ、環境にやさしい日常生活になっているかチェックしている》



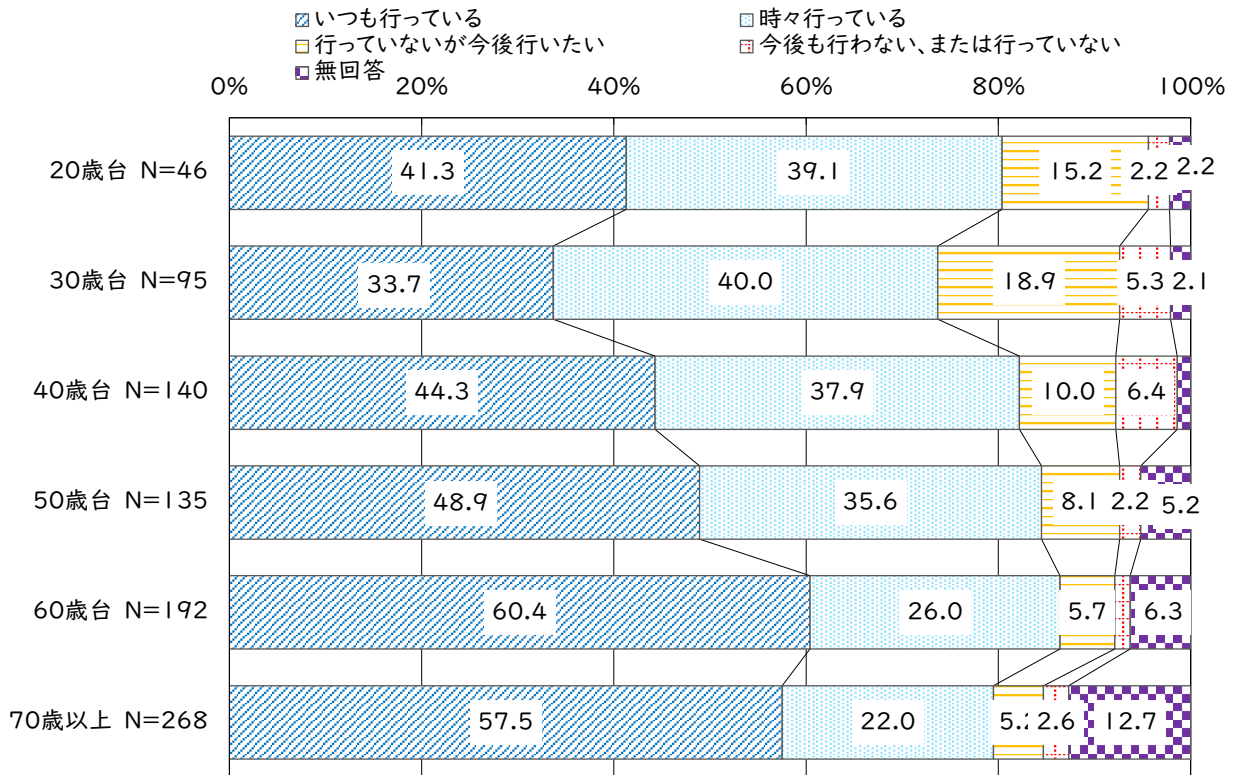
《冷房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている》



《テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている》

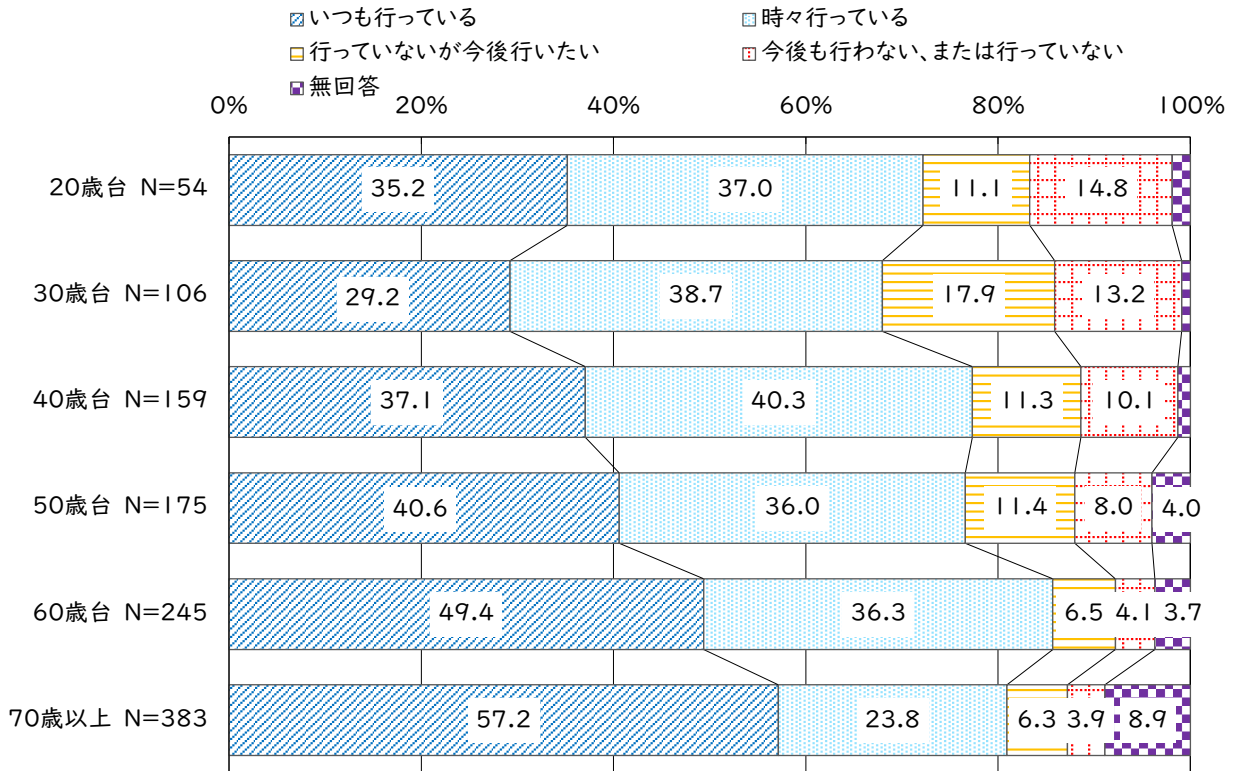


《シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている》

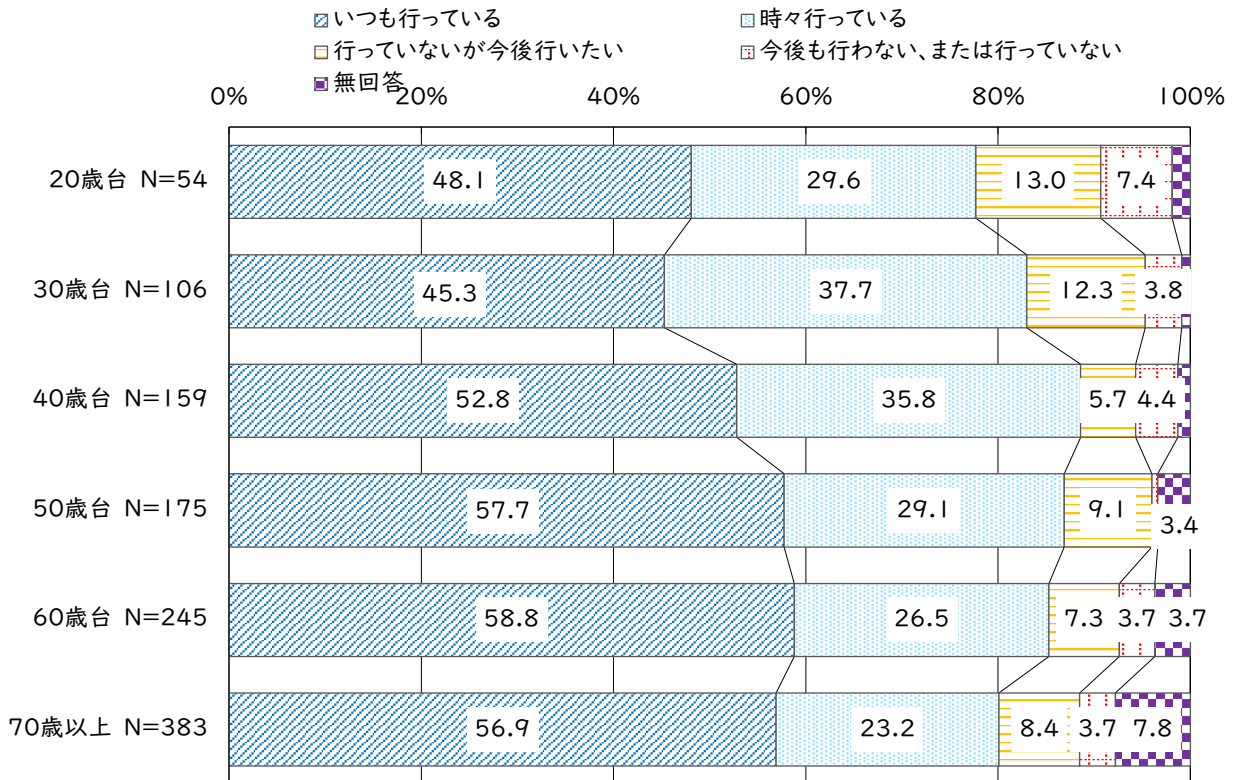


※「該当しない」を除外している

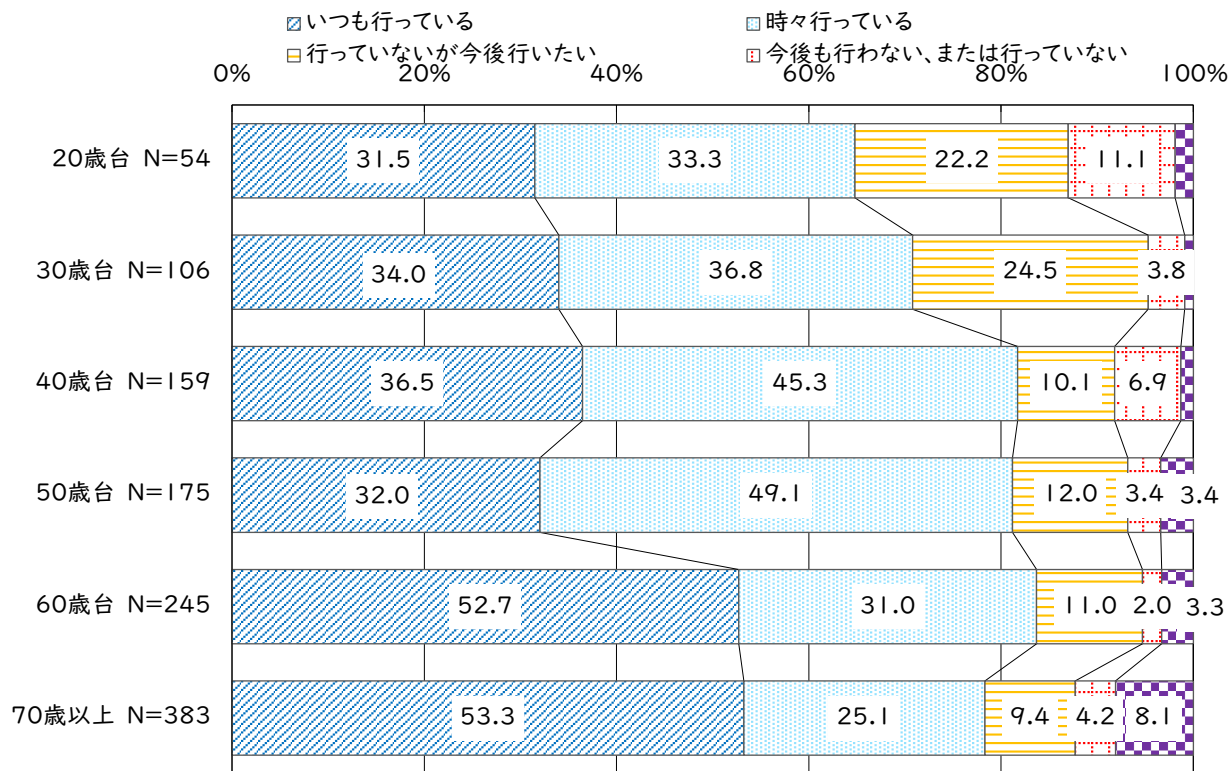
《血洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている》



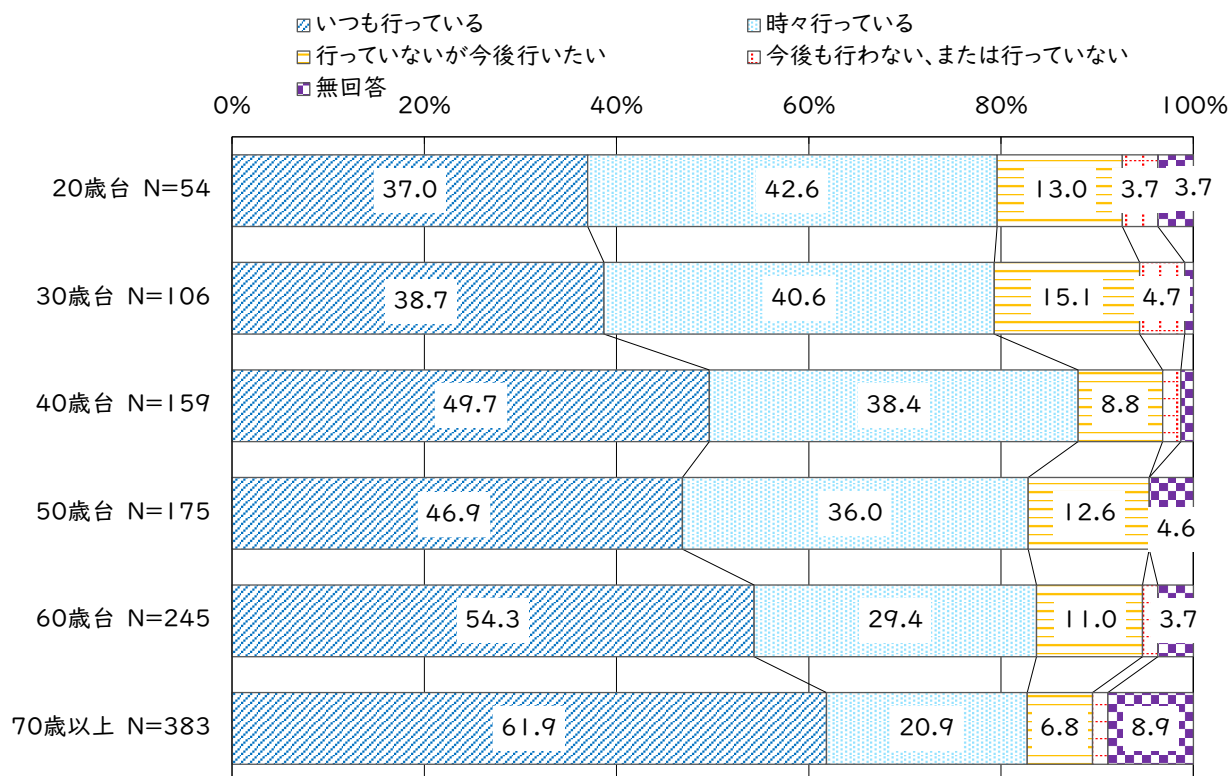
《歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている》



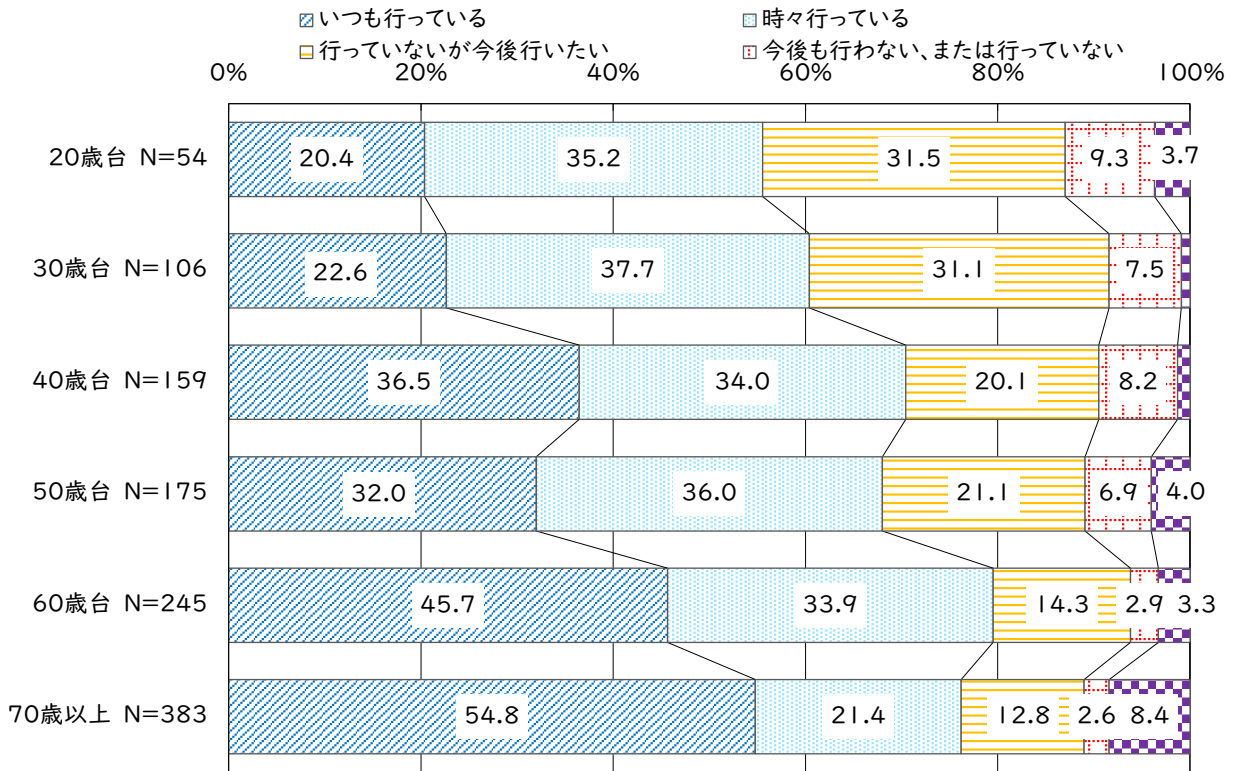
《買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている》



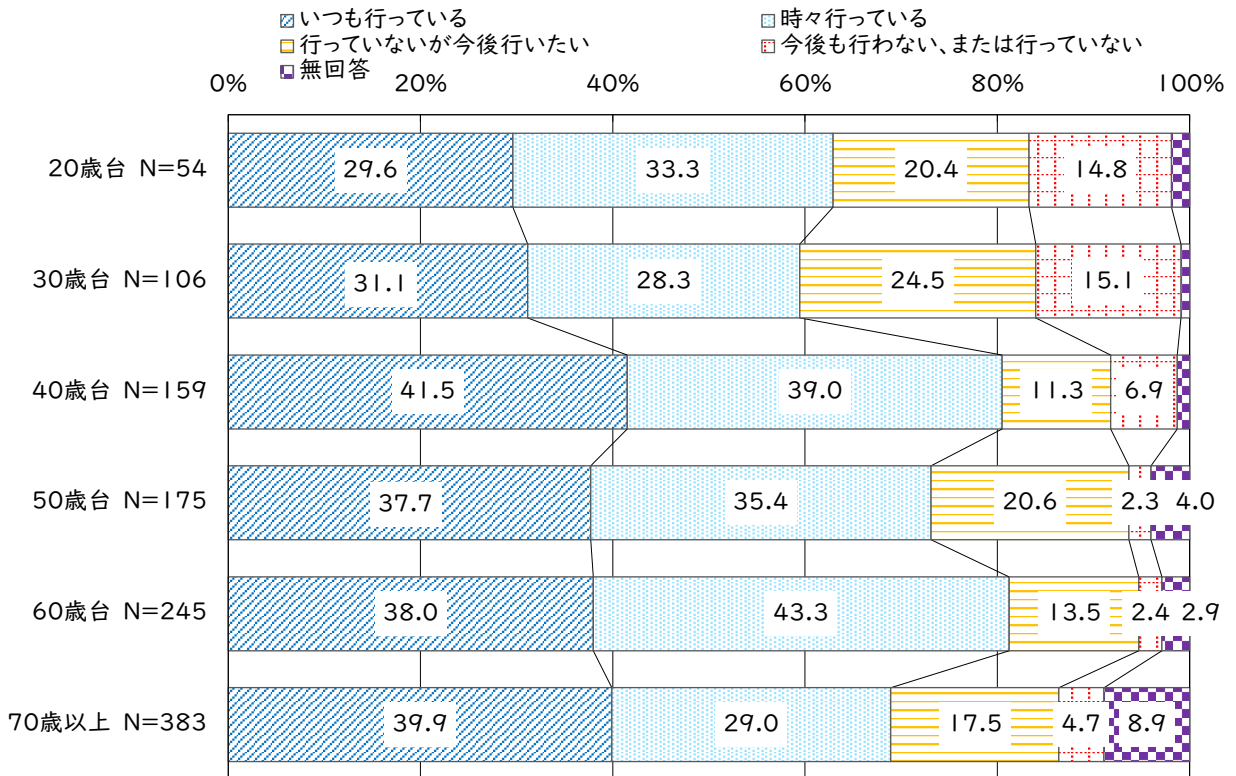
《食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている》



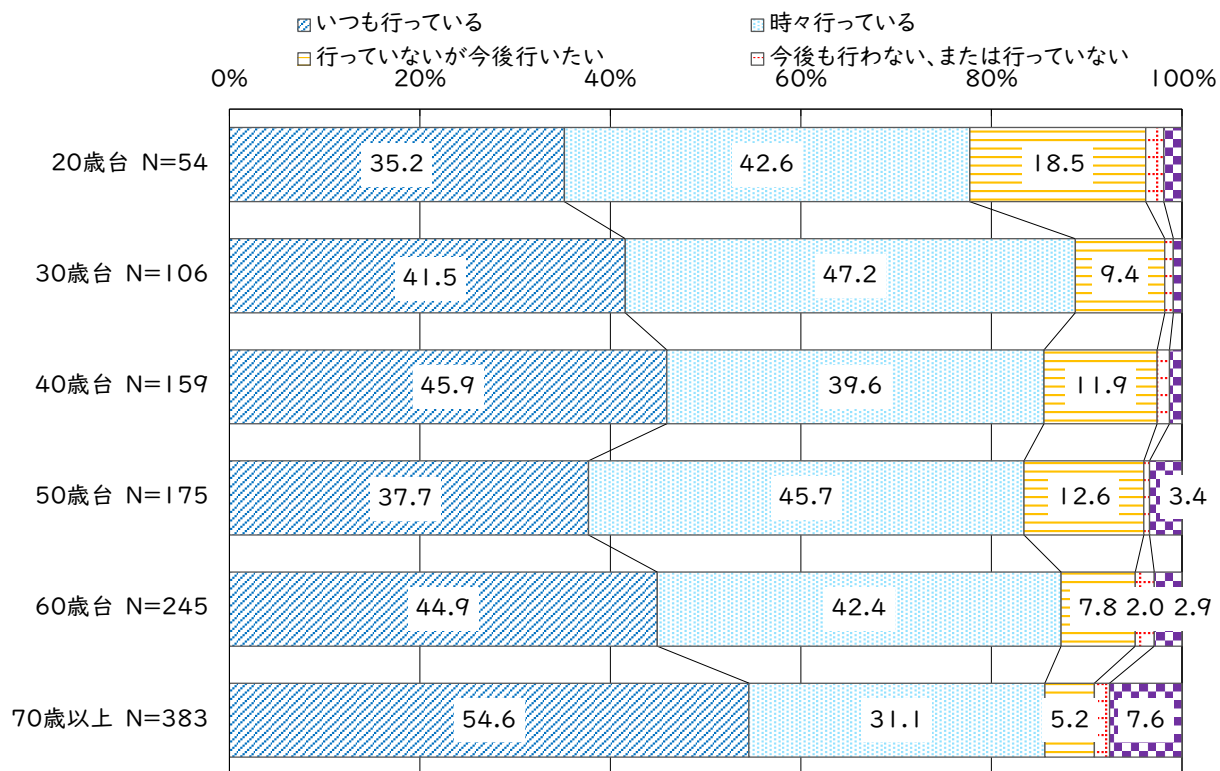
《生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる》



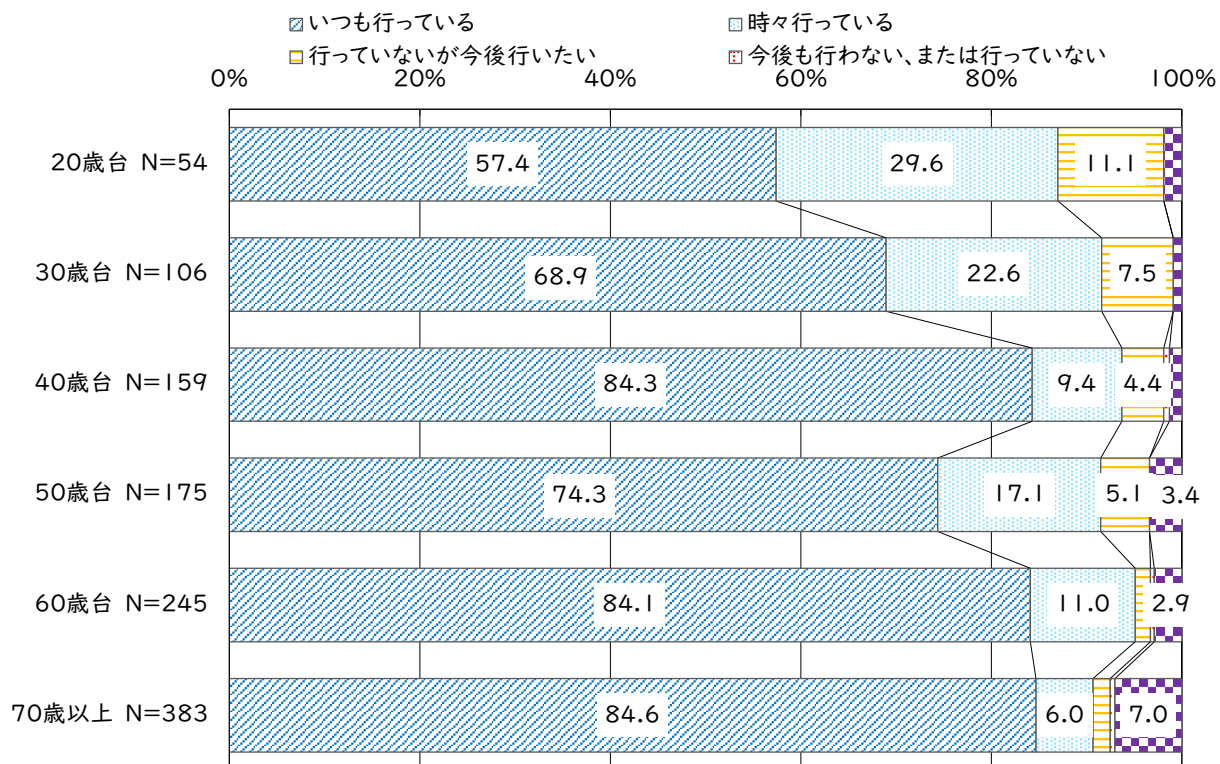
《詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している》



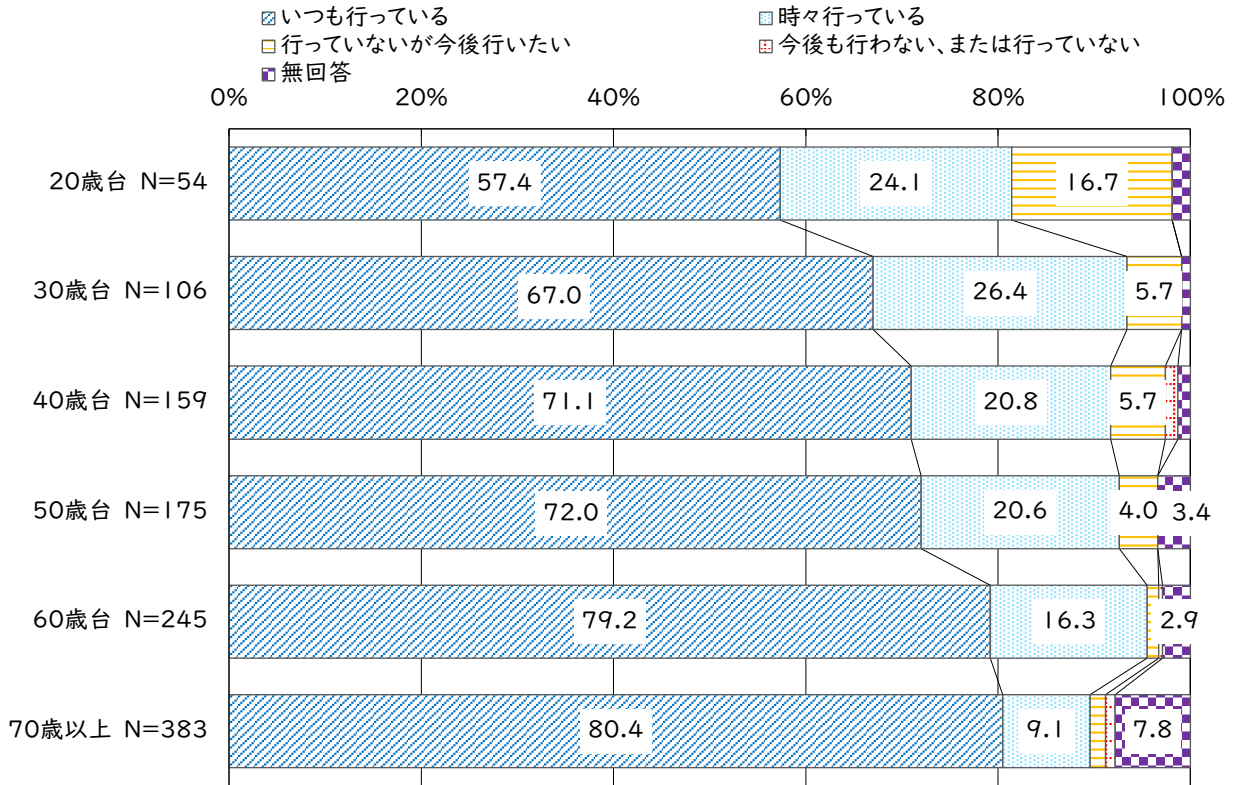
《物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている》



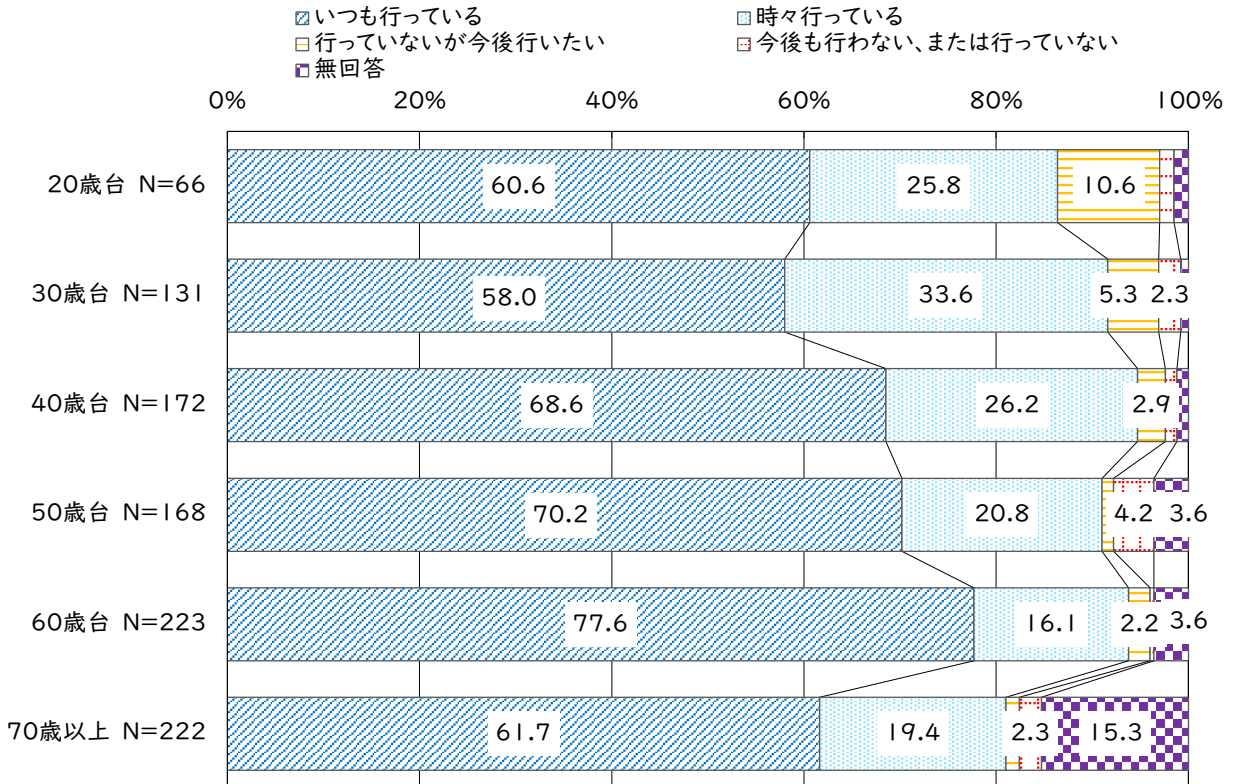
《ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている》



《油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている》

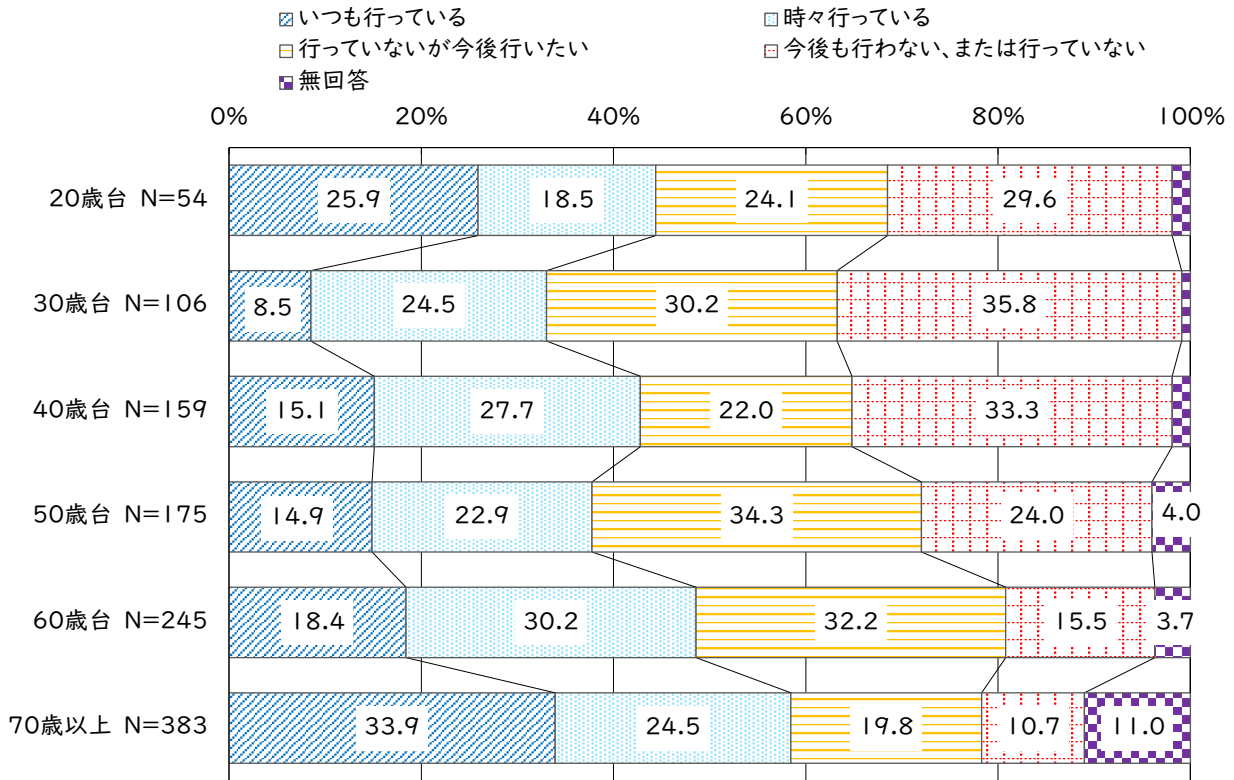


《車を使用するときは、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている》

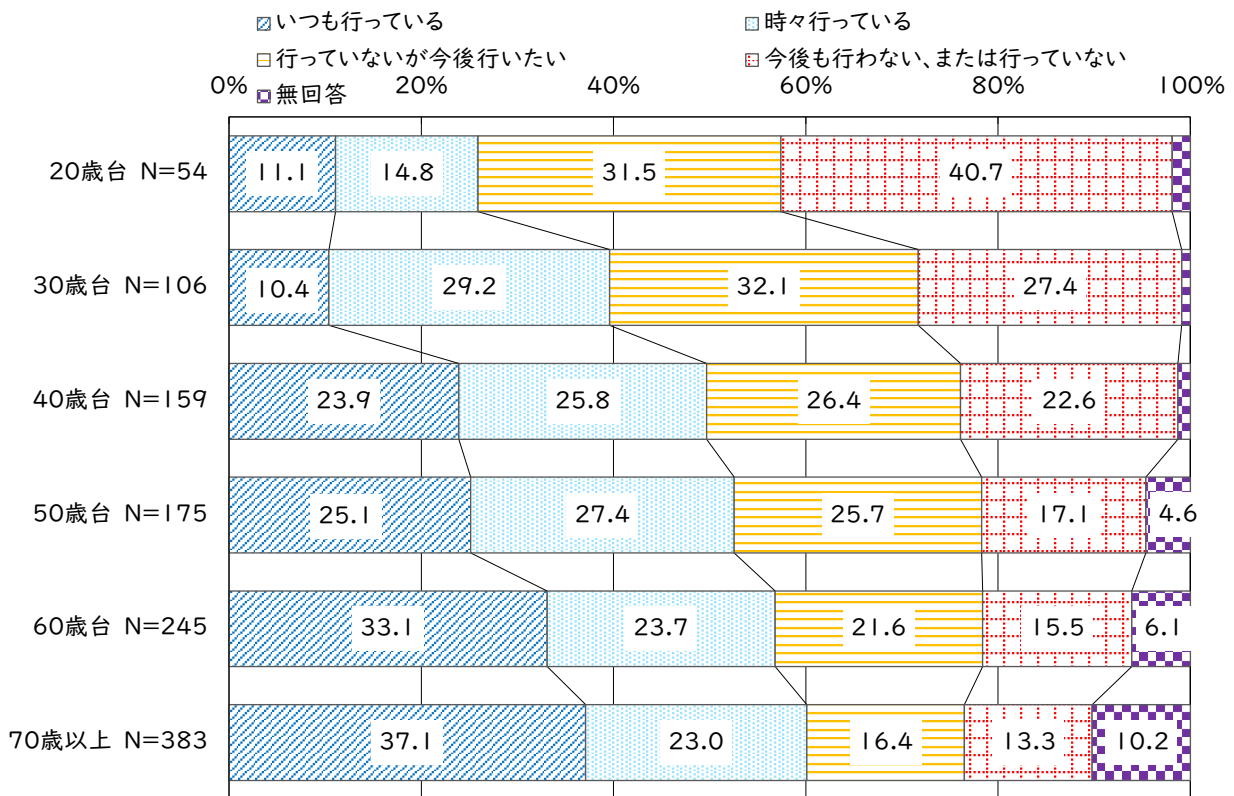


※「該当しない」を除外している

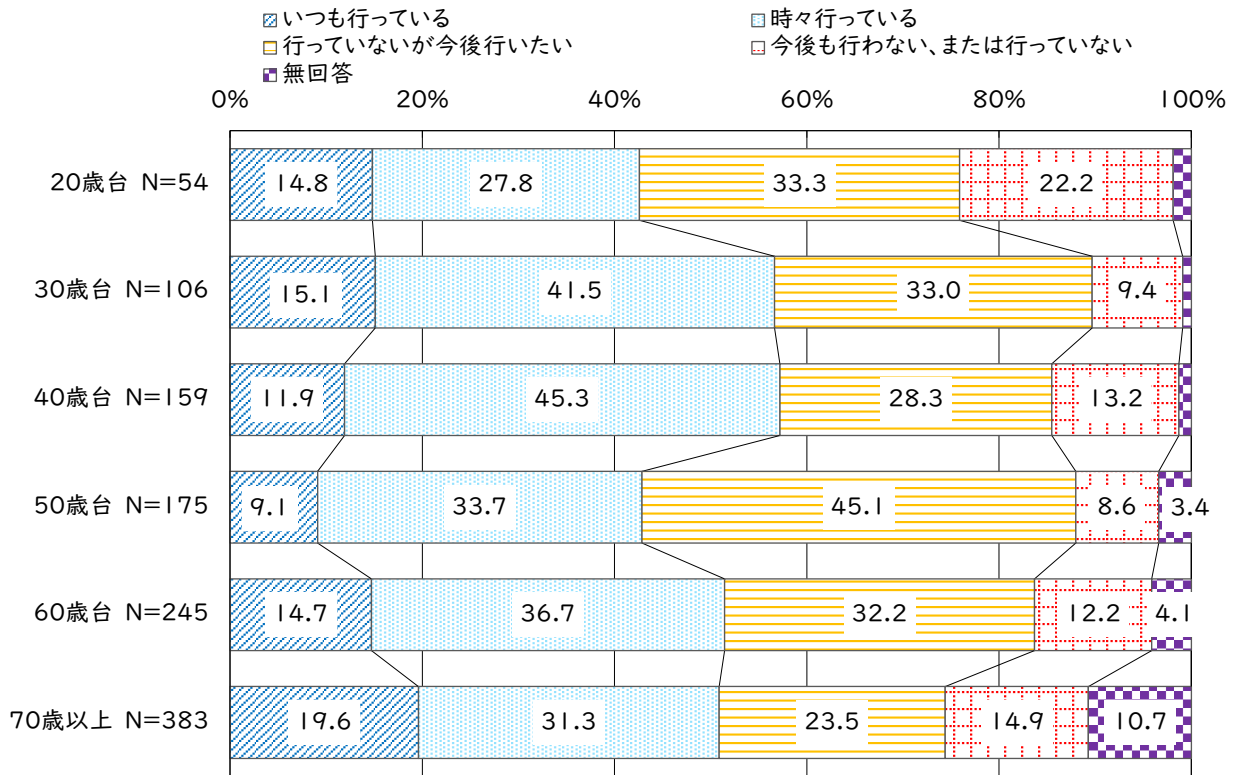
《なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている》



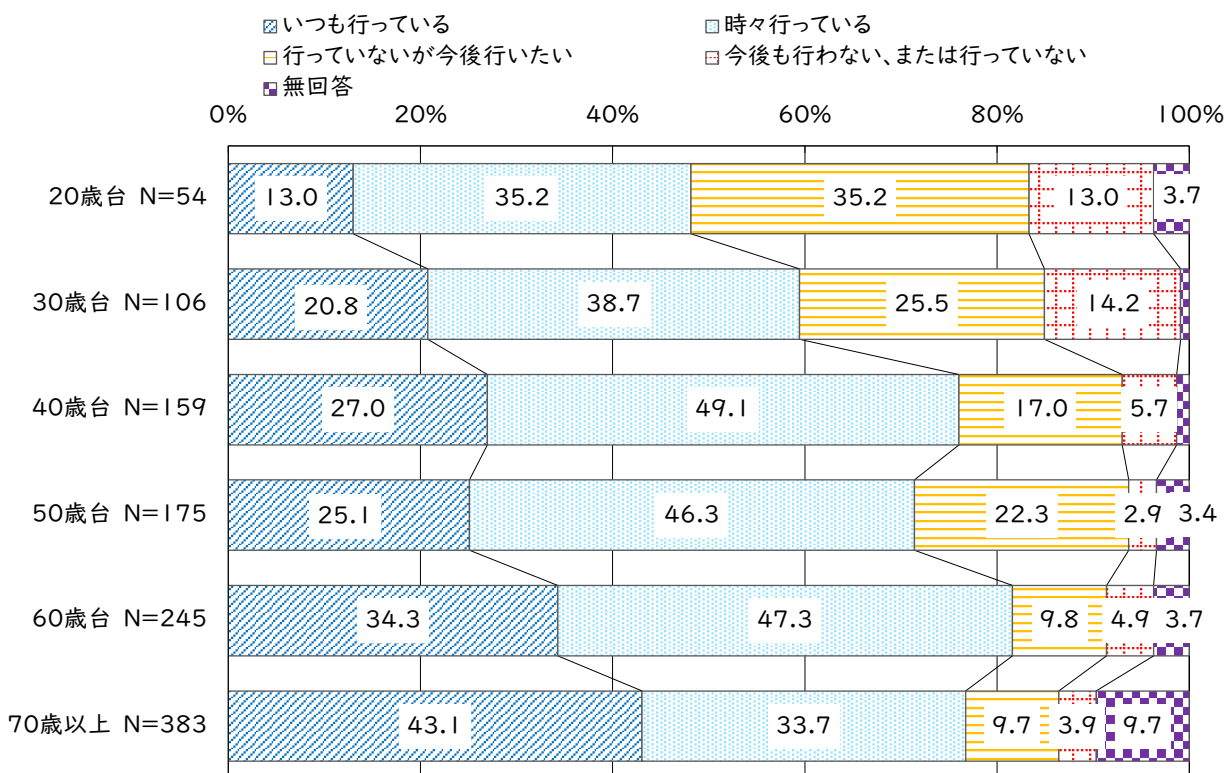
《地域における環境保全活動に参加している（地域の清掃、資源集団回収など）》



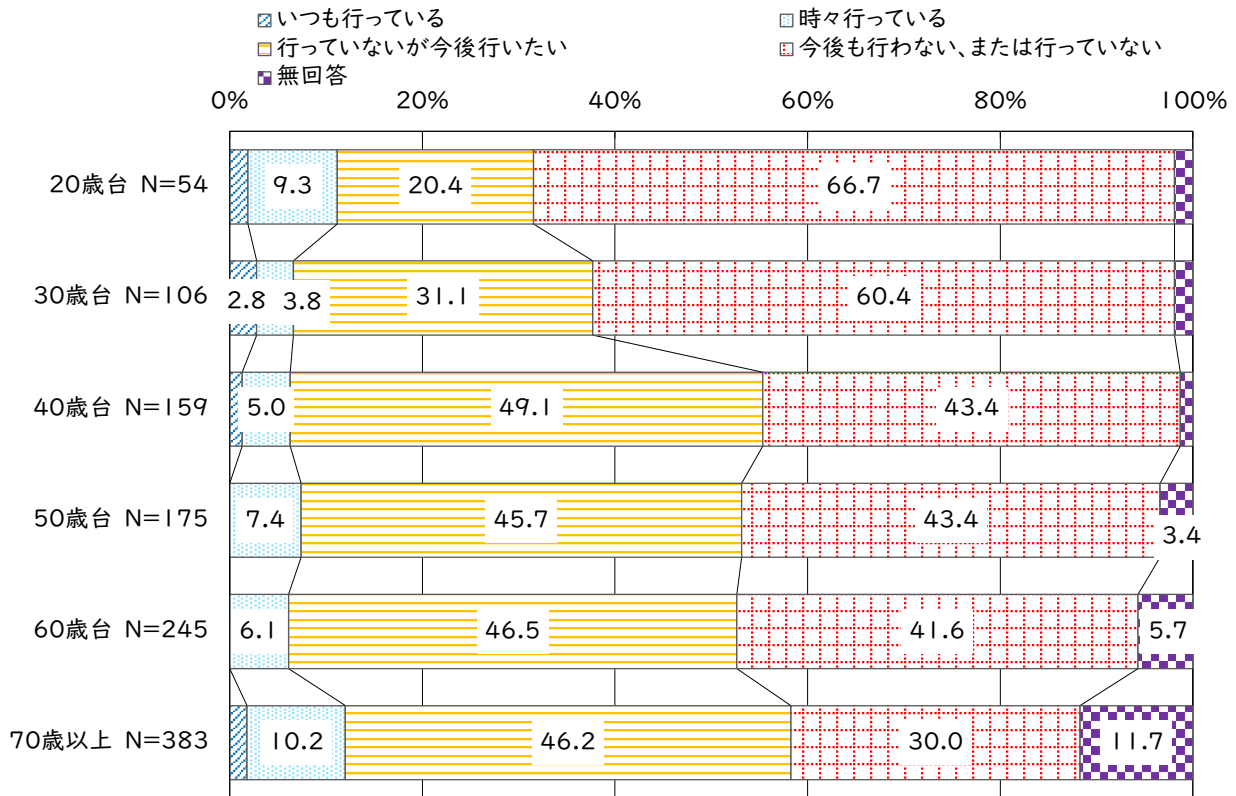
《山や海などの自然にふれあう機会を持っている》



《食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている》



《環境保全に関するイベントや講座などに参加している》



《問3 自由記入欄 ～その他の取り組み～》

■ 環境美化

- 私の住んでいる地区内の班では、ゴミステーションの内外の掃除（まわりの草取りも含む）を家の順に週1回行っていて皆さんが協力している。
- 住宅地の中で近くの道路、溝などの清掃をいつも箒で掃いております。近所の人々が喜んでくれます。
- 散歩時のゴミ拾い
- 生ゴミを指定場所へ持って行く途中に、道路に紙クズ、タバコの吸い殻等がおちていたら拾っている。（以外に無関心な人が多い。）

■ ごみの減量・資源化

- 何事も、貯め過ぎ、買いすぎ、食べ過ぎに留意している。ごみを出さない様に努めている。
- 生ゴミを肥料にして野菜を作っています。
- 野菜クズ等は、コンポストへ入れるようにしています。
- 衣類等も出来るだけ買わない様にして昔の物を組み合わせています。
- 食品トレーや牛乳パック、空缶などスーパーへ持って行き、リサイクルを行っています。
- 紙ゴミはリサイクルへ出す

■ 地球温暖化の対策

- 緑化（緑のカーテン）
- 車は乗らない、電動自転車を利用しています。
- ソーラーを屋根上に設置している。
- 冷暖房の温度調整はこまめにしている。電化製品の清掃はこまめにしている。
- おふろの残り湯を洗濯に使っています。食器はためすぎず。

■ その他

- 足が悪いので自分で出来る事をやっています。食材も少しづつ、配達してもらいます。
- 自然栽培に取り組み。ネーブル、温州みかん、ブロッコリー等、毎年、楽しみに収穫しています。
- 交通費が無料でハウステンボスへ散歩に行っております。本当に感謝です。これが一番嬉しいです。
- 他県出身の為、友達も少ない為、もう少し年寄りの集まる所の情報がほしいですネ!!

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。

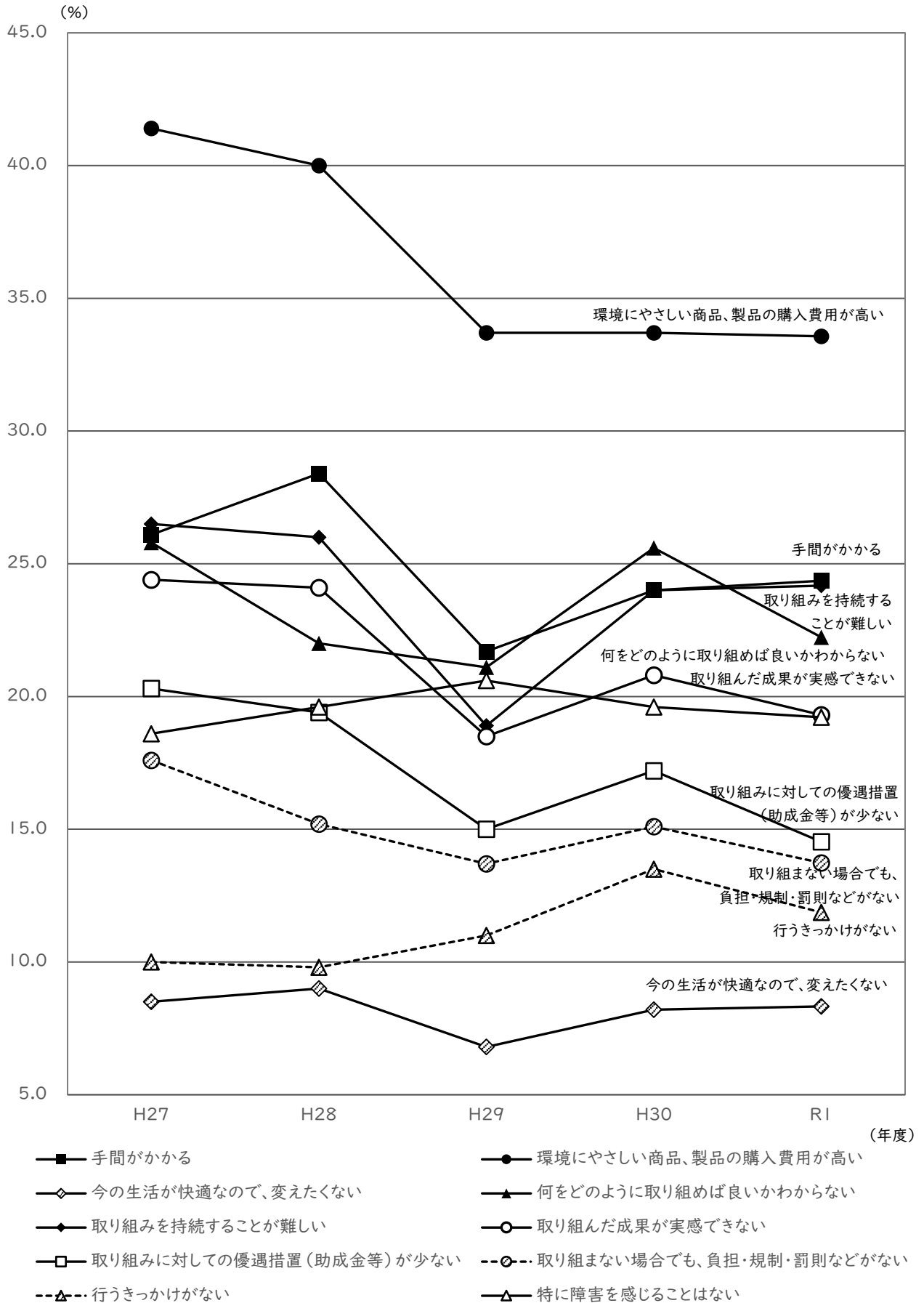
(障害と感じている割合が高い順)

項目	回答数	割合	前年度比	前年度
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	379	33.6%	△ 0.1	33.7%
手間がかかる	275	24.4%	0.4	24.0%
取り組みを持続することが難しい	273	24.2%	0.2	24.0%
何をどのように取り組めば良いのかわからない	251	22.2%	△ 3.4	25.6%
取り組んだ成果が実感できない	218	19.3%	△ 1.5	20.8%
特に障害を感じることはない	217	19.2%	△ 0.4	19.6%
取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	164	14.5%	△ 2.7	17.2%
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	155	13.7%	△ 1.4	15.1%
無回答	147	13.0%	2.5	10.5%
行うきっかけがない	134	11.9%	△ 1.6	13.5%
今の生活が快適なので、変えたくない	94	8.3%	0.1	8.2%
その他	43	3.8%	0.7	3.1%
合計	2,350			

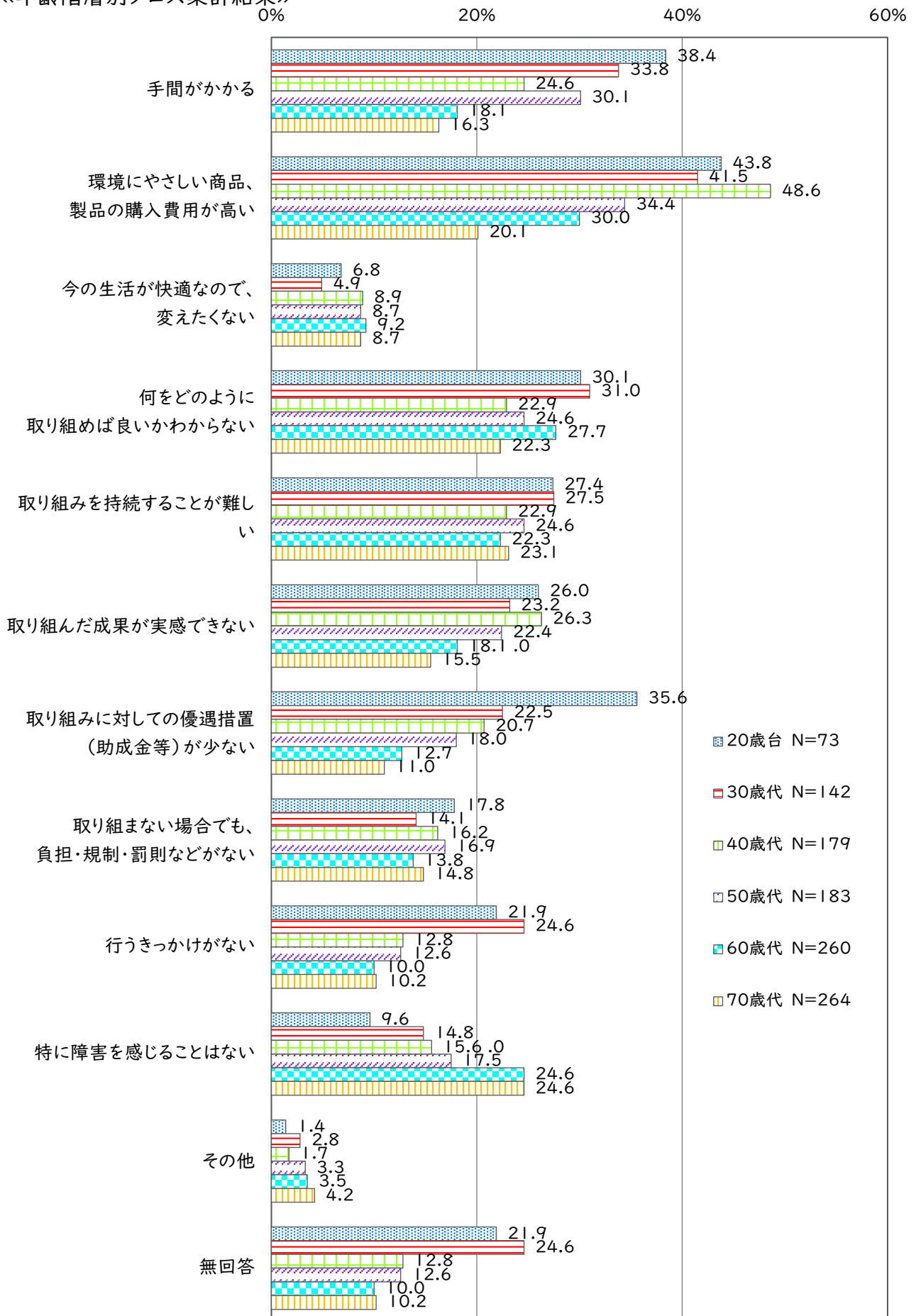
※ 有効回答数(N):1,129名

- 障害と感じている人が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

《調査結果の経年比較》



《年齢階層別クロス集計結果》



《問4 自由記入欄 ～その他で障害と感じていること～》

※主な意見を抜粋

- 環境保全に感心がある人やゴミの分別に参加する人は守っているが、その他の人のマナーが悪いのをどう伝えるかが難しい。
- 環境保全の意識の啓発が必要。
- 私一人が、取り組んでもみんながワンチームでないと何も変わらない。
- 環境保全には、大多数の理解と協力がもっと必要。
- 個人個人の意識が欠けている
- 環境保全の事例集等を配布したらと思う。

- 高齢になると、やりたくてもやれないことがほとんどなので考えが曖昧になってしまいました。
- 高齢なので、これから先持続できるか心配。

- 自分流、めいわくをかけない。
- 自己満足かも知れないがゲーム感覚ですれば苦にならないです。
- タイミング良く情報を得た時は積極的に参加するよう心掛けている。

- 個人の取り組みだけでなく、企業側もゴミの回収等の責任を負ってほしい。

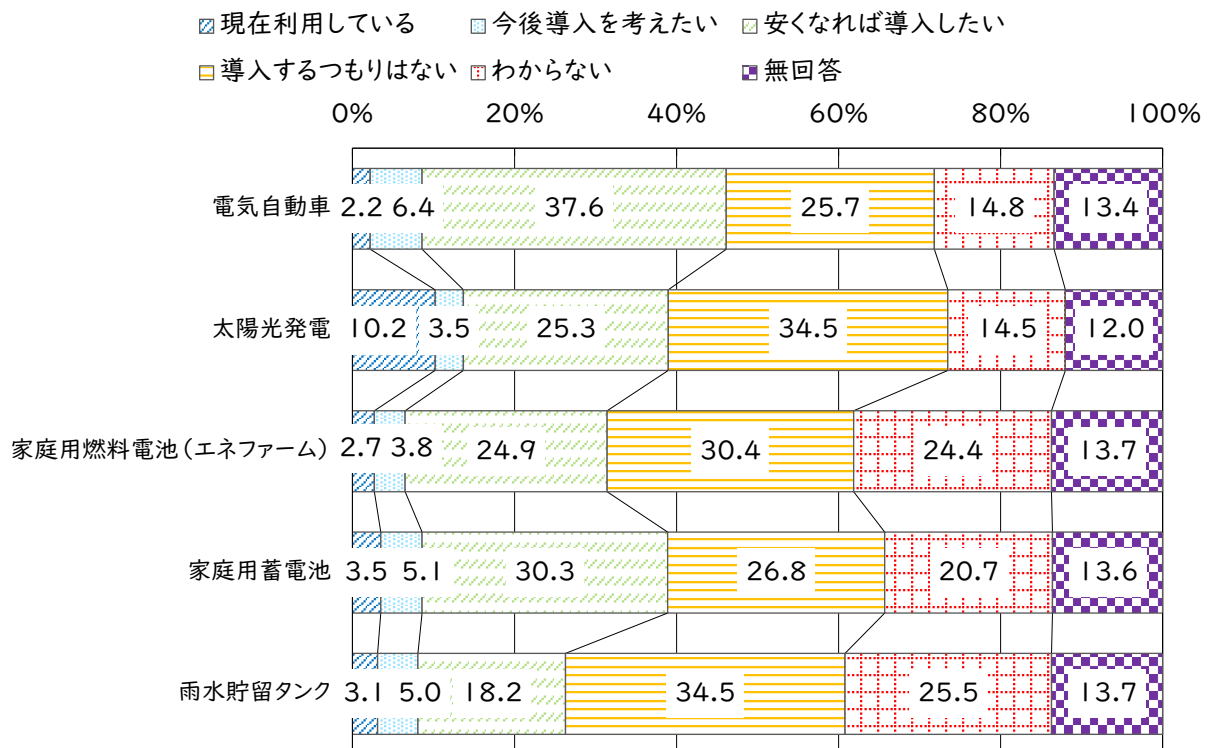
- ゴミ袋、有料が不便
- 指定ゴミ袋が不要な学生アパートは分別がされていない。ごみの量も多い。

- 現役で仕事をしているため時間的余裕がない
- 公共交通機関は便が少なく料金も高いので利用したくても出来ない。
- 自家用車でなく公共交通機関を利用したいが、そもそもない!!
- パソコンが使えないのでホームページ案内は、意味がない。スマホも持たない。

問5 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

質問事項 ()内の数値は、「現在利用している」「今後導入を考えたい」「安くなれば導入したい」と回答した割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
電気自動車 (46.1%)	25 2.2%	72 6.4%	424 37.6%	290 25.7%	167 14.8%	151 13.4%	1,129 100%
太陽光発電 (39.0%)	115 10.2%	39 3.5%	286 25.3%	389 34.5%	164 14.5%	136 12.0%	1,129 100%
家庭用燃料電池(エネファーム) (31.4%)	31 2.7%	43 3.8%	281 24.9%	343 30.4%	276 24.4%	155 13.7%	1,129 100%
家庭用蓄電池 (38.9%)	39 3.5%	58 5.1%	342 30.3%	303 26.8%	234 20.7%	153 13.6%	1,129 100%
雨水貯留タンク (26.3%)	35 3.1%	56 5.0%	206 18.2%	389 34.5%	288 25.5%	155 13.7%	1,129 100%

※有効回答者数(N):1,129人



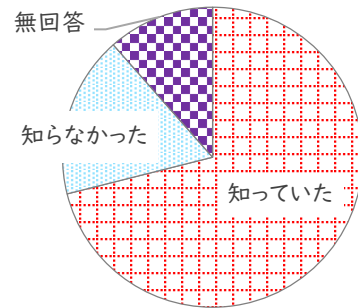
《食品ロスについて》

日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トンで、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約643万トン(2016年度)と言われています。日本人1人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分(約140g)の食べ物”が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在37%(2016年度)で、大半を輸入に頼っていますが、一方で食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。

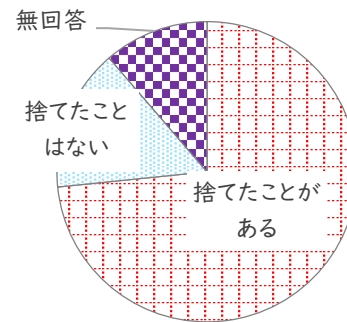
問6 上記のような日本の「食品ロス」の状況について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	802	71.0%
知らなかった	197	17.4%
無回答	130	11.5%
合計	1,129	



問7 これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

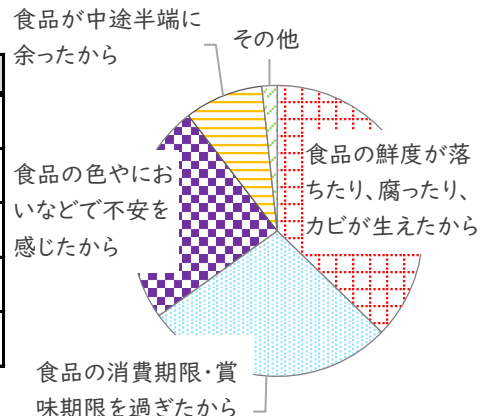
項目	回答数	割合
捨てたことがある	828	73.3%
捨てたことはない	173	15.3%
無回答	128	11.3%
合計	1,129	



問8 問7で「捨てたことがある」と答えた方のみお答えください。食品を捨てた理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

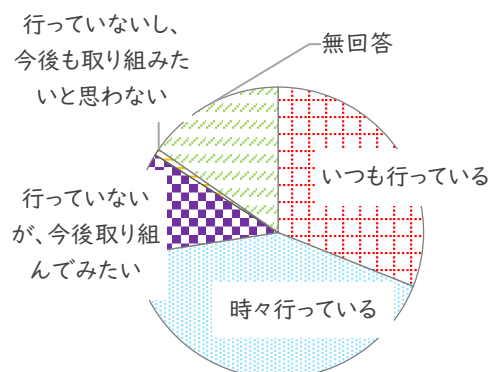
項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	638	77.1%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	477	57.6%
食品の色やにおいなどで不安を感じたから	419	50.6%
食品が中途半端に余ったから	150	18.1%
その他	29	3.5%
合計	1,713	

有効回答数(N)=828



問9 食品ロスをなくす取り組みをしていますか。

項目	回答数	割合
いつも行っている	350	31.0%
時々行っている	469	41.5%
行っていないが、今後取り組んでみたい	129	11.4%
行っていないし、今後取り組むまいと思わない	8	0.7%
無回答	173	15.3%
合計	1,129	



《問8 自由記入欄 ～その他、食品を捨てた理由～》

※主な意見を抜粋

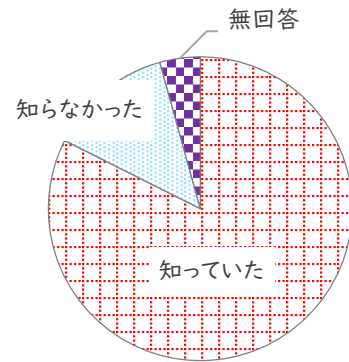
- 年間通して、1回～2回位捨てた。
- 冷蔵庫の奥にありわすれていたから
- 余分に買いすぎてしまう。
- 食品を買いすぎてしまった。料理をするのが、面倒になった。
- 子どもの食べ残し
- 老人ホームに入所中なので出されたものが口に合わないのは食べない
- 近くに店がなく、買い置きしていたら食べれなくなっていた。
- 購入したものにアレルギーがあった。

《古紙類の資源化について》

全国的には、燃やせるごみのうち約3割が資源化できる古紙類であると言われています。

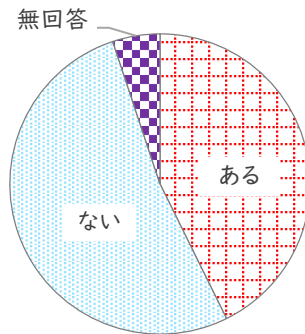
問10 新聞紙、雑誌、飲料用紙パック、段ボールなどは資源物(古紙類)になりますが、臭いや汚れのついた紙、また加工された紙は「燃やせるごみ」になることをご存じでしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	931	82.5%
知らなかった	150	13.3%
無回答	48	4.3%
合計	1,129	



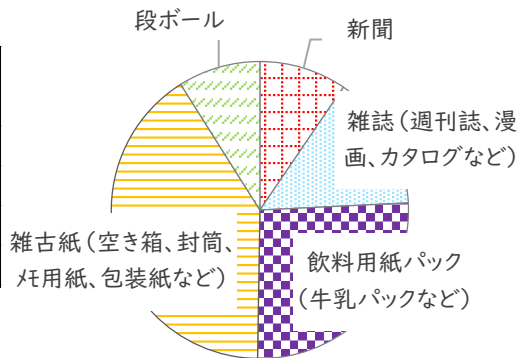
問11 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがありますか？

項目	回答数	割合
ある	482	42.7%
ない	589	52.2%
無回答	58	5.1%
合計	1,129	



問12 問11で「ある」と答えた方のみお答えください。
どのような古紙を燃やせるごみに出しましたか？

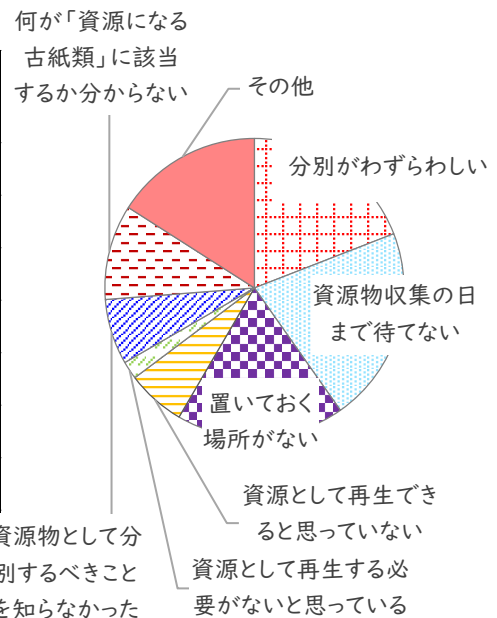
項目	回答数	割合
新聞	90	18.7%
雑誌(週刊誌、漫画、カタログなど)	140	29.0%
飲料用紙パック(牛乳パックなど)	247	51.2%
雑古紙(空き箱、封筒、F用紙、包装紙など)	387	80.3%
段ボール	85	17.6%
合計	949	



有効回答数(N)=482

問13 古紙を燃やせるごみに出した理由は何ですか？

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	138	28.6%
資源物収集の日まで待てない	153	31.7%
置いておく場所がない	131	27.2%
資源として再生できると思っていない	46	9.5%
資源として再生する必要がないと思っている	14	2.9%
資源物として分別すべきことを知らなかった	51	10.6%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	74	15.4%
その他	115	23.9%
合計	722	



有効回答数(N)=482

見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

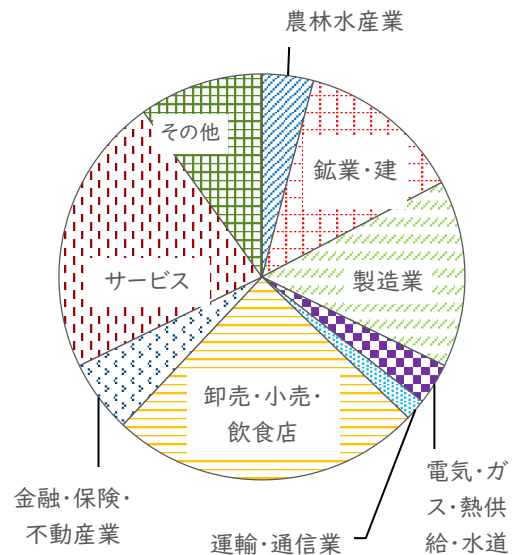
第3章 調査結果（事業所）

■ 回答者の属性

貴事業所についてお聞きします。該当するものを選んでください。

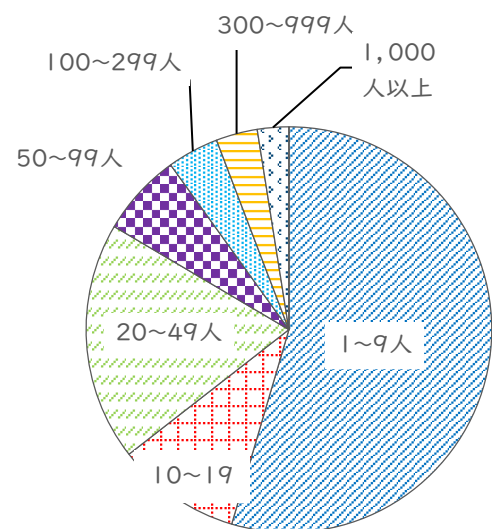
① 業種

業種	回答数	割合
農林水産業	5	4.1%
鉱業・建設業	16	13.2%
製造業	18	14.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	4	3.3%
運輸・通信業	2	1.7%
卸売・小売・飲食店	30	24.8%
金融・保険・不動産業	7	5.8%
サービス業	27	22.3%
その他	12	9.9%
無回答	0	0.0%
合 計	121	100.0%



② 従業員数

人数	回答数	割合
1~9人	66	54.5%
10~19人	12	9.9%
20~49人	23	19.0%
50~99人	8	6.6%
100~299人	5	4.1%
300~999人	4	3.3%
1,000人以上	3	2.5%
無回答	0	0.0%
合 計	121	100.0%



■ 環境に対する考え方について

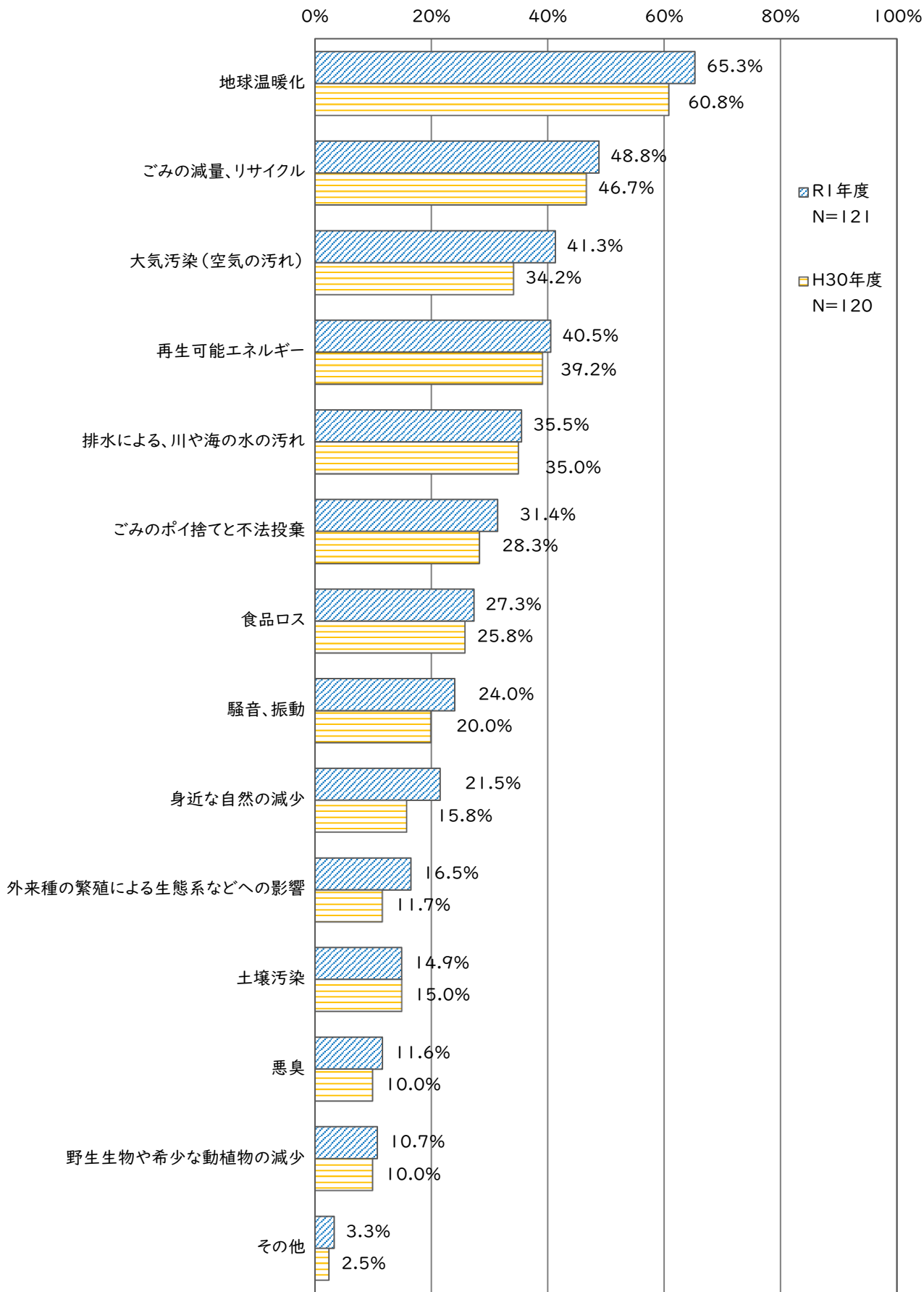
問1 貴事業所が関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。
(関心が高い順)

項目	回答数	割合	前年度比	前年度
地球温暖化	79	65.3%	4.5%	60.8%
ごみの減量、リサイクル	59	48.8%	2.1%	46.7%
大気汚染(空気の汚れ)	50	41.3%	7.1%	34.2%
再生可能エネルギー	49	40.5%	1.3%	39.2%
排水による、川や海の水の汚れ	43	35.5%	0.5%	35.0%
ごみのポイ捨てと不法投棄	38	31.4%	3.1%	28.3%
食品ロス	33	27.3%	1.5%	25.8%
騒音、振動	29	24.0%	4.0%	20.0%
身近な自然の減少	26	21.5%	5.7%	15.8%
外来種の繁殖による生態系などへの影響	20	16.5%	4.8%	11.7%
土壌汚染	18	14.9%	△ 0.1%	15.0%
悪臭	14	11.6%	1.6%	10.0%
野生生物や希少な動植物の減少	13	10.7%	0.7%	10.0%
その他	4	3.3%	0.8%	2.5%
無回答	4	3.3%	0.8%	2.5%
合計	479			

※ 有効回答者数(N):121事業所

- 最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であり、前年度からの割合も上昇している。

《前年度調査結果との比較》



問2 貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法を導入していますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

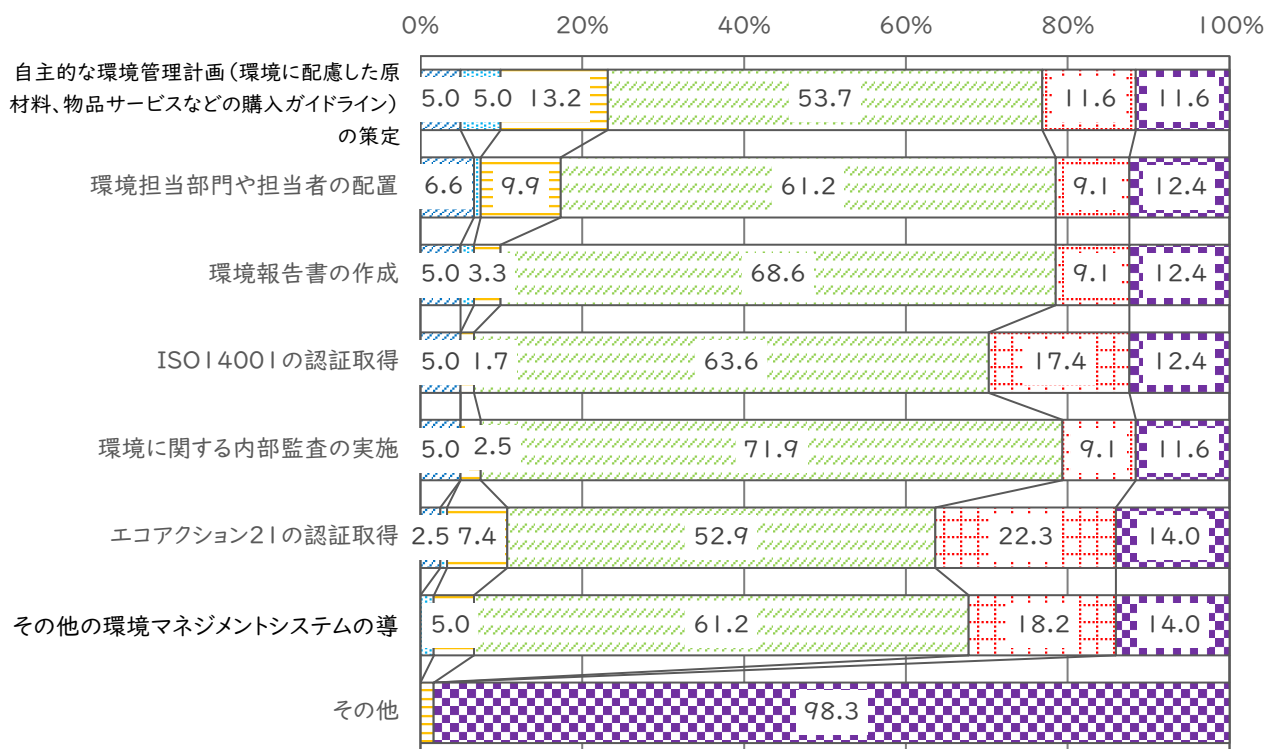
(「すでに実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合の合計、[]は前年の割合	すでに実施している	今後実施したい	現在検討中である	実施の予定はない	どのようなものか知らない	無回答	合計
自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (9.9%[10.9%])	6 5.0%	6 5.0%	16 13.2%	65 53.7%	14 11.6%	14 11.6%	121 100%
環境担当部門や担当者の配置 (7.4%[7.5%])	8 6.6%	1 0.8%	12 9.9%	74 61.2%	11 9.1%	15 12.4%	121 100%
環境報告書の作成 (6.6%[5.0%])	6 5.0%	2 1.7%	4 3.3%	83 68.6%	11 9.1%	15 12.4%	121 100%
ISO14001の認証取得 (5.0%[7.5%])	6 5.0%	0 -	2 1.7%	77 63.6%	21 17.4%	15 12.4%	121 100%
環境に関する内部監査の実施 (5.0%[6.6%])	6 5.0%	0 -	3 2.5%	87 71.9%	11 9.1%	14 11.6%	121 100%
エコアクション21の認証取得 (3.3%[2.5%])	3 2.5%	1 0.8%	9 7.4%	64 52.9%	27 22.3%	17 14.0%	121 100%
その他の環境マネジメントシステムの導入 (1.7%[5.8%])	0 -	2 1.7%	6 5.0%	74 61.2%	22 18.2%	17 14.0%	121 100%
その他 (-%[-%])	0 -	0 -	2 1.7%	0 -	0 -	119 98.3%	121 100%

※有効回答数(N):121事業所

《導入状況の割合》

■すでに実施している ■今後実施したい ■現在検討中である □実施の予定はない ■どのようなものか知らない ■無回答



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

問3 貴事業所が日頃行っている環境保全の取組についてお聞きします。以下の1~20のそれぞれの取組について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

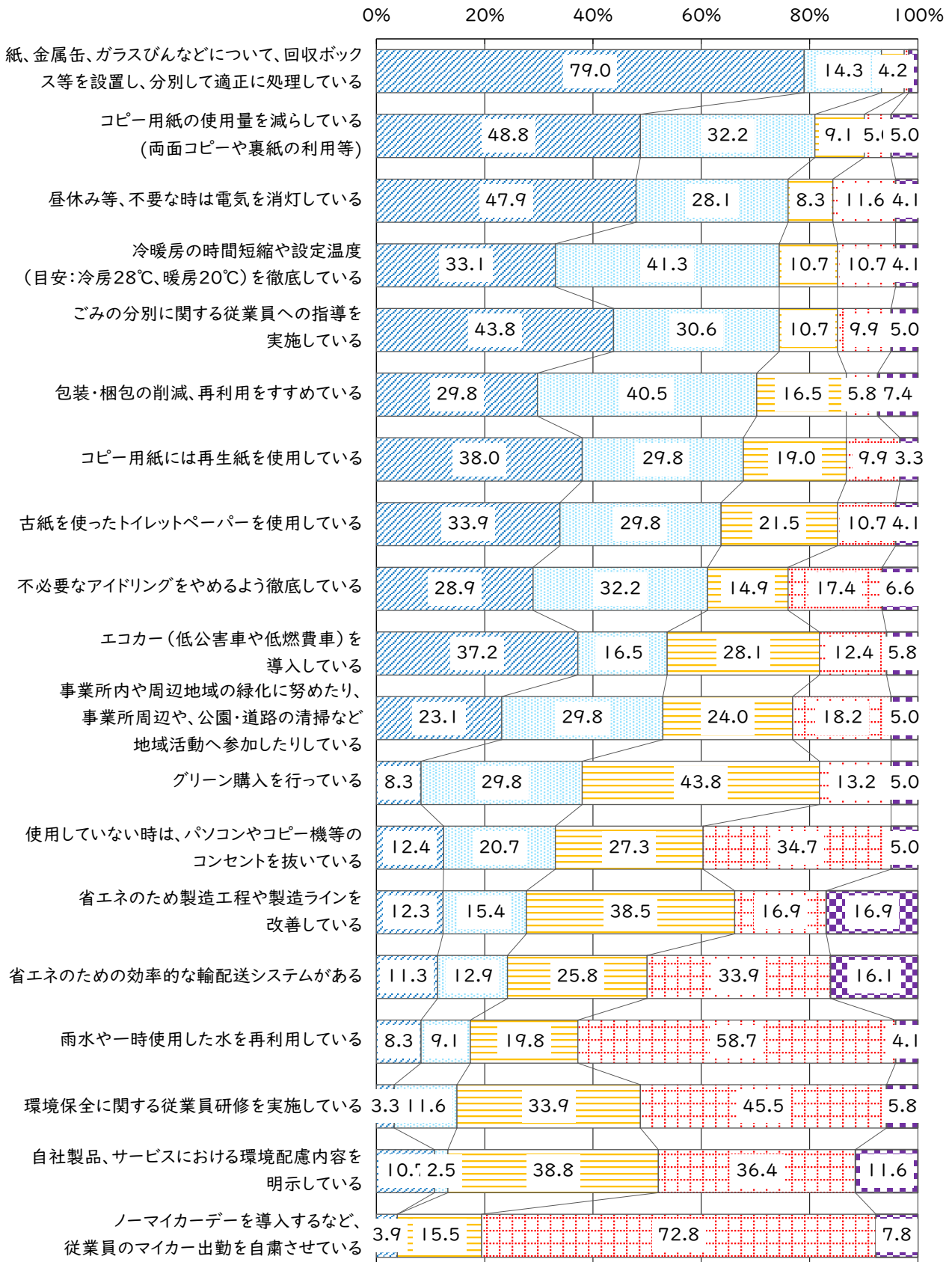
(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した事業所の割合の 合計、[]内は前年度の割合※	いつも 行っ て い る	時々 行っ て い る	行っ て い な い が 今 後 行 た い	今後 も 行 わ な い 、 又 は 行 っ て い な い	該 当 し な い	無 回 答	合 計
紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している (93.3%[88.7%])	94 79.0%	17 14.3%	5 4.2%	1 0.8%	2 -	2 1.7%	119 100%
コピー用紙の使用量を減らしている (両面コピーや裏紙の利用等) (81.0%[79.2%])	59 48.8%	39 32.2%	11 9.1%	6 5.0%	-	6 5.0%	121 100%
昼休み等、不要な時は電気を消灯している (76.0%[74.2%])	58 47.9%	34 28.1%	10 8.3%	14 11.6%	-	5 4.1%	121 100%
冷暖房の時間短縮や設定温度(目安:冷房28℃、 暖房20℃)を徹底している (74.4%[70.9%])	40 33.1%	50 41.3%	13 10.7%	13 10.7%	-	5 4.1%	121 100%
ごみの分別に関する従業員への指導を実施して いる (74.4%[-])	53 43.8%	37 30.6%	13 10.7%	12 9.9%	-	6 5.0%	121 100%
包装・梱包の削減、再利用をすすめている (70.2%[54.2%])	36 29.8%	49 40.5%	20 16.5%	7 5.8%	-	9 7.4%	121 100%
コピー用紙には再生紙を使用している (67.8%[70.8%])	46 38.0%	36 29.8%	23 19.0%	12 9.9%	-	4 3.3%	121 100%
古紙を使ったトイレトペーパーを使用している (63.6%[66.7%])	41 33.9%	36 29.8%	26 21.5%	13 10.7%	-	5 4.1%	121 100%
不必要なアイドルングをやめるよう徹底している (61.2%[57.5%])	35 28.9%	39 32.2%	18 14.9%	21 17.4%	-	8 6.6%	121 100%
エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している (53.7%[42.5%])	45 37.2%	20 16.5%	34 28.1%	15 12.4%	-	7 5.8%	121 100%
事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路 の清掃など地域活動へ参加したりしている (52.9%[47.9%])	28 23.1%	36 29.8%	29 24.0%	22 18.2%	-	6 5.0%	121 100%
グリーン購入を行っている (38.0%[38.3%])	10 8.3%	36 29.8%	53 43.8%	16 13.2%	-	6 5.0%	121 100%
使用していない時は、パソコンやコピー機等のコン セントを抜いている (33.1%[35.8%])	15 12.4%	25 20.7%	33 27.3%	42 34.7%	-	6 5.0%	121 100%
省エネのため製造工程や製造ラインを改善して いる (27.7%[42.7%])	8 12.3%	10 15.4%	25 38.5%	11 16.9%	56	11 16.9%	65 100%
省エネのための効率的な輸配送システムがある (24.2%[21.6%])	7 11.3%	8 12.9%	16 25.8%	21 33.9%	59	10 16.1%	62 100%
雨水や一時使用した水を再利用している (17.4%[17.5%])	10 8.3%	11 9.1%	24 19.8%	71 58.7%	-	5 4.1%	121 100%
環境保全に関する従業員研修を実施している (14.9%[15.8%])	4 3.3%	14 11.6%	41 33.9%	55 45.5%	-	7 5.8%	121 100%
自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示 している (13.2%[14.1%])	13 10.7%	3 2.5%	47 38.8%	44 36.4%	-	14 11.6%	121 100%
ノーマイカーデーを導入するなど、従業員のマイ カー出勤を自粛させている (3.9%[14.4%])	4 3.9%	0 0.0%	16 15.5%	75 72.8%	18	8 7.8%	103 100%

※「該当しない」を除いた割合で計算。

- 「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した事業所が最も多かった項目は、前年度と同様に「紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している」であった。

いつも行っている
 時々行っている
 行っていないが今後行いたい
 今後も行わない、または行っていない
 無回答



問4 問3にあるような環境保全の取組みを実施するために、貴事業所が障害に感じていることはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(障害と感じている割合が高い順)

項目	回答数	割合	前年比	前年
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	51	42.1%	10.5	31.7%
何をどのように取り組めば良いのかわからない	37	30.6%	△ 2.8	33.3%
手間がかかる	34	28.1%	0.6	27.5%
特に障害を感じることはない	25	20.7%	△ 4.3	25.0%
取組みを持続することが難しい	21	17.4%	△ 4.3	21.7%
行うきっかけがない	20	16.5%	△ 1.8	18.3%
取組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	19	15.7%	2.4	13.3%
取組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	16	13.2%	4.9	8.3%
無回答	12	9.9%	0.8	9.2%
取り組んだ成果が実感できない	10	8.3%	△ 2.6	10.8%
自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	8	6.6%	△ 1.7	8.3%
表彰、認証制度がない	5	4.1%	2.5	1.7%
その他	3	2.5%	△ 0.9	3.3%
合 計	261			

※有効回答数(N):121事業所

- 障害と感じている人が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

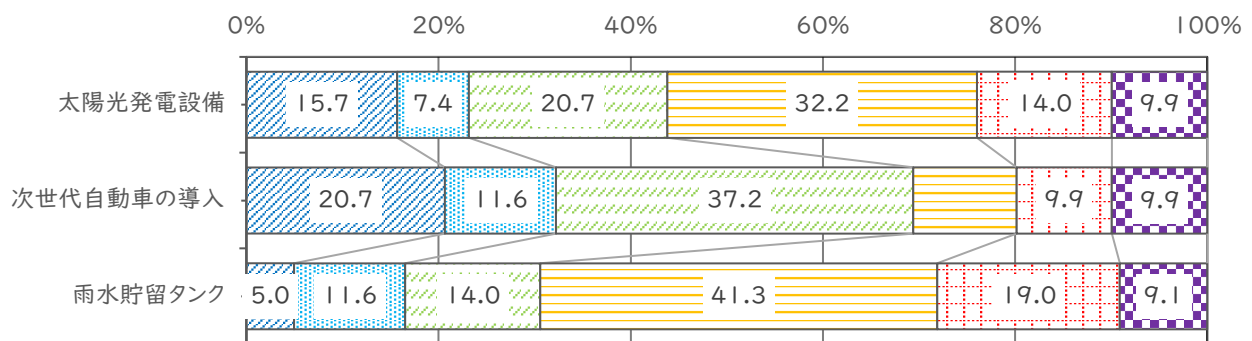
問5 貴事業所では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置、利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近い者の数字に○をつけてください。

項目 ()内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した事業所の割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
太陽光発電設備 (43.8%)	19 15.7%	9 7.4%	25 20.7%	39 32.2%	17 14.0%	12 9.9%	121 100%
次世代自動車の導入 (69.4%)	25 20.7%	14 11.6%	45 37.2%	13 10.7%	12 9.9%	12 9.9%	121 100%
雨水貯留タンク (30.6%)	6 5.0%	14 11.6%	17 14.0%	50 41.3%	23 19.0%	11 9.1%	121 100%

※有効回答数(N):121事業所

《導入状況の割合》

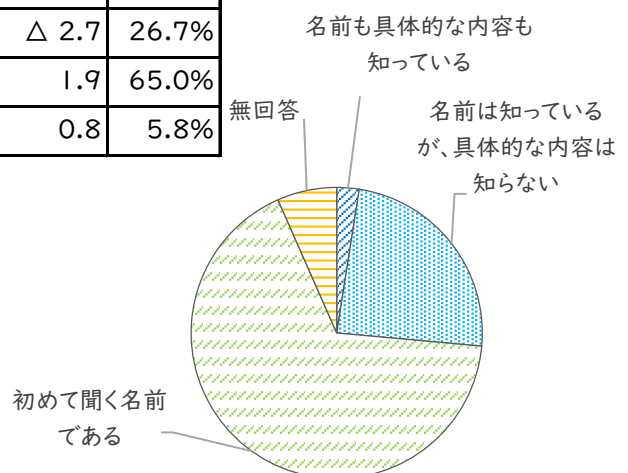
■現在利用している ■今後導入を考えたい □安くなれば導入したい □導入するつもりはない □わからない ■無回答



問6 佐世保市では「エコ資金」として、中小企業を対象に環境に配慮した設備の導入に資金を融資しています。「エコ資金」という名前、具体的な内容の認識について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

質問事項	回答数	割合	前年度比	前年度
名前も具体的な内容も知っている	3	2.5%	△ 0.0	2.5%
名前は知っているが、具体的な内容は知らない	29	24.0%	△ 2.7	26.7%
初めて聞く名前である	81	66.9%	1.9	65.0%
無回答	8	6.6%	0.8	5.8%
合計	121			

※有効回答数(N):121事業所



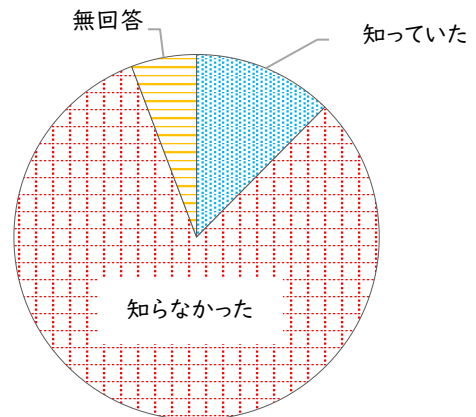
《3010(サンマルイチマル)運動について》

3010(サンマルイチマル)運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、「乾杯後30分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、「お開き10分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。

問7 「3010運動」について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	15	12.4%
知らなかった	99	81.8%
無回答	7	5.8%
合計	121	100%

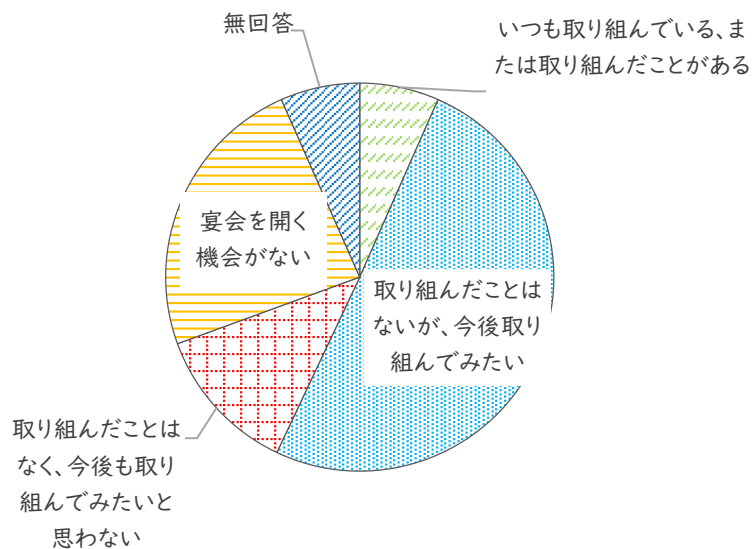
※有効回答数(N):121事業所



問8 貴事業所で、「3010運動」に取り組んだことがありますか。

項目	回答数	割合
いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある	8	6.6%
取り組んだことはないが、今後取り組んでみたい	61	50.4%
取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいと思わない	15	12.4%
宴会を開く機会がない	29	24.0%
無回答	8	6.6%

※有効回答数(N):121事業所



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター
「ダストンくん」

第4章 資料（アンケート調査票）

■ アンケート調査票（市民）

令和元年度 市民アンケート調査票

アンケート調査票や返信用封筒には、お名前やご住所等、個人情報または個人が特定されるような情報は記載されませんよう、お願いします。

（ご住所、お名前は記入しないでください）

■ あなたご自身について

あなたご自身についてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。

① 年代

- | | | | |
|--------|----------|--------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 |
| 5. 60代 | 6. 70歳以上 | | |

② お住まいの形態

- | |
|----------------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） |
| 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） |
| 3. 民間賃貸住宅（アパート、マンション、貸家など） |
| 4. 公営住宅（市営・県営住宅など） |
| 5. その他（ ） |

■ 環境に対する考え方について

問1 あなたが関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 地球温暖化 | 8. ごみの減量、リサイクル |
| 2. 再生可能エネルギー | 9. ごみのポイ捨てと不法投棄 |
| 3. 大気汚染（空気の汚れ） | 10. 食品ロス |
| 4. 排水による、川や海の水の汚れ | 11. 身近な自然の減少 |
| 5. 悪臭 | 12. 野生生物や希少な動植物の減少 |
| 6. 騒音、振動 | 13. 外来種の繁殖による生態系などへの影響 |
| 7. 土壌汚染 | 14. その他
具体的に： |

裏面もご記入ください

問2 お住まいの周辺環境について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。

以下の1～16のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号一つに○をつけてください。

項 目	現状の『満足度』					将来の『重要度』				
	満足	やや満足	どちらでも言いえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでも言いえない	あまり重要でない	重要でない
【例】 ○○○○○○○○○○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1. 海、山、川、里山などの自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 地産地消の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. まちの静けさ (騒音や振動など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 再生可能エネルギー [*] の推進 ([*] 太陽光、風力、水力発電などの、枯渇しないエネルギー)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 省エネルギーの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 公共交通機関の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 環境に関する講座や観察会などのイベント	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 自治会やNPO 団体などの環境保全活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 あなたが(または、あなたのご家庭で)日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。
以下の1～20のそれぞれの取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

取組項目	取組状況				
	いつも行っている	時々行っている	今後行いたい が行っていない	今後も行わない、 または行っていない	該当しない
1. 環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている ※毎年配布している、ごみカレンダーに掲載しています	1	2	3	4	
2. 冷暖房を使うときの室温は、冷房 28℃・暖房 20℃を目安としている	1	2	3	4	
3. テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている	1	2	3	4	
4. シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている(※日頃シャワーを使用しない場合は「5」を選んでください)	1	2	3	4	5
5. 血洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている	1	2	3	4	
6. 歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている	1	2	3	4	
7. 買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている	1	2	3	4	
8. 食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている	1	2	3	4	
9. 生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる	1	2	3	4	
10. 詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している	1	2	3	4	
11. 物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている	1	2	3	4	
12. ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている	1	2	3	4	
13. 油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている	1	2	3	4	
14. 車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしていないようにしてエコドライブを行っている(※日頃ご家庭で運転をする人がいない場合は「5」を選んでください)	1	2	3	4	5
15. なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている	1	2	3	4	
16. 地域における環境保全活動に参加している(地域の清掃、資源集団回収など)	1	2	3	4	
17. 山や海などの自然にふれあう機会を持っている	1	2	3	4	
18. 食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている	1	2	3	4	
19. 環境保全に関するイベントや講座などに参加している (させほエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど)	1	2	3	4	
20. 上記以外に取り組まれていることがありましたら、ご記入をお願いします					

裏面もご記入ください

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 手間がかかる
2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い
3. 今の生活が快適なので、変えたくない
4. 何をどのように取り組めば良いのかわからない
5. 取り組みを持続することが難しい
6. 取り組んだ成果が実感できない
7. 取り組みに対しての優遇措置（助成金等）が少ない
8. 取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない
9. 行うきっかけがない
10. 特に障害を感じることはない
11. その他（具体的に： _____)

問5 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

項目 \ 意向	現在 利用している	今後導入を 考えたい	安くなれば 導入したい	導入する つもりはない	わからない
1. 電気自動車	1	2	3	4	5
2. 太陽光発電	1	2	3	4	5
3. 家庭用燃料電池（エネファーム） ^{注1)}	1	2	3	4	5
4. 家庭用蓄電池 ^{注2)}	1	2	3	4	5
5. 雨水貯留タンク	1	2	3	4	5

注1) **家庭用燃料電池（エネファーム）**
都市ガス・LPガス・灯油などを使って発電する家庭用の機器。発電時に出る熱は給湯に利用される。火力発電による電気とガス給湯器を組み合わせる場合よりも、二酸化炭素排出量が減るとされている。

注2) **家庭用蓄電池**
家庭で使う電気をためておく電池。安い夜間電力をためて昼間に使ったり、太陽光発電で昼間に余った電気をためて夜に使ったりすることで、電気代を節約できる。

「食品ロス」についてお尋ねします

日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トンで、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約643万トン（2016年度）で、その約半分は一般家庭からと言われています。日本人1人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分（約140g）の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在37%（平成30年度）で、大半を輸入に頼っていますが、一方で、食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。



問6 上記のような、日本の「食品ロス」の状況について、ご存じでしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問7 これまでに、食品を食べ切ることができずに、捨てたことはありますか。

1. 捨てたことがある 2. 捨てたことはない⇒問9へ

問8 問7で「捨てたことがある」と答えた方のみお答えください。
食品を捨てた理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから
2. 食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから
3. 食品の色やにおいなどで、不安を感じたから
4. 食品が中途半端に余ったから
5. その他（具体的に： ）

問9 食品ロスをなくすために家庭でできることには、下に書いてあるようなものなどがあります。
食品ロスをなくす取り組みをしていますか。

1. いつも行っている
2. 時々行っている
3. 行っていないが、今後取り組んでみたい
4. 行っていないし、今後も取り組みたいと思わない



「賞味期限」は「おいしく食べられる期限」であり、それを超えてもすぐに食べられなくなるわけではないことを理解し、賞味期限を超えた食品については、見た目や臭いなどで個別に判断する。

買い物の前には食品の在庫を確認し、必要なものだけを買う

冷蔵庫の保存場所を活用

- ブロック肉、魚の切り身⇒マイナス3度程度の“パーシャル室”
- スライス肉、豆腐⇒0度の“チルド室”
- 果物・野菜⇒“野菜室” など

残り物を活用したレシピで食品を使い切る工夫をする。

消費者庁のキッチン

裏面もご記入ください

「古紙類の資源化」についてお尋ねします

全国的には、燃やせるごみのうち約3割が資源化できる古紙類であると言われています。佐世保市においても同様の状況であると思われませんが、古紙類の資源化についてお尋ねします。

問10 新聞紙、雑誌、飲料用紙パック、段ボールなどは資源物（古紙類）になりますが、臭いや汚れのついた紙、また加工された紙は「燃やせるごみ」になることご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問11 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがありますか？

1. ある 2. ない → アンケート終了

問12 上記問11で「1. ある」と答えた方にお尋ねします。
どのような古紙を燃やせるごみに出しましたか？（複数回答可）

1. 新聞
2. 雑誌（週刊誌、漫画、カタログなど）
3. 飲料用紙パック（牛乳パックなど）
4. 雑古紙（空き箱、封筒、メモ用紙、包装紙など）
5. 段ボール

問13 古紙を燃やせるごみに出した理由は何ですか？（複数回答可）

1. 分別がわずらわしい
2. 資源物収集の日まで待てない
3. 置いておく場所がない
4. 資源として再生できると思っていない
5. 資源として再生する必要がないと思っている
6. 資源物として分別するべきことを知らなかった
7. 何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない
8. その他（ ）

問14 環境保全に関する取り組みを市全域で推進するにあたって、ご意見やご提案等がございましたらご自由にお書きください。

※ ご住所やお名前、その他個人が特定されるようなことは書かないでください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこの「市民アンケート調査票」(3枚)を入れ、3月6日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。

(封筒に差出人は書かないでください！)

なお、回答結果は佐世保市ホームページで公開予定です。

■ アンケート調査票（事業者）

令和元年度 事業者アンケート調査票

■ 貴事業所について

貴事業所についてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。

① 業種

- | | | |
|------------------|-----------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業・建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 運輸・通信業 | 6. 卸売・小売・飲食店 |
| 7. 金融・保険・不動産業 | 8. サービス業 | |
| 9. その他 () | | |

※ 複数の事業を実施されている場合は、主な業種一つに○をつけてください。

② 従業員数

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 1～9人 | 2. 10～19人 | 3. 20～49人 | 4. 50～99人 |
| 5. 100～299人 | 6. 300～999人 | 7. 1,000人以上 | |

■ 環境に対する考え方について

問1 貴事業所が関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|--------------------|----------------|
| 1. 地球温暖化 | 2. 再生可能エネルギー | 3. 大気汚染（空気の汚れ） |
| 4. 排水による、川や海の水の汚れ | 5. 悪臭 | 6. 騒音、振動 |
| 7. 土壌汚染 | 8. ごみの減量、リサイクル | |
| 9. ごみのポイ捨てと不法投棄 | 10. 食品ロス | |
| 11. 身近な自然の減少 | 12. 野生生物や希少な動植物の減少 | |
| 13. 外来種の繁殖による生態系などへの影響 | | |
| 14. その他（具体的に：) | | |

問2 貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法を導入していますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

項目	意向	既 に 実 施 し て い る	今 後 、 実 施 し た い	現 在 、 検 討 中 で あ る	実 施 の 予 定 は な い	知 ら な い の よ う な も の か
例 ○○○○の取組		①	2	3	4	5
1. ISO14001の認証取得		1	2	3	4	5
2. エコアクション21の認証取得		1	2	3	4	5
3. その他の環境マネジメントシステムの導入		1	2	3	4	5
4. 自主的な環境管理計画（環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン）の策定		1	2	3	4	5
5. 環境担当部門や担当者の配置		1	2	3	4	5
6. 環境報告書の作成		1	2	3	4	5
7. 環境に関する内部監査の実施		1	2	3	4	5
8. その他 ()		1	2	3		

裏面もご記入ください

問3 貴事業所が日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。

以下の1～20のそれぞれの取組について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

取組項目	取組状況				該当しない
	いっせいに行っている	時々行っている	今後行いたいことが行っている	まだ行っていないが、今後行いたい	
1. コピー用紙には再生紙を使用している	1	2	3	4	/
2. 古紙を使ったトイレトペーパーを使用している	1	2	3	4	/
3. エコカー（低公害車や低燃費車）を導入している	1	2	3	4	/
4. 昼休み等、不要な時は電気を消灯している	1	2	3	4	/
5. 冷暖房の時間短縮や設定温度（目安：冷房 28℃、暖房 20℃）を徹底している	1	2	3	4	/
6. 使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている	1	2	3	4	/
7. 省エネのため製造工程や製造ラインを改善している	1	2	3	4	5
8. 雨水や一時使用した水を再利用している	1	2	3	4	/
9. コピー用紙の使用量を減らしている(両面コピーや裏紙の利用等)	1	2	3	4	/
10. グリーン購入を行っている ※グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際ご環境を考慮して必要性をよく考え、 環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。	1	2	3	4	/
11. 包装・梱包の削減、再利用をすすめている	1	2	3	4	/
12. 紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している	1	2	3	4	5
13. ノーマイカーデーを導入するなど、従業員のマイカー出勤を自粛させている	1	2	3	4	5
14. 不必要なアイドルリングをやめるよう徹底している	1	2	3	4	/
15. 省エネのための効率的な輸配送システムがある	1	2	3	4	5
16. 事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路の清掃など地域活動へ参加したりしている	1	2	3	4	/
17. 環境保全に関する従業員研修を実施している	1	2	3	4	/
18. ごみの分別に関する従業員への指導を実施している	1	2	3	4	/
19. 自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している	1	2	3	4	/
20. 上記以外に取り組まれていることがありましたら、ご記入をお願いします。					

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、貴事業所が障害に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 手間がかかる
2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い
3. 何をどのように取り組めば良いのかわからない
4. 自社だけ取り組んでも仕方がないと思う
5. 取り組みを持続することが難しい
6. 取り組んだ成果が実感できない
7. 取り組みに対しての優遇措置（助成金等）が少ない
8. 表彰、認証制度がない
9. 取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない
10. 行うきっかけがない
11. 特に障害を感じることはない
12. その他（具体的

問5 貴事業所では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？
それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

項目	意向				
	現在利用 している	今後導入を 考えたい	安くなれば 導入したい	導入する つもりはない	わからない
1. 太陽光発電設備	1	2	3	4	5
2. 次世代自動車の導入 ^{注1)}	1	2	3	4	5
3. 雨水貯留タンク	1	2	3	4	5

注1) ここでは、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車を対象としてお尋ねします。

ハイブリッド自動車

エンジンと電気モーターなどの2つの動力を効率よく切り替えながら走る自動車。

プラグインハイブリッド自動車

コンセントから直接充電できるタイプのハイブリッド自動車で、ハイブリッド自動車に比べ電池を多く搭載している。

電気自動車

バッテリーに充電された電気でモーターを動かして走る自動車。

燃料電池自動車

燃料電池を搭載した自動車で、水素と酸素の化学反応で得られる電気エネルギーを利用して走る自動車。

クリーンディーゼル車

粒子状物質や窒素酸化物などの大気汚染物質の排出量が従来のディーゼル車よりも少なく、走行時のCO₂排出量がガソリン車よりも少ない。また、ガソリン車に比べて燃費が良いとされている自動車。

裏面もご記入ください

問6 佐世保市では「エコ資金」として、中小企業を対象に環境に配慮した設備の導入に資金を融資しています。「エコ資金」という名前、具体的な内容の認識について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 名前も具体的な内容も知っている。
2. 名前は知っているが、具体的な内容は知らない。
3. 初めて聞く名前である。

エコ資金とは…

環境に配慮した経営に取り組む市内中小企業者に対し、設備資金を融資するものです。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

ホーム > 事業者の方へ > 事業所運営 > 経営支援 > 佐世保市中小企業融資制度について

「3010 (サンマルイチマル) 運動」 についてお尋ねします



3010 (サンマルイチマル) 運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、

「乾杯後 30 分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、

「お開き 10 分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。

問7 「3010運動」について、ご存じでしたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問8 貴事業所で、「3010運動」に取り組んだことがありますか。

1. いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある
2. 取り組んだことはないが、今後、取り組んでみたい
3. 取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない
4. 宴会を開く機会がない



環境省 3010 運動

宴会のテーブルに置くための三角柱 POP のデータがダウンロードできます！

問9 環境保全に関する取り組みを市全域で推進するにあたって、市への要望や施策に対するご意見やご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこの「事業者アンケート調査票」を入れ、**3月6日(金)**までにご返函くださいますようお願いいたします。
なお、回答結果は佐世保市ホームページで公開予定です。

令和元年度

佐世保市の環境問題に関するアンケート

集計結果（詳細版）



〒857-0851 佐世保市稲荷町1番8号
佐世保市環境部環境政策課
TEL (0956) 31-6520
FAX (0956) 34-4477
e-mail: kansei@city.sasebo.lg.jp